

第五十九回帝國議會
衆議院

關稅定率法中改正法律案委員會會議錄(速)第四回

會 議

昭和六年三月十八日(水曜日)午前十一時開議

出席委員左ノ如シ

委員長 永田善三郎君

理事 西脇 晉君

理事 櫛部 荒熊君

理事 手代木隆吉君

理事 多田 滿長君

理事 岩本 武助君

理事 土倉 宗明君

飯塚春太郎君

前田房之助君

末松偕一郎君

高瀬 梅吉君

今井 健彦君

高橋熊次郎君

村田不二三君

同日委員前田房之助君及西脇晉君辭任

ニ付其ノ補闕トシテ竹田儀一君及櫛部

荒熊君ヲ議長ニ於テ選定セリ

同日理事西脇晉君ノ補闕トシテ櫛部荒

熊君理事ニ當選セリ

出席國務大臣左ノ如シ

大藏大臣 井上準之助君

商工大臣 俵 孫一君

農林大臣 町田 忠治君

出席政府委員左ノ如シ

大藏政務次官 小川郷太郎君

大藏參與官 勝 正憲君

大藏省主稅局長 青木 得三君

農林省山林局長 平熊 友明君

商工省貿易局長 立石 信郎君

樺太廳長官 縣 忍君

委員長ノ許可ヲ得テ出席シタル者左ノ如シ

議員 太田信治郎君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

關稅定率法中改正法律案(政府提出)

○永田委員長 昨日ニ引續キ開會致シ

マス

○岡田委員 私ハ今日ハ人絹ノ事ヲ主

トシテ御伺致シマス

人絹ノ關稅ヲ引下ゲラレルト云フコト

デアリマスガ、是ハドウ云フ目的デ今

度引下ゲラレルノデアリマスガ、其目

的ヲ御伺致シマス

○俄國務大臣 關稅引下ノ目的ト申シ

マスガ、理由ト申シマスガ、是ハ恐ラ

ク以前ニ應答ガアッタノデハナイカト

考ヘマスガ、御尋デアリマスカラ商工

省ノ立場ヨリ一應申上ゲマス

付託議案

關稅定率法中改正法律案(政府提出)

關稅定率法中改正法律案(川島正次郎君外九名提出)

關稅定率法中改正法律案(本田恒之君外五名提出)

關稅定率法中改正法律案(淺川浩君外四名提出)

程其後減ジマシタカラ、今日デ見マス

ト云フト非常ニ高イ關稅ニナルノデア

マリス、旁々以チマシテ此度四割下ゲ

タト云フコトハ、非常ニ一時ニ澤山ナ

切下ニナリマスガ、今申シマシタヤウ

ナ事情デ輸入價額其モノガ下ッタノデア

リマスカラ、此際四割下ゲテモ人絹工

業ノ今日ノ發達ノ程度ニ鑑ミテ差支ガ

ナカラウ、斯ウ云フ考デ下ゲタノデアリ

マス、詰リ何故ニ下ゲタカト云フコト

ノ御尋デアリマスガ、益々人絹ヲ利用

シタ織物ヲ獎勵發達セシムル爲メ、而

シテ人絹工業ノ基礎ニ格別ノ危險ヲ感

ズルト云フヤウナ程度デハナイ、斯ウ

云フコトカラ下ゲタノデアリマス

○岡田委員 御說明ヲ伺ヒマシタガ、

織物ノ原料絲ヲ成ベク多ク引下ゲセシ

メタイト云フコトガ第二ノ主ナル御說

明デアリマス、サウ致シマスト今日本

ノ内地デ外國ノ原料ヲドノ位用ヒテ居

リマシテ、内地ノ原料ヲドレ位用ヒテ

居リマスガ、其數字ニ依ッテ御說明ヲ願

ヒマス

○立石政府委員 今日外國カラ入ッテ

居ル人絹ノ數量ハ餘リ多クゴザイマセ

ヌ、大正十二年頃ニ於キマシテハ、三百

萬圓程度デゴザイマシタガ、大正十五年ニ輸入ノ關稅率ヲ改正致シマシタ後ハ、非常ニ是ガ減少致シテ居リマス、昭和五年ニハ六十餘萬圓乃至九十餘萬圓ト云フヤウナコトニナツテ居リマス、サウシテ其大部分ハ伊太利カラ御存ジノ通り入ッテ來テ居ルヤウナ次第デアリマス、最近ノ數字ヲ先程差上ダタラウカトモ思ヒマスガ、申シマスト輸入額ハ大正五年ニハ六十三萬九千圓、四年ニハ四十六萬八千圓、三年ニハ十九萬二千圓ト云フヤウナコトニナツテ居リマス

○岡田委員 ソレハ分ッタノデアリマスガ、ソレニ付テ商工大臣ニ御尋スルノデアリマス、今關稅ヲ下ゲテ日本ニ外國ノモノガ多ク入ル、入レバソレガ爲ニ織物原料ガ安クナル、斯ウ云フ御論ノヤウデアリマスガ、其效果ハ是デ以テ果シテ達セラレルノデアリマスカ、如何デゴザイマセウカ、又一面ニハ左様ニ多ク外國ノ原料ヲ今日日本ノ織物ニ要シテ居リマスガ、如何デアリマスガ、要シテ居ラヌヤウニ私ハ此數字ヲ見テ思フノデアリマス

○俄國務大臣 岡田君モソコハ御承知デアルデアラウト思ヒマス、又御承知デアル筈ト思ヒマスガ、關稅ノ引下ハ國內ノ品物ノ價額ヲ或ル程度マデ支配スル、全部ノソレダケノ影響ガ直接ニ

來ルトハ申シマセヌケレドモガ、或程度マデ支配サレル、ソレ故ニ關稅ノ引下ハ外國ノ輸入品ヲ我國ニ歡迎スルト云フ意味デハナイノデアリマス、サウ云フヤウナ場合モアルノデアリマス、此場合ハ寧ロ關稅ノ引下ハ以テ國內製造ノ人絹ノ價額ヲ或ル程度マデ下ゲシムルト云フ必要カラ生ジテ來テ居ルノデアリマス、私ハ敢テ海外ノ伊太利ノ絲ヲ國內ノ織物ノ原料トスル必要ガアルト云フコトヲ申上ダタ積リデハナイノデアリマス、左様御承知ヲ願ヒマス

○岡田委員 サウシマスト云フト、此關稅ヲ引下グレバ外國ノ絲ノ日本内地ニ於ケル價額ガ下ル、下ルニ依ッテ日本内地ノ生産品ガ牽制サレテ安クナル、斯様ナ御話ノヤウニ今伺ヒマシタガ、今現在ノ關稅ノ下ニ於テモ日本ノ絲ト外國ノ絲ト變ッテ居ラヌ、寧ロ日本ノ絲ガ良イヤウニ私ハ見テ居リマス、ソレデハ一向刺戟ニナラヌデハアリマセヌカ、今ノ統計ノ上ニ於テサウ云フコトハ言ヘナイト思フノデアリマスガ、サウ云フコトハドウナリマスガ、ソレハ商工大臣ニ御答ヲ願ヒマス、ソレハ商工大臣デナケレバ其根本方針ニ付テ伺ヘナイノデアリマス、ソレハ數字上アナタノ言フコトガ當ッテ居ラヌノデアリマス

○俄國務大臣 岡田君ハ私ハ個人的ニ極ク懇意デアッテ、私ハ尊敬シテ居リマスガ、強テ大臣カラ言ヒマセヌデモ、政府委員カラ話シタコトヲ大臣ガソレヲ承認スレバ、大臣ノ責任トシテハ足リルコトデハナイカト思ヒマスガ、併ナガラ強テ私ニ是非ト云フ御話ヲナサルナラバ、私ハ御話ヲ申上ダタイト思ヒマス、ソレハ先刻申シマシタ通り、關稅ノ引下ニ依ッテ國內ノ其價額ハ影響ヲ被ル、只今現在ニ於テ外國品ト國產品ト價額ガ餘リ違ハヌト仰セラレルコトハソレハサウデアリマセウ、ヤハ

リ國內ノ生産品ガ輸入シタ價額ト競争ノ位置ニアリマスカラ、ドウ云フコトニナツテ居リマスガ、關稅ヲ下ゲマスト今度ハ輸入價額ガ下ッテ參リマス、隨テ國內ノ生産品ガソレト競争ノ立場ニナリマスカラ、ヤハリ下ッテ來ルト云フヤウナコトニナツテ參リマス

○岡田委員 サウ致シマスト、此人絹ニ對スル政府ノ根本方針ニ付テ私ハ疑ヲ存スルノデアリマスガ、今人絹ハ此表ニ依ッテ見テモ我國ハ非常ニ發達ヲ遂ゲツ、アルヤウデアリマス、併シ一面ニ於テハ外國ニ於テモ非常ナル獎勵ヲ加ヘ、發達ヲナシテ居ルヤウデアリマス、總テハ詰リ世界的ニ大ナル競争ノ波ヲ起スノデアリマセウガ、其際ニ突然四割以上ノ減稅ヲヤッテ、サウシテ

日本内地ノ價額ニモ、アナタノ仰セノ如ク影響ヲシテ居リマス、日本内地ノ人絹ガ下ルコトニナレバ、我國ノ生産業ヲモット發達シテ行カウト云フ人絹ノ事業ハ申スマデモナクマダ新シイモノデアリ、又化學工業ナルモノハ言フマデモナク成ベク速カニ元資ヲ銷却致シテ、將來ノ發明發展ニ對シテ備ヘナケレバナラヌ、今有利デアアルカラト言ッテ直グ擴張スル譯ニハ行カヌ、成ベク早ク元資ノ銷却ヲ致シテ將來ノ發明ニ備ヘナケレバナラヌト云フコトハ當然ノコトデアリマス、サウ云フコトヲ顧ルト云フト、今突然之ヲ下ゲルト云フコトハ將來ノ我國ノ人絹發達上非常ナル危險ヲ生ズルヤウニ思フノデアリマス、其點ノ御所見ハ如何デアリマスガ

○俄國務大臣 アナタガ人絹工場ノ將來ニ向ッテ非常ナ望ヲ懷カレ、此發達ヲ希望スルト云フコトヲ仰セラレマシタガ、是ハ全然御同感デアリマス、人絹工業ハ我國ノ工業トシテ將來ニ向ッテ非常ニ有望ナ工業デアリマス、ソレ故ニ私共人絹工業ノ將來ニ付テハ、此發達ヲ害スルヤウナコトハ決シテ致サヌ積リデアリマス、ソコデ昨日モ岩本君デアリマシタカ、私ハ慎重ノ考慮ヲシタト申シマシタラバ、一寸變ナ御感ジヲ爲サイマシタガ、其處ガ所謂慎重ナ考慮デアル、私共ハ此程度ノ引下デハ

アナタガ御心配ノヤウナコトハナイト
云フコトノ見當ヲ付ケマシタカラ、ソ
レ故ニ此程度ノ引下ヲ斷行スルコトニ
致シタノデアリマス、其處ハ御趣旨ハ
吾々ト全然御同感デアルガ、其結論ト
致シテ此程度ノ引下ヲ以テ人絹ノ前途
ヲ危クスルト云フコトニ付テハ、私共
不幸ニシテ意見ガ一致出來ナイ

○岡田委員 サウ致シマス、之ヲ下
ゲテモ外國ノ人絹ハ恐ラクハサマデ入
ラヌト云フ御見込デアリマス、是ガ
多ク入レバ入ル程内地ノ價格ニ影響ス
ルノデアル、少シノ輸入デアルナラバ
大シタ影響ハナイ、今日デモ極ク少シ
シカ入ッテ居ラス、増セバコソ内地ノ人
絹ニ影響ヲ及ボスガ、アナタノ仰セデ
ハ、是ハヤッテモ微温的ナモノデア
カラ、サウ輸入ヲ増サヌト云フコトデ
アリマス、ソレヲ伺ッテ見タイと思
ヒマス

○俄國務大臣 詰リ下ゲテモ國內ノ人
絹工業ガ輸入品ト競争シテ行キ得ルト
云フ見込ヲ立テ、居ルノデアリマス
○岡田委員 ソレハドウ言フ根據カラ
左様ニ仰セラレマス、或ハ生産費ノ
點カラ言フカ、ドウ云フ根據デ左様仰
セラレルカ、ソレヲ伺ヒタイ

○俄國務大臣 無論生産費ノ關係デア
リマス、根據ト言ッテ所デ其以上ハア
リマセヌ、數字ヲ以テ之ヲ示スト云フ

譯ニモ行カナイ、其見當デア、斯ウ
云フコトヲ申上ゲテ置キマス

○岡田委員 ソレガ私ハ非常ニ危ナイ
ト思ヒマス、慎重考慮サレタ言フガ、
ドンナ風ニサレタカソレモ分ラヌ、唯
自分ハ慎重考慮スルト言フガ、伺ッテ
見レバ原料ノ問題デア、生産費ノ問
題デア、生産費ト云フモノハドウナッ
テ居ルカ、ソレヲ承ッテ置キタイ

○立石政府委員 生産費ハ先程御手許
ニ配布シタト思ヒマス、現在ノ生産
費ハ百二十六圓ト云フコトニ相成ッテ
居リマス、是ハ勿論利益ヲ計算シテ居
リマセヌ、此外ニ相當ノ資本ニ對スル
利益ヲ見込マスト、百三十六圓見當
デアラウト考ヘテ居リマス、而シテ此
生産費ハ逐年遞減シテ居リマス、昭和
元年ハ二百五十五圓ト云フヤウナ高イ
生産費デアッタノガ、今日デハ其半分
ニモ満たヌヤウナ程度マデ生産費ハ切
下テ參ッテ居リマス

○岡田委員 サウ致シマス、外國ノ方
ノ生産費ハドンナ率デ下ッテ居リマス
カ、ソレガ表ニナイヤウデアリマスガ、
是ハ重要ナ點デア、ルカラ伺ッテ置キマ
ス

○立石政府委員 外國ノ工場ノ生産費
ヲ調べト云フ御註文ハ吾々非常ニ困
難ヲ致シマス、ト申シマスノハ、外國
ノ會社ハ生産費ヲ絕對ニ秘密ニ致シテ

居リマス、是ハ各種ノ工業ニ付テ起ル
問題デアリマス、技師ヲ派遣シテ或ル
工場ノ秘密ヲ探ルベク相當ノ金額ヲ
使ッテ調査シタニモ拘ラズ、其效ヲ收メ
ナイデ歸ッテ者ガ頻々トシテ各種ノ工
業ニ付テアルノデアリマス、併ナガラ
極ク大勢ダケヲ申シマスレバ、外國ニ
於キマシテモ、過去カラズツト生産費ハ
低下シツ、アルト云フコトダケハ申上
ゲテ差支ナイト思ヒマス

○岡田委員 關稅ヲ御キメニナルノニ
一番ノ根據ハ生産費ニアルト私ハ思フ
ノデアリマス、殊ニ生活必需品ニ對ス
ル如キモノトハ違ッテ、是ハ外國トノ權
衡ヲ得テ、我國ノ生産業、並ニ輸出業ヲ
盛ニシヨウト云フ根據ノ下ニ立ッテ御
キメニナルノデアリマス、此生産
費ト云フモノガ適確ニ分ラナケレバ、
闇夜ノ中ヲ歩キヤウナモノダト思フ、
斯様ナ重要ナル生産費ヲ、此關稅ヲ遞減
スルニ付テ材料ニ爲サラズニヤルト云
フコトニ付テハ、實ニ危險デアリ、商工
大臣トシテモ洵ニ輕卒デア、遺憾ナ
ガラ左様ニ思フノデアリマス、外國ノ
生産費ハ世界蠶絲絹絲業年鑑ニ依ルト
アリマスガ、我國ハ商務官ナルモノモ
アリ、領事モ居リ、大使館、公使館モ
アルノデアリマス、是程重大ナル問題
ヲキメルノニ何故ニ政府ハモット正確
ナル外國ノ生産費ヲ取ラナカッタカ、何

故ニソレヲ取ラナイニ先立ッテ關稅ノ
改正ヲ斷行セラレタカ、其根據ヲ私ハ
聽キタイノデアリマス

○立石政府委員 御意見ハ御尤ト思ヒ
マス、吾々ハ必ズシモ外國ノ工場ノ
生産費ヲ知ラヌデモ、向フノ販賣價格
ナリ、日本ヘ持ッテ來ル値段ト云フモノ
ト、日本ノ會社ノ生産費ヲ睨ミ合セテ、
其差額ヲ關稅ニ盛レバ事足リルト考ヘ
テ居リマス、向フノ生産費ハ幾ラデア
テモ、向フデ賣ッテ居ル値段、勿論ソレ
ハ生産費ガ安ケレバ更ニ安ク賣ル能力
ハアルト云フ點ハアリマセウ、併ナガ
ラ場合ニ依レバ生産費ヲ切ッテモ賣ッテ
參ル場合モアリマス、又場合ニ依ッテ生
産費カラ非常ニ儲ケテ賣ル場合モアリ
マス、要スルニ向フノ賣價ト云フモノ、
殊ニ直接ニ日本ヘ持ッテ來ル彼等ノ賣
價ト云フモノト、ソレカラ此方ノ會社
ノ生産費ト云フモノヲ睨メバ、ソコニ
關稅ノ率ト云フモノハ出テ來ルモノダ
ト考ヘテ居リマス

○岡田委員 ソレハ一寸考ヘルト左様
ニ思ヒマス、ケレドモ、要スルニ生産費
ガ根本デアリマシテ、向フデ之ヲ幾ラ
ニ賣ッテ居ルトスレバ、生産費ニ對シテ
何分ノ利益ガアル、其利益ヲ割イテ外
國ニ於テ「ダンピング」ヲシ、或ハ生産
費ニ相當ノ程度ニ賣ッテ居ルノデア
カラ、根本ノ生産費ニ適ラナケレバナ

ラヌ、生産費ニ依テ國內ノ需要ハ何ボ
アツテ利益ハドウデアル、其利益ヲ割イ
テ外國ト競争ヲスルト云フノガ各國ノ
政策デアラウト思フ、サウ致セバ今立
石君ノ御説モ薄弱ニナリマスノデ、根
本のカラ出來ルダケノ親切ナ御研究ガ
ナケレバナラヌト私ハ堅ク信ズル、モ
ウ一應ソレニ對シテ大臣ガ御嫌ガリニ
ナルナラバ、立石君デモ宜シイ、御答
ヲ願ヒタイ

○立石政府委員 御尤デアリマシテ、
吾々ハ出來ルダケ調査シタイト云フ考
デアリマス、先程申上ゲマシタ通り是
ハ中々困難デゴザイマシテ、實際ノ衝
ニ當ッテ各會社ノ秘密ニシテ居ル事項
ヲ抉出シロト斯ウ言ハレテモ、是ハ岡
田サンガ御ヤリニナツテモ、コンナ所
デハナイカト思ヒマス、勿論色々ナ難
誌トカ公表サレタモノハ手ニ這入リマ
スガ、此公表サレタモノハ餘リ當テニ
ナラヌノデアリマス、先ヅ大體ノ趨嚮
ヲ睨ムコトハ出來マスガ、具體的ニ此
會社ハ幾ラト云フコトハ不可能デハナ
イカト思ヒマス、併ナガラ大體ノ傾向
ヲ睨ミ、又彼等ノ賣ッテ居ル値段ヲ睨
メバ、大體生産費ノ見當ハ付キマス

○岡田委員 ソレハ困難ニハ違ヒアリ
マセヌ、各國ノ非常ニ熾烈ナル競争ノ
下ニアアルデアリマスカラ最モ困難ト
考ヘマス、有ユル工業ノ中デ此人組ニ

付テハ最モ困難ガアルト存ジマスガ、
併シソレヲ調べテ、ソレニ適應スルコ
トガ即チ商工省ノ仕事デアルト思フ、
今ノ商務官アタリハ、先ヅ之ニ集中セ
シメテ宜シイ、關稅ヲ改正スルナラ
バ——ソレヲナサラズニ斯様ナ漠然タ
ル材料ヲ以テ商工大臣ガ責任ヲ負フ
言ハレテモ、是ハ天下ヲ信ゼシメルコ
トハ出來ナイ

更ニ私ハ問題ヲ變ヘテ聞イテ見マス
ガ、何故ニ左様ナ不完全ナル材料ノ下
ニ急イデ出ス必要ガアリマスカ、私ハ
政府ハ急イデ居ルト思ヒマス、何故ニ
急イデ改正シナケレバナラヌカ、其急
グ理由ヲ商工大臣ニ伺ヒタイ

○倭國務大臣 アナタハ不完全ト仰セ
ラレマスガ、私共ハ不完全ナル調査ト
ハ思ッテ居リマセヌ、其理由ハ前ニ申
述ベタ通りデアリマス、ソレガ不完全
デアルト仰セラレラナラバ、見解ノ相
違デアルト申ス外アリマセヌ、而シテ
急イデ居ルト仰セラレマスガ、是ハ前
カラノ問題デアッタノデアリマス、アナ
タハ形ニ於テ急イダト仰セラレルカモ
知レマセヌガ、私共ハ餘程前カラ研究
シテ居ル、外部ニ現ハレタ所デハ、突
如トシテ出タカノ如ク御感ジカモ知レ
マセヌガ、私共ハ半年前カラ此問題ニ
付テ當業者ノ陳情ニ聽イテ研究シテ居
ル、研究ノ結果、毎度申ス通り慎重調

査ノ末茲ニ參ッテ居ル、決シテ突如トシ
テドウ斯ウト云フノデハナイ、而シテ
何故出シタカト云フコトハ前ニ申上ゲ
タ通りデアリマス

○岡田委員 ドウモ一向譯ガ分リマセ
ヌガ、例ヘバ何故急イダカト云フコト
ニ付テ急ガナイト言ハレルガ、其反證
ヲ舉ゲマス、昨日來各國ノ關稅ノ變
遷ニ付テノ材料ヲ要求致シタ所ガ、殆
ド無イト言ハレタ、殆ド不完全ナル材
料ヲ御提出ニナリ、私立協會ノ名ノ付
イタモノヲ以テ之ニ代ヘラレテ居リマ
ス、申スマデモナク戰後關稅ノ障礙ヲ
高クスルコトガ世界ノ趨勢ニナツテ居
ル、殊ニ人絹ニ付テハ非常ニ由來ガア
リ、變遷ガアルト思ヒマス、ソレハ此
荒マシノ材料ニ依ッテモ分リマス、然ル
ニ其重要ナル關稅ノ變遷ニ付テ、殆ド
的確ナル御調査ガナイ、生産費ニ付テ
モ御調査ガナイ、例ヘバ或ル一ツノ會
社ノ生産費デモ調べテアレバ私ハソレ
デ適當ト思ヒマスガ、ソレ斯拉出シテ
居ラヌ、ソレデハ此關稅ノ定率ヲ變ヘ
ルト云フ根本義ニ於テ缺ケテ居ルデヤ
アリマセヌカ、ソレガ缺ケテ居ルニモ
拘ラズ、強行サレルト云フニ至ッテハ、
私ハ輕卒デアアル、急イデ居ルト思ヒマ
スガ、商工大臣如何デアアルカ

○倭國務大臣 サウ云フ意見ノ交換ヲ
シタ所デ何モナラヌ、アナタハ急イ

デ居ルト仰シヤルガ、私ハ急イデ居ラ
ヌ、是ハ前カラ當業者ニ聽イテ能ク調
査シテ居リマス、生産費ガナイト云フ
ノハ粗漏デアアルト云フコトハ先刻政府
委員ガ言ッタ通りデアリマスガ、ソレガ
ナクテモ關稅ノ改正ハ出來マス

○岡田委員 關稅ノ變遷ト云フコトハ
此問題ニ於テ一番大事デハアリマセヌ
カ、商工大臣ハ左様ニ御思ヒニナリマ
セヌカ

○倭國務大臣 各國關稅ノ變遷ト云フ
コトハ必要カモ知レマセヌガ、主トシ
テ國內ノ事情ニ依ッテ我國關稅ノ量定
ヲシナケレバナラヌト思ヒマス、アナ
タノ仰シヤルノハ各國ガ關稅政策ヲ
ヤッテ居ルカラ、コソチモヤラナケレバ
ナラヌデヤナイカト云フ程度ノ御意見
カ知レマセヌガ、人絹ノ關稅ニ付キマ
シテハ、消費者ノ立場、生産者ノ立場、
外國ノ輸入狀況、斯ウ云フモノヲ以テ
量定シナケレバナラヌト思ヒマス

○岡田委員 只今ノ御答辯ニ依リマシ
テ、各國ノ關稅ヲ調べルコトノ必要デ
アルコトハ分ッタノデアリマスガ、ソコ
デ私ハ一番肝腎ト思ヒマスガ、ソレハ
意見ノ相違デアリマセウ、貴方ハ一番
肝腎ト思ハナイデセウ、併ナガラ吾々
ハ一番肝腎ト思フ、關稅ハ斯ノ如ク變
遷シテ居ルト云フコトヲ發表スベキモ
ノデアアルト思ヒマス、ソレヲ現商工大

臣ハ一ツモ調ベテ居ラヌト云フコトデアルナラバ、私ハ之ヲ輕卒デアリ不謹慎デアルト謂ハナケレバナラス、今列國ノ人絹ニ對スル關稅ノ變遷ト云フモノハ玆ニ甚ダ不完全デアルケレドモ、立石君ノ御盡力其他ノ方ノ御盡力ニ依ッテ出來テ居リマス、帝國人絹株式會社調査ニ依ッテモ——昭和六年二月ノ調査デアリマスガ、之ニ依ッテ見テモ如何ニ列國ガ關稅ヲ重要ナル題目トシテ人絹ヲ保護シテ居ルカト云フコトガ分リマス、私ハアナタノ方ノ祕密ノ報告ヲ手ニ入レテ居ル、是ハ非常ナル脅威ヲ以テ東洋ニ挑ミ來ッテ居ルコトガ分リマス、私ハ今政府ガ關稅ヲ下グロト云フコトハ、歐米各國ニ於ケル關稅政策ト背馳スルヤウナモノダト思ヒマスガ、願クバ其點ニ付テ商大臣ノ御意見ヲ承リ、私ノ蒙ラ啓キタイト思ヒマス

○俄國務大臣 中々アナタノ御問ニ對スル答ハ、私ムヅカシク感ジマスノデ、アナタノ仰セノ祕密云々ト云フコトハ、多分伊太利ノ「ダンピング」ノ傾向ノコトヲ仰セラレルノデハナイカト思ヒマスガ、列國ガ詰リ自國ノ産業發達ノ爲ニ、其市場ヲ世界的ニ求メテ、各市場ニ向テ不當廉賣ヲヤルト云フ傾向ハ確ニアルノデス、ソレニ依ッテ我國ノ産業モ非常ニ禍サレテ居ルト云フコトハ、屢々吾々共ノ言明シテ居ル所デア

ル、是ガ對策トシテハ、我國ニ於テモ相當考慮シナケレバナラス、是ハ萬々私共モ承知致シテ居リマス、唯人絹ニ付テ、伊太利カラサウ云フ不當廉賣ノ爲ニ、我國ノ市場ヲ荒スガ如キコトガアツテモ、現時ノ我國ノ人絹工業ノ發達ノ上ニ於テ、此關稅ノ引下ハ以テ我國工業ノ發達ヲ阻止スル程度デハナイト、斯ウ考ヘルノデス、アナタト立場ヲ異ニシテ、攻撃軍ト防禦軍トナッテ居レバ、大概分リハセヌカト思ヒマス

○岡田委員 能ク政府ハ抽象論ヲスルカライカスト仰ッシャイマスガ、私ハ念ノ爲ニ具體的ノコトヲ申上ゲテ置イタルデアリマス、然ルニ商工大臣ガ抽象論デ對抗サルルト云フコトハ、マルデ是マデノ政府ノ答辯ト矛盾スル「ダンピング」ノコトニ付テハ、何ボ「ダンピング」ガアツテモ大丈夫ダト言ハレマスガ、何故大丈夫ダト云フコトニ付テハ、生産費ニ戻ッテ來ナケレバナラス、又內國ノ需要、外國ノ需要カラ見ナケレバナラヌカラ、サウ云フヤウナ趨勢ヲ御說明ニナレバ私ハ納得スルケレドモ「ダンピング」ガアツテモ日本ノ産業ハ依然トシテ立ッテ居ルト言ハレルダケデハ、私了得ガ出來ヌ、何ボ立場ヲ異ニスルト言ッテモ、ソレデハ答辯ニモ議論ニモナラヌト思フ、モット具體的ニ説明ヲ得タイモノト思ヒマス

○村田委員 私ハ岡田サンノ御諒解ヲ得テ當局ニ質問ヲシヤウト思ヒマス、本日頂戴シマシタ主要國別人絹生産費ト云フノハ、世界蠶絲絹業年鑑ニ依ルトアリマスガ、是ハ何年度ヲ示シタモノデアルカト云フコトガ一ツデアリマス、ソレカラ先日私ガ質問ヲ致シマシタ時ニハ、商工大臣ガオイデニナリマセヌデシタガ、人絹ノ關稅ノ更正ノ目的ヲハッキリ知ラシテ戴キタイ、即チ現在ノ我國ノ生産ヲ以テハ輸出力ニ對シテハ足りナイト云フノデ、輸入ヲ促スニアルカ、或ハ外國品ノ輸入ヲ寧ロ誘導シテ、本邦ノ生産費ヲ此上ニモ低廉スルコトヲ刺戟スルニアルカト云フコトヲ伺ッタノデアリマスガ、是モ商工大臣ニ御伺致シタイ、ソレカラ只今岡田サンノ御質問ガゴザイマシタガ、私共受取リマシタ所ノ表ニ依リマスト云フト、我國ノ生産額ハ昭和三年カラ非常ニ躍進ヲ致シテ居リマス、即チ昭和二年ニハ七百九十三萬圓デアリマシタモノガ、昭和三年ニハ千二百四十七萬圓トナリ、而シテ昭和五年ニハ二千七百六十六萬圓ト躍進ヲ致シテ居ルノデアリマス、而シテ一方ニ輸入ヲ見マスルト云フト、昭和二年マデハ非常ナ高ガ入ッテ居リマシタガ、昭和三年ニ至ッテ俄然トシテ衰ヘタ、併ナガラ昭和四年、五年度ハ、漸次増シテ居リマス、僅

カナ金デハアルガ、昭和五年ニ於キマシテハ、三年ノ倍額以上ニ上ッテ居ルノデアリマス、我國ノ生産額ガ増加シテ、而シテ一面ニハ輸入モ亦細々ナガラモ増加シツ、アル時デアリマス、斯様ナ新シキ我國ニ於ケル所ノ産業ガ、昭和三年以來本當ニ緒ニ就イタ場合合ニ、而モ一面ニハ細々ナガラ尙ホ輸入ガ増進シツツアル此場合ヲ御選ビニナリマシタコトハ、ドウ云フ意味デアルカト云フコトヲ私共理解ニ苦シムノデアリマス、斯様ナ重要產物ヲ助長ヲ致シテ行キマス上ニ於テハ、相當ナル意見ガナケレバナラスガ、當局ノ御説明デハ其意義ガハッキリ致シマセヌ、殊ニ關稅ヲ安クシテモ、我國ノ生産ヲ阻止シナイト云フ御答辯ハ消極的デアリマシテ、私共カラ言ヘバ、我國ノ生産額ヲ更ニ増加シ、更ニ輸出ヲ多クスル、斯様ナ積極的ノ目的ニ出デナケレバ、關稅調節ノ唯一ノ目的ヲ達スルニ足ラナイ、輸入ヲ若干促進シテモ、我國ノ産業ハ啓サレナイト云フ消極的ノ御説明ハ、之ヲ以テ私共満足セシメル所以デナイト存ジマス、大體岡田サンノ質問ト關聯シテ居ルト思ヒマスカラ、御尋申上ゲマス

○俄國務大臣 岡田君ノ御質問ニ對シテ、村田君ヨリ尙ホソレヲ敷衍ヲサレタヤウナ意味ノ御質問デアリマシタカ

ラ、別々ニ致シマセヌデモ、一緒ニ御答シタ宜イカト思ヒマス、外國ノ生産費ヲ世界蠶絲絹業年鑑ニ依ルト言フタコトニ付テハ、是ハ政府委員カラ御話ヲ申上ゲルコトニ致シタイト思ヒマス、外國ノ人絹ガ多少増加ノ趨勢ニアルモノヲ、此際ニ於テ關稅ヲ下ゲテ、尙ホ輸入ヲ促進スルヤウナ行動ヲ取ルト云フコトハ、以テ我國ノ人絹工業ニ脅威ヲ感ゼシムルヤウナコトガナイカト云フ御趣意デアアルヤウデアリマシマス、ソコハ先程カラ申述べタ點デアアルデアリマス、我國ノ人絹工業ガ段々發達シテ來テ、御覽ノ通りニ生産額モ段々増シテ來テ居ル、所謂今日ハ尙ホ十分ノ發達ノ程度トハ申サレヌシテモ、或ル程度マデ發達シタモノト言ヘル、ソレ故ニ此程度ニ於テ、我國ノ人絹工業ノ發達ノ程度ニ於テ、此處デ關稅ヲ引下ゲテモ、我國ノ工業ニハ脅威ヲ感ゼシメナイモノデアアル、斯ウ云フコトヲ所謂原則的ニ申上ゲタ、其理由ヲ申セト云フ御要求デアアル、是ハ詰リ前來申述べタル如キ色々ノ趨向ニ依ッテ判斷シテ居ルノデアリマシマス、村田君ノ御指摘ノ外國輸入ガ増加スル、是ハ成程僅ノ地方ニ於テ増加シテ居リマス、増加シテ居リマスガ、此數字ハ、我國ノ工業ニ付テ大シテ深ク考ヘル必要ノ數字デハナイト思ヒマス、三年ニ下ッ

タ點ニ付テハ、其前ニ溯ッテ、大正十五年、昭和元年ニ入ッテ來タコトハ、是ハ關稅改正ノ時ニ當ルノデ、見越輸入ガアルデセウ、昭和二年ニ於テ、前年ノ大正十四年ノ數ニ匹敵シテ居ル數デアリマシマス、昭和三年ニ於テ下ッタコトハ、或ハ前年ノ持越數カ知レマセヌガ、四年、五年ニ稍上ッタコトハ、是ハ恐クハ内地ノ人絹價格ガ餘リニ下ラナイ、而シテ一方ニ於テハ人絹ヲ原料トスル織物ガ段々ニ發達シテ來テ、其原料ノ使用數量ガ多クナッテ來ル、隨テ保稅工場ノ制度ヲ利用シタ輸入ガ、此程度マデ増加シタデハナイト思フ、此數字ハ今申上ゲマスル如ク、サウ強ヒテ氣ニスルヤウナ數字デハナイト思ヒマス、寧ロ關稅ヲ引下ゲテ、先ニ申シマシタ如ク、内地國產人絹ノ價格ヲ牽制シ得テ、相當ナ價格ニ下リ得ルトシタナラバ、或ハ輸入品ヲ需要セヌデモ、國產品ヲ需要スルト云ッタヤウナ風ニ相成ル點モアルカ知ラスト思フ、要スルニ今申シマス如ク、關稅ノ引下ヲ以テ我國ノ人絹工業ノ基礎ヲ危クシ、發達ヲ妨グル如キコトハナイト思フノデアリマシマス

○村田委員 私ノ申上ゲマシタ肝腎ノ點ニ御答ガナイ、我國ノ人絹生産業ニ影響ガ少ナイト云フコトヲ申サレマスガ、私ノ申上ゲマスノハ、積極的ノ意義ガアルカト云フコトガ主眼デアリマス、兎ニ角此場合ニ少シデモ安クシテ變更ヲ加ヘルト云フコトハ、一方カラ見レバ輸入ノ衝動ヲ促スコトニナル、左様ナ政策ヲ此場合モ行フ必要ガ何處ニアルカ、而シテ此新シキ産業ニ向ッテ、只今御説明ノ中ニハ多クハ不明ノ點ダ、御想像ガ八割位デアアル、事實上ノ根據ハ二割位シカ聽取レナイ、左様ナ曖昧ナハッキリシナイ御考ヲ以テ、此新シク勃興セル産業ニ向ッテ輸入ヲ刺戟スル政策ヲ、此場合御採リニナルト云フコトハ、國民ノ理解セザル所デアリマス、而シテ現在ノ我國ニ於ケル人絹製造業ガ、意外ナル暴利ヲ貪ッテ居ルモノデアアルカラ、此生絲ヲ織物トシテ輸出スルト云フノデ、事業ノ發達ヲ更ニ促ス意味ニ於テ、我國ノ人絹ノ生産費ヲモット安クサセルト云フ御考ノヤウニモ聽取レルコトモアリマス、併ナガラ僅ニ昭和三四年、今日マデ三箇年間位マデ順調ニ行ッテ居ル所ニ、更ニ又新シキ衝動ヲ加ヘルト云フコトハ、是ハ一般ノ産業獎勵ノ方針トシテモ、私共ノ首肯シ得ザル所デアアルノミナラズ、何ト考ヘマシテモ、世界的ニ經濟ノ不安ノ時代、其不安ノ時代ヲ選ンデ、大小ニ拘ラズ刺戟ヲ與ヘルト云フコトハ、是モ策ノ得ザル所デアアルト存ジマス、其根本的御方針ニ向ッテ御説明ヲ

希望スルノデアリマス

○俄國務大臣 村田君ノ御質問ノ趣旨ハ、先刻申ス通りニ、國內ノ人絹工業ヲ危クシマセヌカト云フコトデアアルデアリマシマスガ、然ラバ何故一體此際ヲ選ブノデアアルカ、斯ウ云フ點ノ御尋ノヤウデアッタノデアリマシマスガ、一方ニ於テハ人絹工業ノ生産家、一方ニ於テハ之ヲ消費スル所ノ消費者、此二ツガアル、而シテ先刻申ス通り、之ヲ原料トシテ使用スル所ノ所謂人絹織屋ハ、内地ノ價格ガ高イガ爲ニ非常ニ苦ンデ居ル、ソレ故ニ織屋ノ要求ハ、即チ關稅ヲ引下ゲヲ要求シテ居ル、何故ナラバ、人絹織屋ガ造ル製品ガ段々海外ニ發展シテ來ル、所ガ原料ノ高價ニ依ッテ、其輸出ヲ阻止スルガ如キ段々傾向ガ見エテ來ル、ソレハ大變ニ織屋トシテハ困ル所以デアアル、ソレ故ニ今申スガ如ク、織屋ハ關稅ヲ引下ゲテ、其原料ノ出來ルダケ安クナルコトヲ希望シテ居ル、是ガ詰リ昨年以來ノ問題デス、ソレ故ニ昨日モ申シタ通り、政府ハ此兩者ノ間ニ立ッテ、其方ノ利益ヲ調節スル爲ニ、茲ニ適當ナル程度ノ關稅引下ゲヲシタノデアアル、斯ウ云フコトヲ申上ゲタノデアアル、詰リ今日モヤハリサウ申上ゲルヨリ外ハナイ

○村田委員 私ハ益々要領ヲ得マセヌ、稅率更正ノ積極的效果如何ト云フ

コトヲ聞イテ居ルノデアリマスガ、此御答ハ全然出来ナイ、ソレハ姑ク措キマス、ソレカラ戴キマシタ表ニ依ルト、人造絹絲輸出額調ト云フノニ、昭和四年ニハ十八萬圓、昭和五年ニハ三百二十三萬圓ト、躍進シテ居ル表ヲ戴イテ居ルノデアリマス、此以上ニモ躍進シ

タ此ノ昭和五年ヲ經過シテ今幾ラモ經タナイ、曆年カラ申シマスレバ漸ク三月、斯様ナ異常ナ躍進ヲ見テ居ル時代ニ、我國ノ人絹ノ生産費ノ高イノヲモツト安クスルトカ、刺戟スルトカ云フノハ、極メテ慌タダシイ人間ニアラザル限リハ、サウ云フコトヲシナイ筈デアル、ソコガ不合理デ、常識ニ反シマスカラ、私共ノ想像ノ及バザル點ニ當局ノ考ガナカラヌ限リハ、之ヲ理解ノ出来ヌコトデアル、私ト致シマシテハ、今日既ニ只今ノ御答ニ依ッテハ匙ヲ投ゲルホカハナイ、先日ノ私ノ質問ノ時ニハ、大臣オイデニナリマセヌデシタガ、私ト致シマシテハ、繰返シテ申シテ済ミマセヌガ、一口ニ申シマスト、現在ノ時機ニ於テ、關稅政策ヲ以テ我國ノ産業ヲ助成シ、整理シテ行クト云フノニハ、僅ニ木材ト人絹ノミヲ選バズシテ、今少シク全般ニ互ル稅率ノ更正ガナカラネバナラス、然ルニ大藏次官ノ説明ニ依レバ、僅ニ此二ツダケヲ選ンデ調査會ニ諮問ヲシテ、其結果ヲ出シ

タト云フコトニ於テ、根本的ニ私共ハ二品ダケヲ御選ビニナッタト云フ點ニ多大ノ不滿ヲ感ジテ居ル、況ヤ其御出シニナッタ二ツノ品物ニ於テスラモ、吾々ノ満足スル説明ノナイコトヲ衷心ヨリ遺憾ト致シマシテ、私ハ此程度ニ於テ止メマス

○岡田委員 只今ノ御話ニシタ所デ、内地ノ絲ノ値段ガ高イカラ、外國ノ輸出ヲ阻止スル傾向ガアルト云フヤウナコトハ、マルデ是ハ空想デアリマス、事實ハマルデ反對ノ事ヲ示シテ居ルノデハナイカ、外國ノ躍進ト云フコトハ、モウ少シ御研究シテ戴カナケレバ、吾々ハ實際質問ヲスルニ頼リガアリマセヌカラ、願クハ一應休會サレテ、モウ少シ精シイ材料デモ御取寄セニナッテ御研究ニナッテ、其上ニ御出席ニナルコトヲ希望シマス

○永田委員長 十二時ニモナリマシタカラ、此際休憩致シマスガ、其前ニ一寸御諮リ致スコトガアリマス、委員前田房之助君ガ辭任サレマシテ、竹田儀一君ガ補闕ニ當選セラレマシテ、御就任ニナリマシタ——ソレカラ休憩後直チニ議長應接室デ理事會ヲ開キタイト思ヒマス、ソレニ付キマシテ色々御相談スルニ便宜ガアラウト思ヒマスカラ、政友會カラ岡田サン及ビ今井サン、第一控室カラ村田サン、民政黨側カラ

末松君、飯塚君、松井君ノ御三名ニ、一寸御立會ヲ願ヒタイノデアリマス、甚ダ御迷惑デアリマスガ、今カラ直グ御參會ヲ願ヒタイト思ヒマス、尙ホ午後一時半カラ開會致シマス

午後零時四分休憩

午後二時十九分開議

○永田委員長 休息前ニ引續キ開會致シマス、一寸申上ゲマス、昨日提出シマシタ參考書類ノ南洋材輸入額表昭和三年度分ノ「プリン」ニ間違ガアリマシタノデ、改メテ皆様ノ御手許ニ配付シタ筈デアリマス、一寸御報告申上ゲテ置キマス

○板谷委員 私ハ樺太長官ニ御尋シタイ、此度ノ關稅改正ハ、木材ニ付キマシテハ言フマデモナク樺太材ニ重大ナ影響ガアルノデアリマスガ、從來樺太島ニ於ケル木材ノ處分ニ付キマシテハ、或ハ歷代内閣ト言ウテモ宜シイガ、殊ニ民政黨内閣成立以來、其拂下ニ付キマシテハ、或ハ一面ニ於テ殆ド伏魔殿ノ如ク種々ナル批評ガアルノデアリマス、デアリマスカラ將來ニ於テ樺太島統治ノ上ニ於キマシテハ、長官ハ餘程シツカリシテ貰ハナケレバナラス、年々歳々御承知ノ通り政黨員ガ樺太ニ參リマシテ、定メシ長官モソレ等ノ應對ニ對シテハ御迷惑デアラウト思フケ

レドモ、今日マデ吾々ノ御聞スル所ニ依ルト、隨分此樺太材ノ拂下ハ政黨ニ利用サレル、此點ニ對シマシテハ私共ハ非常ニ遺憾ニ存ズル次第デアリマスガ、民政黨内閣成立以來、民間ニ對シマシテ拂下グラレマシタ其數量ガ分リマシタナラバ、先ヅ第一ニ御示願ヒタイノデアリマス、是ハ直接關係ハアリマセヌケレドモ、沿海州木材ガ無稅ガ有稅ニナリ、或ハ一部引上サレルト云フヤウナ關係ニ於テ、樺太廳ノ將來ニ於テ重大ナル關係ガアリマスカラ、此點ヲ先ヅ第一ニ承リタイノデアリマス

更ニ又現在ノ拂下價格ト云フモノハ非常ニ割合ガ高イ、今日樺太事業ヲヤツテ居リマス者ノ話ヲ聽イテ見マスト云フト、事業ノヤリ方ノ惡イ點モアリマセウケレドモ、殆ド收支償ハズ、勿論不況ノ爲ニ木材ノ價格ノ安イト云フ關係モアリマスケレドモ、殆ド現在ノ拂下價格デアッテハ引合ハナイト云フコトヲ言ッテ居ルノデアリマスガ、今後ニ於キマシテ此價格ヲ引下グラレル意思ガアルカドウカ、此點モ承リタイ、更ニ又現在樺太ニ於キマシテ拂下ゲシ得ル材木ノ數量ガドノ位アルカ、又民間ノ現在持ッテ居ル數量ガ約ソドレ位アルカ、此區別ガ分リマシタナラバ御伺シタイト思ヒマス

○縣政府委員

只今御尋ノ民政黨内閣ニナリマシテ、即チ一昨年ノ七月以降ノ林木ノ處分、材積ノ數量ハ、一時拂ニ於キマシテ三百五十六萬八千五百五十五石、天氣賣買契約ニ於キマシテ一千四百七十四萬石ト云フコトニナッテ居リマス、其外官行斫伐丸太ノ處分材積ガ二百六十六萬二千九百三十二石ト云フ數字ニナッテ居リマス、次ニ御尋ノ樺太ノ木材ノ單價ハ少シク高過ギルデハナイカ、ソレデ當業者ニ於キマシテハ是ガ取扱上非常ナ困却ヲ致スガ、將來ハドウスル積リカト云フヤウナ御尋デアリマシタガ、此點ニ付キマシテハ昨日モ御答ノ中ニ申上ゲテ置キマシタノデアリマスガ、現在ノ樺太ノ木材ノ單價ハ標準單價ノ制度ヲ執ッテ居リマシテ、一石六十五錢ト云フコトニ致シテ居リマス、ソレデ島外ニ搬出ヲ致シマスル時分ニ三割増ト云フコトニナッテ居リマス、現在ノ木材界ノ不況ノ現狀ニ鑑ミテ見マシテ、此標準單價ガ安イトハ考ヘテ居ラナイノデアリマスガ、樺太ノ木材ノ市場價格ガ中央ニ於キマシテ下落ノ傾向ニアッタノデアリマスガ、是等ハ一ツハ樺太材ノ移出ト云フコトガ或ハ需要ト供給ノ權衡ヲ得ナイト云フヤウナ點ガアルカト考ヘラレルノデアリマス、ソレデ此際標準單價ヲ引下グマスルコトハ、一面ニ於テハ

○板谷委員

定メシ樺太ノ林業政策ニ對スル方針ガアルコトト思フノデアリ

○縣政府委員

人絹「バルブ」ノコトニ付キマシテハ、前任者ノ時代ニ於キマシテ一度取調ベテ致シマシテ、サウシテ林木ノ拂下ニ付キマシテ此人絹用「バルブ」トシテ契約ヲ締結スル段ニマデ進ンダノデアリマシタガ、其後人造絹絲ノ製造ヲ以テ出願ヲ致シタ人達ガ、追願ト致シテ製紙「バルブ」ニ一部ヲ利用スルコト云フ追願ガアリマシテ、其結果取消ニナリマシテ今日ニ至ッタノデアリマス、ソレデ私ニ於キマシテハ樺太ノ林木ヲ材木トシテ處理スルヨリモ、之ヲ化學工業化スルニ依リマシテ人絹製造、人絹「バルブ」等ニ之ヲ利用スルコトガ出來マスレバ、一面ニ於テハ林木ノ利用ノ點ニ於キマシテ、又樺太ノ殖進展ノ上ニ於キマシテ、且ツハ是等ノ工場ヲ設置致シマスル地方ノ開發ノ上ニ於テ、最モ適當ナル施設

○縣政府委員

只今出願ノアルモノニ付テ審査ヲ致シテ居リマス、尙ホ樺太ノ木材ヲ人造絹絲ニ悉ク致スト云フコトハ、是ハ不可能ナコトデアリマシテ、一部ハ之ヲ「クラフト」紙ニ製造スルコト云フヤウナコトモ、此事業ノ將來ノ發展ノ上ニ於テ認メナケレバナラヌコトデアルト云フ風ニ考ヘマシテ、單リ悉ク人絹「バルブ」ト云フコトニナラナイデ、其他ノ用途ヲモ含メテヤルノガ至當デアルト云フヤウナ考カラ、目下調査中ニ相成ッテ居リマス、ソレカラ第二ノ御尋ノ樺太林業株式會社ニ對シマスル林木拂下代ノ未納ノ件ニ付キマシテハ、是ハ昭和四年ノ四月一日ニ此林木ノ支拂ニ付キマシテ協議ヲ遂ゲマシタガ、遂ニ其協議ガ纏リマセヌ爲ニ、訴訟ヲ提起スルコトニ致シマシテ、仁井田益太郎氏ヲ代理人トシテ訴訟ヲ四月一日以來提起致シマシテ、最初ノ内ハ準備書面ノ審理ヲ繼續ヲ致シマシテ、昨年ノ五六月カラ口頭辯論ニ入りマシテ、證人ノ喚問ヲ繼續致シテ、今日尙ホ事件ガ繼續中デアリマス

○板谷委員

私ハ現在ノ樺太長官ニ對シテ衷心カラ希望ヲ致シマスコトハ、兎角樺太廳ニ於ケル所ノ木材ノ處分ハ、私ハ先程申上ゲマシタヤウニ色々

複雑シタル所ノ問題ガ起ツテ居ルノデアル、隨テ現在ノ縣樺太長官ハ勿論公明正大ナ御考ヲ持ツテ居ラレルデアリマセウ、或ハ實際ニ於テ御ヤリニナツテ居ルコトデアリマセウケレドモ、何レノ政黨ヲ問ハズ兎角樺太材ニ對シテハ、年々歳々多數ノ人ガ渡ッテ長官ニ迫ッテ怪シイ處分ヲサレト云フコトハ數多イノデアリマス、小川政務次官ノ如キモ昨年ハ一ヶ月半モ御出ニナツテ、樺太ノ事情ヲ能ク御存ジニナツテ居ルデアリマセウガ、將來ニ於テ樺太ノ木材ノ拂下ニ付テハ極メテ公平ニ、黨派的ノ觀念ナク處分スルト云フコトノ一ツ御心懸ヲ持ツテ戴キタイ、是ハ私ノ希望デアリマス、樺太長官ニ對スル質問ハ此程度ニシテ置キマス

ルマデモナイ、爲ニ年々樺太廳ノ移出材ニ對シテ移出量ノ制限ヲサレタイト請願若シクハ建議モ年々此議會ニモ現レテ居ルノデアリマスガ、將來樺太廳ニ於キマシテハ内地ニ向ッテドレ位ノ量ヲ御出シニナル御見込デアリマスカ、先ヅ之ヲ御伺致シタイ

○縣政府委員 樺太ノ木材ノ移出ノ數量デアリマスガ、此點ニ付キマシテハ將來ノ方針ト致シマシテハ、六七百萬石ノ範圍ニ於テ取扱ヒタイト云フ考デ居ル次第デアリマス

○岩本委員 此六七百萬石ト申シマスコトハ、今回ノ關稅改正ヲ御考慮ナツテノ上ノ六七百萬石デアリマスカ、此點ヲ御伺致シタイ

○縣政府委員 是ハ今日迄ノ狀況カラ推斷ヲ致シマシタ數字デアリマス

○岩本委員 然ラバ此今回ノ茲ニ審議サレテ居リマス關稅案ガ兩院ヲ通過致シマシタ場合ニハ、ドレ位ノ數ヲ適當ト御認ニナリマスカ

○縣政府委員 此度ノ關稅改正ガ成立ヲ致シマスレバ、樺太材ニ對シテ相當良好ナル影響ガアルコト、考ヘルノデアリマス、只今マデ島外ニ移出ヲ致シテ居リマスル數量ハ、樺太廳ガ最初ヨリ島外移出トシテ許シマシタモノト、其後ニ島外移出ニ變更認可ヲ致シタモノ、此二種アルノデアリマス、隨ヒマシテ此後ニ於キマシテ沿海州材ガ這入ルコトガ少ナイノデ、樺太材ニ對スル所ノ需要ガ多クナルト云フ場合ニ於テハ、只今申上ゲタ數字ノ上ニ幾分ノ考慮ヲ加ヘタイト考ヘルノデアリマス、尤モ此樺太材ニ付キマシテハ昨日モ申上ゲタ通り、大體年伐量ト云フモノハ決定致シテ居リ、要求モアルコトデアリマスカラ、其範圍内ニ於テ適當ニ處理ヲ加ヘタイ、其正確ナル數字ニ付テハ只今ハ申上ゲ兼ねマス

○岩本委員 樺太廳ニ於ケル年々一箇年ノ伐木量及ビ其用途等ハ、概定サレテ居ルコトハ承知致シテ居リマスルガ、五十六議會ニ於テ關稅改正案ガ提出サレテ、其當時私ハ樺太廳長官ニ質問ヲ致シタノデアリマスガ、即チ樺太ニ於テハ盜伐ガ甚ダ多イ、又一面立木ヲ「バルブ」材料トシテ拂下ヲ受ケテ、サウシテ近所ニ於テ極ク少シノ量ノ木材ヲ内地移出用材トシテ拂下ヲ受ケテ、而モソレガ「バルブ」材料トシテ拂下ゲタモノガ何時ノ間ニカ内地ニ用材トシテ移出サレルト云フ狀況ノアリマスコトハ、長官モ或ル程度マデハ御認ニナルコト、思ヒマスガ、ソレニ付テ昭和五年度ノ豫算ニ於テハ相當ニ盜伐取締ノ費用ヲ計上シテ、取締ノ人ヲ増シテ此弊ヲ除去スルコトニナツテ居ッタノデアリマスガ、昭和五年度ノ豫算、五年

度ノ實行豫算、及ビ六年度ニ於テ、此盜伐取締ニ關シマスル費用ハ如何様ナ數字ニナツテ居リマスルカ、此點ヲ御伺シタイ

○縣政府委員 樺太材ヲ島外ニ移出ヲ致スニ付キマシテ、ソレノ取締モ致シテ居ルノデアリマスガ、其間ニ密移出ノアリマスコトヲ考ヘマシテ、是ガ取締ニ力ヲ致シテ居ルヤウナ次第デアリマス

尙ホ此盜伐ノコトデアリマスガ、此樺太ニ於ケル盜伐ノ取締ニ付キマシテモ、十分ニ力ヲ致シテ居ルノデアリマシテ、最近ノ統計ニ依リマシテモ相當ノ件數ト相當ノ材積ヲ檢舉致シタモノモアルノデアリマス、殊ニ昭和四年ノ豫算ニ於キマシテ、森林主事ノ數ヲ二百六十三人ニ増加致シマシテ、ソレデ昭和五年ノ一月カラ林務署ヲ設置致シマシテ、之ニ依ッテ常ニ樺太ノ林政ニ對シテ、林業國デアアルニ拘ラズ、森林ノ保護管理ニ當ル所ノ役所並ニ吏員ノ少ナカッタノヲ相當整備ヲ致シタ次第デアリマスガ、尙ホ昨年ノ特別議會ニ於キマシテ、森林警察官五十名ヲ置キマシテ、只今教養ヲ終リマシテ、是ヨリ必要ナル地方ニ配置ヲ致スヤウナコトニ相成ツテ居リマス、是等ノ事柄ガ、是ハ獨リ森林ノ盜伐防止、檢舉ト云フ必要ニノミ直接致ス次第ハナイノデア

リマシテ、或ハ火災ノ豫防、其他森林事務一般ニ對シテ、賣拂ヒヨリ保護管理一般ニ互ル仕事ノ爲ニ設ケタ人員デアリマシテ、此數字ニ付キマシテハ、只今正確ナル數字ハ一寸手許ニアリマセスカラ、後刻差上ゲタイト思ヒマス

ヲ願ヒタイト云フコトヲ申上ゲマシタガ、丁度本會議ガアリシマテ、今直チニ出席ハムツカシイガ、本會議ガ濟ミ次第此委員會ニ出席ヲ致スト云フ御承諾ヲ得マシテ、此旨ヲ政友會ノ方ニモ御傳ヘ致シマシテ、ソレデ宜シイ、斯ウ云フコトニ相成ツテ居リマス、隨ヒマシテ委員會ハ、今晚ハ少シ遅クマデ掛ルカモ分リマセヌガ、速記者ノ諸君ニモ御迷惑ト思ヒマスカラ、之モ只今交渉ヲ致シテ、疲レテモアラウガ是非一ツ重要ナ議案ノ審議デアルカラ、二十一日、二十二日ハ休マレルコトデアルカラ、過勞ニモナルダラウガ辛抱シテ貰ヒタイト云フ事ヲ交渉中デアリマス、多分同ジヤウニ議院ノ中ニ働イテ居ル人達デアルカラ、御承諾ニナルコト、思フテ居リマス、斯様ナ意味デ議事ヲ進行シテ行ク豫定ニナツテ居リマスノデ、此事ヲ皆様モ御含置キ下サイマシテ、離席其他モ御自由デアリマスガ、唯此點ヲ念頭ニ御留メヲ願ヒタイ、斯ウ思ヒマシテ一寸御報告申上ゲル次第デアリマス

テ貰ヒタイ思ヒマスカラ、四年度以降ドウ云フ風ニ此經費ノ増減或ハ人員ノ増減等ガアリマスガ、ソレヲ御示ヲ願ヒタイ、尙ホ御伺致シマスガ、昨日長官ノ御答辯ニ依リマス、目下非常ニ木材ノ價格ガ低落致シタ爲ニ、樺太廳ノ森林收入モ約二三百萬圓ノ減收ヲ來スヤウナ虞ガアルト云フコトデゴザイマシタガ、此二三百萬圓ノ減收ト云フコトハ、年々概定致シテ居リマス數量ノ材木ヲ拂下ゲ、若クハ官行伐採ヤル、所謂概定數ニハ異動セズシテ、年々ノ概定數ニ依ツテ考ヘテノ減收デアリマスカ、若クハ概定數ヨリモ少シ殖シテモ、ソレダケノ減收ガアルモノデアルカラ、又内地林業ニ影響ヲ及ボスコトヲ考慮サレテ、年々概定致シテ居ル數量ヲ内輪ニ見テノ減收デアリマスガ、此點ヲ御伺致シタイ

ハ豫定數量ノ範圍内ニ於キマシテ、是ダケノ收入ヲ減ズルト云フ見込デアリマシテ、其減收理由ハ需要ノ減少ト云フコトデアリマシテ、樺太材ニ限ラズ木材界ノ不況ノ結果、殊ニ樺太材等ニ對シマシテモ、需要ガ減少ヲ致シマシタ、隨テ樺太ニ於キマシテ伐木製材等ヲ致ス數量ガ現ニ減少ヲ致シテ居ルデアリマス、其結果先ニ申上ゲマスルヤウナ收入減ト相成ル次第デアリマス

○永田委員長 一寸御報告致シタイ事ガアリマス、先程委員會ノ議事ノ進行ヲ滑カニスル爲ニ、理事各位並ニ數氏ノ御會合ヲ求メマシテ色々協議ヲ致シ、其結果政友會ノ各位ニ於カレマシテモ色々御相談ヲ下サイマシテ、先程政友會ノ側ノ理事兩君ト岡田君ト御三方デ委員長マデ御協議ガアリマシタ、其協議ニ依リマスルト、モウ少シ質問ヲ繼續シタイ、併シ圓滿ニ來タ委員會デアルカラ、成ベク圓滿ニ收メタイト云フトハ勿論政府トシテモ希望シテ居ル、而シテ明日ノ日程ニハ本案ノ上ルヤウニ努メルコトデアルガ、何分今マデ十分ニ審議スルノ機會ガナカッタノデアルカラ、モウ少シ質問應答ヲ重ネテ見タイト思フカラ、其點ヲ委員長ニ於テ取計ツテ貰ヒタイ、満足ガ行ケバ今晚ニデモ委員會ハ終了ヲ見テモ差支ナイガ、ソコハ審議ノ進行ノ模様ニ依ッテ協議ヲシタイ、斯ウ云フ御話デアリマシタ、ソコデ委員長ハ大藏大臣、農林大臣ニ相談ヲ致シマシタ、斯ウ云フ譯デアルカラ是非審議ノ都合上御出席

○岩本委員 森林盜伐ノ豫防或ハ山林火災ノ豫防等ニ付テ、色々施設ヲナシ、吏員ヲ増置スルト云フコトハ、只今ノ御答辯ニ依ツテ分ツタデアリマスガ、先刻私ハ五年度、六年度ト云フコトヲ申上ゲマシタガ、何レ是ハ表ニシテ出シ

○縣政府委員 昨年ノ夏頃カラ殊ニ樺太材ノ需要減退ノ傾向ヲ見ルコトニナリマシテ、自然五年度ノ歲入ニ於キマシテモ減收ヲ見マスヤウニナリマシタ、昭和六年度ノ豫算ノ編成ニ付キマシテ、昨日申上ゲマシタヤウニ、森林收入三百七十萬圓内外ヲ減ズルノ見積ヲ致シタデアリマス、是ハ只今御尋ノ年々ノ豫定數量ノ中デアルカ、或ハ豫定數量ヲ増シテモサウ云フ收入減ニナルノカト云フ御尋デアリマシタガ、是

○縣政府委員 樺太ノ木材ノ伐採ハ俗ニ冬山ト夏山ト申ス二種ガアリマシテ、夏山ト申スノハ、是ハ例外ニ屬スルノデアツテ、普通ハ十一月、二月頃カラ伐採ノ準備ニ著手致シ、サウシテ翌年ノ三、四月頃マデニハ其仕事ヲ終ツテ、其後五、六月頃カラ搬出致シ、ソレカラ内地ニ運ブト云フコトガ其例ニナツテ居ルデアリマス、ソレデ昨年來實地調査

○縣政府委員 昨年ノ夏頃カラ殊ニ樺太材ノ需要減退ノ傾向ヲ見ルコトニナリマシテ、自然五年度ノ歲入ニ於キマシテモ減收ヲ見マスヤウニナリマシタ、昭和六年度ノ豫算ノ編成ニ付キマシテ、昨日申上ゲマシタヤウニ、森林收入三百七十萬圓内外ヲ減ズルノ見積ヲ致シタデアリマス、是ハ只今御尋ノ年々ノ豫定數量ノ中デアルカ、或ハ豫定數量ヲ増シテモサウ云フ收入減ニナルノカト云フ御尋デアリマシタガ、是

○縣政府委員 樺太ノ木材ノ伐採ハ俗ニ冬山ト夏山ト申ス二種ガアリマシテ、夏山ト申スノハ、是ハ例外ニ屬スルノデアツテ、普通ハ十一月、二月頃カラ伐採ノ準備ニ著手致シ、サウシテ翌年ノ三、四月頃マデニハ其仕事ヲ終ツテ、其後五、六月頃カラ搬出致シ、ソレカラ内地ニ運ブト云フコトガ其例ニナツテ居ルデアリマス、ソレデ昨年來實地調査

○縣政府委員 樺太ノ木材ノ伐採ハ俗ニ冬山ト夏山ト申ス二種ガアリマシテ、夏山ト申スノハ、是ハ例外ニ屬スルノデアツテ、普通ハ十一月、二月頃カラ伐採ノ準備ニ著手致シ、サウシテ翌年ノ三、四月頃マデニハ其仕事ヲ終ツテ、其後五、六月頃カラ搬出致シ、ソレカラ内地ニ運ブト云フコトガ其例ニナツテ居ルデアリマス、ソレデ昨年來實地調査

○縣政府委員 樺太ノ木材ノ伐採ハ俗ニ冬山ト夏山ト申ス二種ガアリマシテ、夏山ト申スノハ、是ハ例外ニ屬スルノデアツテ、普通ハ十一月、二月頃カラ伐採ノ準備ニ著手致シ、サウシテ翌年ノ三、四月頃マデニハ其仕事ヲ終ツテ、其後五、六月頃カラ搬出致シ、ソレカラ内地ニ運ブト云フコトガ其例ニナツテ居ルデアリマス、ソレデ昨年來實地調査

ヲ致シマシタ結果、木材界ガ非常ニ不況ノ爲メ樺太ニ於テハサウ云フ事業ニ著手スル者ガ減少致シマシタ、是等ノ實數カラ大體ヲ觀察致シマシテ、曩ニ申上ゲタ數字ガ減少致スト云フコトニ相成ルノデアリマス、樺太ニ於キマシテハ森林收入ノ豫算超過ト云フ場合モアッタノデアリマスガ、ソレハ木材界、經濟界ノ好況時代ノ現象デアリマシテ、昨今ノ如キ場合ニ於テハ只今御尋ノ如キコトハナイト考ヘテ居ル次第デアリマス

○岩本委員 尙ホ御伺致シマス、現在樺太ノ木材ヲ島外移出ヲ致シマス場合ニ、島外移出料金ト云フモノヲ御取リニナツテ居ルヤウニ聞イテ居リマスガ、是ハ事實デアリマスカドウデスカ

○縣政府委員 樺太材ヲ島外ニ移出致シマス場合ニハ、一石六十五錢ト云フ單價ニ對シテ三割増ノ移出料ヲ取ツテ居ル次第デアリマス

○岩本委員 サウ致シマスト移出料金ノ三割デアリマスカラ、百石六十五圓トスレバ十九圓五十錢ノ移出料ヲ御取リニナツテ居ルコトニナリマスガ、此移出料ヲ取ツテ、サウシテ是ハ相當ナ收入ガ得ラレト思ヒマスガ、是ハドウ云フ方面ニ御使ヒニナツテ居リマスカ

○縣政府委員 島外ニ移出サル樺太材ハ一石八十四錢五厘ト云フコトニナリ

マス、ソレデ樺太廳ノ特別會計ニ於テハ、森林收入ハ常ニ約三割位ヲ占メテ居ルノデアリマス、ソレデ是ハ樺太ノ拓殖ノ一般財源トシテ用ヒラレテ居ル次第デアリマス

○岩本委員 サウ致シマスト、移出料金ノ制度ハ島外移出料金制ニ依ツテ制限ヲ致スト云フ意味デアリマスガ、又他ニ移出料金ヲ取ラナクシテバナラヌト云フ理由ガアリマスガ、此點ヲ伺ヒタ

○縣政府委員 島外移出料ヲ取リマサル理由ハ、樺太材ハ島外ノ木材界ノ好況時ニ於キマシテハ、非常ニ多數ノ移出ガ計畫セラル、虞ガアリマシテ、隨テ内地材ヲ壓迫シ、樺太材トシテモ、樺太内部ニ於ケル利用ニモ關係ガアルノデ、島外移出ヲ制限スル趣旨ニ於テ定メタモノデアリマス

○岩本委員 成程此移出料ハ、今ノ御答辯ノヤウナ意味カラ言フナラバ、必要ガアルカノヤウニモ存ジマスガ、同ジ領土内デ、樺太ノモノヲ本州ニ持ッテ來ルノニ移出料ヲ取ルト云フコトハ、一種ノ關稅ヲ設ケルヤウナ形ニ見テモ宜イノデアリマスガ、此移出料ヲ取ルニ付テハ檢査其他ノ手數ヲ要スルコトト思ヒマス、此手數ヲ省ク爲メ、同ジ國內ノ生産品ノ移動デアリマスカラ、此移出料ナルモノヲ廢メテ、島内デ消

費スルモノハ幾ラ、移出スルモノハ幾ラト、現本ニ於テ定メタ方ガ手數ガ省ケルト思フガ、政府ニ於テハ如何ニ考ヘマスカ

○縣政府委員 將來成ベク樺太材ヲ島内デ使用セシメヤウ、殊ニ「バルブ」材或ハ島内ノ其他ノ用途ガ人口ノ増加ト共ニ増シテ來ルノデ、樺太島内ノ使用ニ充テルコトヲ本體ト致シマシテ、島外ニ移出スルコトヲ制限スル趣旨デ之ヲ定メタノデアリマス、御話ノ如ク、島内ニ賣ルモノ、單價ト、島外ニ移出スルモノ、單價ヲ別ニ定メルノモ一方

法デアリマスガ、願出ヲスル時分ニ、島内用、島外用ト云フコトデ願出ヲスルノデアリマス、又島内用トシテ願出タモノヲ島外ノ使用ニ許ス制度ヲ取ツテ居リマス、ソレデ現在ノ制度ガ便宜デアルト思ヒマス

○岩本委員 ソレモ一應ノ理由ガアリマスガ、盜伐ヲ防グ意味ニ於テ、即チ樺太島内ニ於テ「バルブ」ニ爲ス、或ハ内地ニ之ヲ移出シテ「バルブ」ニ爲ス、ソレガ何時ノ間ニカ變ジテ用材ニナツテ出テ來ル、若クハ或數量シカ拂下ゲナカッタモノガ、内地ニ移出スル場合ニハ相當ニ量ガ膨レト云フヤウナコトガアル、即チ樺太廳ノ眼ヲ胡麻化シテ、内地ニ安イ單價デ持ッテ來テ相當ナ値ニ賣ル、之ニ對スル一種ノ

罰金ノヤウナ意味ニ設ケラレタノデハナイカト思フノデアリマスガ、ソレデ今日盜伐等ニ對スル取締ガ十分ニ厲行サレラナラバ、殊更ニ島外移出料制度ト云フヤウナモノハ必要ハ無イト認メテ居ルノデアリマスガ、併ナガラ是レ以上ハ意見ノ相違ニナリマスカラ、此移出料金ノ質問ハ此程度デ打切りマシテ、將來樺太廳ニ於テハ内地ニ移出致シマスル數量ヲ五百萬石位ノ程度ニ止メル御考ハアリマセヌカ

○縣政府委員 盜伐ノ防止トカ、檢舉トカ、又密移出ノ取締ト云フコトニ付テハ、色々考慮致シマシテ、密移出ノ取締ニ付テハ、小樽ニ吏員ヲ駐在セシメマシテ、樺太ノ木材ヲ搬出致シマスル積取船ハ小樽ニ寄港致シマスルヲ例ト致シマスカラ、小樽ニ於テ調査ヲ致シ、又ソレノ積取場所ニ於テ調査ヲ致スト云フコトニ致シマシテ、密移出ノ取締ノ厲行ヲ致シテ居ルノデアリマス、ソレデ此移出料ヲ納メズシテ密移出ヲ致シマシタ場合ニ於テハ、移出料ノ外ニ尙ホ制裁トシテ賠償金ヲ追徵スル制度ヲ設ケテ居リマス、第二ノ將來ノ移出量ヲ五百萬石位ニ止メル意思ハナイカト云フコトニ付テハ、只今ノ所ニ於テハ先ニ申上ゲタヤウナ數字ノ範圍ヲ大體考ヘテ居ルノデアリマス、又當業者諸君ノ申出ノ希望ヲ參考ニ致

シマシテモ、多少其間ニ相違ガアリマスガ、此度ノ關稅ノ設定ノ問題ガ起キナイ以前ニ於キマシテ、屢受ケマシタ陳情ニ於テモ、内地ニ於テ樺太材ノ用途ト致シマシテハ、六七百萬石位ノ數量ヲ欲シイト云フコトヲ希望致シテ居リマスカラ、其希望ヲ充ス上ニ於キマシテモ、亦樺太方面ノ事情カラ考ヘテ見マシテモ其範圍マデハ差支ナイト考ヘテ居リマス

○岩本委員 樺太島ニ於ケル森林ノ材積デアリマスガ、全體ノ材積ノ御調査ハ出來上ツテ居ルモノト存ジマス、此上カラ考ヘマシテ假ニ内地ニ年々五百萬石位ヅ、移出スルト致シマスナラバ、將來此數量ハドレ位ノ年限ガ續クモノデアリマセウカ、是ハ御手許ニ書類ヲ御持チニナラナケレバ、後刻刷物ニデモシテ戴イテモ宜シイノデアリマスガ其點ヲ一ツ承リタイ、ソレカラ若シ出來得ルナラバ將來拂下ヲ致ス地區ハドウ云フ方面カラ順々ニ御ヤリニナルカ、斯ウ云フ事モ御分リナラバ後刻デ宜シウゴザリマスカラ、是モ御示シテ願ヒタイ、ソレカラ拂下ヲ受ケマスノニ相當ナ資格者ガ願出ヲナシタ場合ニハ、何時デモ豫定ノ拂下ノ山林ガアル以上ハ之ヲ御許シニナル御見込デアルカドウカ、又聞ク所ニ依リマス、既ニ拂下ノ許可ヲ與ヘタモノヲ取消シタ

ヤウナ事モアルト云フコトヲ聞イテ居リマスガ、是等モ最近——出來ルナラバ四年度、五年度位ノ所ヲ御示ヲ願ヒタイ、或ハ五年度一箇年ノデモ宜シウゴザイマスカラ、是モ御示ヲ願ヒタイト思フノデアリマス

○縣政府委員 樺太ノ山林ノ蓄積ニ付テハ領有ノ當時三箇年ヲ以テ調査ヲ致シ、其後又大正五年以來十箇年ノ計畫ヲ以テ調査ヲ致シタノデアリマスガ、其調査期間ガ非常ニ長イ爲ニ、調査中ニ或ハ火災ニ罹リ、或ハ賣拂ヲスルト云フヤウナコトデ、正確ナ數字ガ分リマセヌ爲ニ、今日迄施業案ガ確立シテ居ラナイヤウナ次第デアリマス、ソレデ種々今日迄ニ調査ヲ致シマシタ所デ多少推定デアリマスガ、四億七千萬石ノ「ト」松、蝦夷松ノ針葉樹ガアリ、ソレカラ落葉樹ニ於テ三千萬石、闊葉樹ガ七千七百萬石位アルト云フ推定ヲ致シテ居ル次第デアリマス、ソレカラ只今ノヤウナ伐採賣拂ノ方法ヲ致シテ何年位續クカト云フ御尋デアリマスガ、樺太ノ山林ノ伐採方法ニ付キマシテハ以前ハ皆伐ノ方法ヲ採ッタノデアリマスガ、最近ハ斫伐ト皆伐ト段々用ヒテ居リマス、此斫伐制度ト申シマスノハ胸高九寸以上ノ木ヲ——例ヘバ一町步デ單位ヲ取ツテ申シマス、四寸以上ノ大キサノ林木ノ中、本數ニ於キマ

シテ二十「パーセント」其材積ニ於キマシテ五十「パーセント」以內ノ斫伐ヲ行ツテ、サウシテ二十箇年デ元ノ林層ニ立歸リ、二十一年目カラ伐採ガ出來ルト云フ斫伐ノ制度ヲ採用致シテ居ルノデアリマス、ソレカラシマシテ今日ノ年伐量ヲ決定致シテ居リマス次第デ、隨テ或ハ火災トカ云フヤウナ災害ニ遭遇ヲ致シマシタリ、或ハ蟲害ニ遭フト云フヤウナ場合ハ影響ヲ被ル譯デアリマスガ、サウデナイ限り樺太ノ山林ガ永續ヲ致スト云フ建前ノ下ニ經營致シテ居ル次第デアリマス、ソレカラ拂下ノ部分ハ今後如何ナル部分ヲヤルカト云フ御尋デアリマスガ、今日王子、富士、樺太工業ト申シマスヤウナ製紙會社ト一億八千萬石ノ數量ヲ契約致シテ居リマス、其他個人ト年期契約ヲ致シテ居ルノデアリマスガ、尙ホ其他ニ人絹「バル」トシテ保有シテ居リマス千數百萬石ノ林積ガアリマス、其他官行ヲ行ツテ居リマス、官行區域ト申シマス場所ガアリマス、其以外ニ於キマシテハ今後處分ヲ致スベキ數量ハ順次減少致シテ參ルノデアリマス、隨テ今後拂下ノ數量ガ減ルコトニ相成ルト思フノデアリマス、ソレカラ次ニ拂下ノ資格デアリマス、此拂下ノ資格ハ色々アリマスガ、其有資格者ニ對シマシテ拂下ヲ行ツテ居ルノデアリマシテ、是等ノ拂下

ヲ致シタモノ、中、其條件ニ適ハナイモノガアリマシタ場合ニ於テハ、之ガ取消ヲ致スト云フコトニ致シテ居リマス、ソレデ只今御尋ノ四年度、五年度ノ數字ニ付テハ後ニ申上ゲマスガ、只今ノ所取消ヲ致シタモノハ大シテナイヤウナ次第デアリマス

○岩本委員 私人質問ハ此程度デ止メテ置キマス

○永田委員長 一寸今ノ岩本君ノ質問ニ關聯シテ伺ヒマスガ、昨日御尋シタルト云フ御話ガアリ、ソレカラ今日島外移出ハ六七百萬石、斯ウ云フ御話ガアツタ、岩本君ノ今ノ御話ノ中ニ移出料金ガ一石ニ付テ十九圓餘リ掛ル、斯ウ云フ御話デアリマシタガ、是等ハ皆伐ツテ枝ヲ取り、頭ヲ取ツテ丸太ニナツタモノヲ言フノデスカ、或ハ立ツタ儘ノ木ヲ言フノデアリマスガ、皆區別ガアラウト思ヒマスガ、其石數ノ計算ノ基礎ヲ承リタイ

○縣政府委員 昨日私ノ申上ゲタノハ千五百萬石ト申上ゲマシタ、ソレデ官行材ノ外ハ生木ノ數量ヲ申上ゲタノデアリマス、ソレデ丸太ニ換算ヲ致シマスト步留ノ計算ニ依ツテ多少ノ相違ガアリマセウガ、一般ノモノハ生立木ノ計算デアリ、官行材ハ丸太ノ計算ヲ致スノデアリマス

○永田委員長 サウスルト六七百萬石

島外ニ出スト云フノハ是ハ丸太デスカ

○縣政府委員 丸太デアリマス、詰リ

初ニ樺太廳トシテ豫定ヲ致シマシテ最

初ヨリ許可致シマス、島外移出ハ其後

木材界ノ事情ニ依リマシテ用途ノ變更

ヲ致シテ、島外ニ移出ヲ致シタイト云

フ希望ヲ申出ル者ガアリマス、之ヲ認

ル點マデ考慮シタ數デアリマス

○永田委員長 次ニ伺ヒマスガ、一昨

年來内地ノ木材ガ値ガ下ッテヤカマシ

カッタ當時カラ、樺太材ノ内地ニ入ルコ

トヲ制限シテ貰ヒタイ、斯ウ云フ陳情

ガ大分アツタ筈デアリマス、今岩本君カ

ラモ御尋ガアリ、之ニ對シテ御答辯ガ

アリマシタガ、ソレト同時ニ製紙會社

ガ製紙原料ダト云フテ持ッテ來タモノ

ヲ、丸太賣ッテシマフト云フ話ヲ實際

取引ヲシテ居ル商人カラ聞イテ居リマ

ス、王子製紙カラ十萬石ノ賣物ガアッ

トカ何トカ云フコトデ實際アルヤウデ

アリマスガ、之ニ對スル取締ノ方法ハ

ナイモノデアリマスカ、又ナサル御希

望ハナイノデアリマスカ、其點ヲ承リ

タイ

○縣政府委員 製紙會社ニ拂下ゲマシ

タモノガ、丸太トシテ内地ニ於テ賣却

サレルト云フヤウナ聲ヲ聞キマシテ、

甚ダ遺憾ニ考ヘマス、ソレデ其取締ノ

方法ト致シマシテ、會社ニ對シテ其拂

下ノ直接ト間接トヲ問ハズ、樺太材ヲ

「バルブ」製造以外ノ商品ニ用キマシタ

場合ニ於テハ、樺太廳ガ將來賣買契約

ヲ致シテ居リマス所ノ數量ヲ減額シテ

拂下ヲ致スト云フコトヲ申渡シテ居ル

ノデアリマス、尙ホ考慮致シテ居ルノ

ハ、樺太材ガ其用途ニ用キラレズシテ、

他ノ用途ニ用キラレルヤウナコトニナ

リマスノハ、寸尺ニ關係ガアルト考ヘ

マシテ、既ニ實行致シマシタノハ、薪

炭材ニ於テハ、薪炭材トシテ賣拂ッタ

モノガ從來丸太トシテ出タヤウナ事例

モアリマスノデ、是ガ取締ニ付キマシ

テハ、寸尺ヲ縮メマシテ、丸太トナラ

ナイヤウニ致シテ居ルノデアリマス、

唯「バルブ」材ニ對シテモ之ヲ實行シタ

イト思ヒマシテ、種々協議ヲ重ネテ居

ル次第デアリマスガ、唯之ハ非常ナ大

數量ヲ輸送致シマス爲ニ、其運搬ノ上

ニ於テ寸尺ガ運賃其他ノ上ニ影響ヲ致

シマスル點、竝ニ之ヲ利用シマスル上

ニ於テノ便宜ト云フヤウナ點ニモ考慮

ヲ致サナケレバナラスノデ、ソレ等ノ

點ヲ併セテ考慮致シマシテ、會社ニ對

シテ相當嚴重ナル警告ヲ既ニ致シテ居

ルノデアリマス、其結果ヲ見マシテ、

只今申上ゲルヤウナコトモ實行シタイ

ト考ヘテ居リマス、併シ最近ニ於テハ

木材界ノ不況デ、サウ云フヤウナコト

モ見マセスガ、只今申上ゲルヤウナコ

トヲ將來ニ於テ考慮ヲ致シテ居ル次第

デアリマス

○永田委員長 尙ホ伺ヒマスガ、只今

ノ御話デ製紙會社ガ「バルブ」材料トシ

テ持ッテ來タモノヲ丸太トシテ賣ッタ場

合ニ、將來拂下ノ契約ヲシテ居ルモノ

ヲ減額シテ取締ヲスルト云フ御話デア

リマスガ、ソレハ單ナル樺太廳長官ノ

行政命令デアルカ、何カ法律的基础ガ

アリマスカ

○縣政府委員 會社トノ契約ハ賣買ノ

契約ニ依テ出來テ居リマスカラ、其契

約ニ變更ヲ致サウト考ヘテ居ルノデア

リマス、ソレカラ會社ガ丸太トシテ搬

出ヲ致スト云フコトハ、樺太ニ於キマ

シテ會社ガ直接官ヨリ拂下ヲ受ケタ以

外ニ、民間ノ材ヲ購入シテ居ルノデア

リマス、ソレデ一面ニ會社ハ定款ノ中

ニ木材販賣ト云フ項目ガアルノデアリ

マシテ、直接ニハ賣拂ハナイノデアリ

マスケレドモ、他ノ會社ノ最モ密接ナ

ルモノカラ委託販賣ヲヤッテ居ルト云

フヤウナコトガアルヤウニ思フノデア

リマス、ソレハ主トシテ民間ヨリ購入

シタモノヲ從來ヤッテ居ッタノデナイカ

ト思フノデアリマスガ、サウ云フコト

ニ拘ラズ將來サウ云フ方面ニ對スル取

締ヲ十分ニ致シタイト考ヘテ居リマス

○永田委員長 ソレハ結構ナコトデア

リマス、樺太長官ニ何カ御質問ガアリ

マスカ——一寸御諮リ致シマスガ、太

田信治郎君ガ委員外デアリマスガ、質

問ヲシタイト云フコトデアリマス、皆

サンノ御承認ヲ得タイト思ヒマス

「異議ナシ」ト呼フ者アリ」

○太田信治郎君 此場合ニ實ハ私ハ農

林當局ニ御質疑ヲ致シタイト思ッタノデ

アリマスガ、樺太ノ長官ガ幸ニ御出席

デアリマスカラ、樺太廳ニ關スル分ヲ

關聯シテ御伺ヲ致シタイト思ヒマス

只今樺太廳長官ノ御話ニ依リマス、

原本賣拂代金ハ約六十五圓デアル、其

代價ガ今マデ木材ノ安イ爲ニ不引合デ

アッタト云フヤウニ御説明ニナッタヤウ

ニ私ハ思ヒマス、併ナガラ一面カラ申

シマスルト今回沿海州ノ關稅引上ニ依

テ引上ラル、モノハ百石ニ對シテ約七

十圓以上ニ相成ルト私ハ思フノデアリ

マス、左様致シマススト木材拂下代金ノ

方カラ申シマスレバ、殆ド倍額ニ近イ

保護ガ加ハル譯ニナリマス、所デ島内

ニ使用スル「バルブ」原料ノ分ハ暫ク別

ト致シマシテ、ソレガ島外ニ移出ラセラ

レルヤウナモノガ、自然有勝チデアリ

マス、現在モ取締ヲ勵行シテ居ラレル

コトモ相當アルノデアリマス、又島外

ニ移出シテ居ルモノニ十何錢ノ特別ノ

料金ヲ徴收シマシテモ、ソレガ約八十

五圓バカリニ當ルノデアリマス、百石

ニ對シテ八十五圓デ今度ノ保護關稅ノ

七十五圓ガ加ハルト云フト、是ガ倍ニハナリマセヌガ、非常ナ保護ガ其處ニ與ヘラレルコトニナルデアリマス、所ガ現在ノ有様ヲ申シマシテモ、此木材輸入關稅ノ發表ガアリマシテ以來、百石ニ對シ五十圓以上市價ガ暴騰シテ居ルノデアリマス、是ガ愈々實施ニナリマスレバ、直チニ七十圓以上市價ノ暴騰スルコトハ明カデアリマス、其結果トシテ樺太廳ノ拂下代金ガ增收ヲスルト云フコトデアラナラバ、國家ニ對シテソレダケ利益ガアル譯デアリマシテ、若シ今ノ六十五圓ヲ以テ豫算ヲ編成サレタノデアリマスカラ、其六十五圓ヲ以テ遂行スルト云フコトニナレバ、昭和六年度ニ於ケル所ノ利益ハ國家ノ利益ニナラナイデ、當業者ノ利益ノミニナルヤウニ思フノデアリマス、ソコデ殊ニ製紙會社ノヤウナ現在九太トシテ島外移出ノ準備ヲ致シテ、冬期ニ相當ノ材積ヲ持ツテ居ルモノハ、非常ナ利益ヲ其處ニ得ルヤウナ問題ガ起リハセヌカト思ヒマス、サウスルト云フト樺太ニ於ケル所ノ或ル二三ノ製紙會社ノ利益ヲ圖ル爲ニ、寧ロ七十五圓ノ課稅ヲシタカノヤウナ感ジガスルノデアリマス、假ニ本年度——昭和六年度ノ拂下ニ對シテハ、關稅改正ノ結果受ケル所ノ市價ニ順應シタル價格マデ御引上ニナル御考ガアルノデアリマス

カ、先刻來ノ御話ニ依レバドウモ御引上ニナラナイヤウニ思ヒマス、サウスルト云フト國家ノ利益ト云フヨリモ、其間ノ保護ガドウモ不公平ニナルヤウニ思フ、現在伐採ヲシテ本年度ノ計畫ヲシテ居ルノハ、ソレハ昨年ノ十一月カラノ計畫ニ掛ッテ居リマス、既ニ今ハ伐採ヲ終ッテ居ル時期デアラウト思ヒマス、是等ハ今ノ薪炭材料ニスルトカ、或ハ製紙原料ニスルトカ云フ目標ノ下ニ、長サヲ切縮メルコトハ出來ナクシテ其儘デアル、是等ノモノニ七十五圓ノ保護稅ヲ課セラレルコトハ非常ナ利益ニナリハシナイカ、其點ニ付テ樺太長官ハドウ云フ御意見デアリマスカ、相當御引上ニデモナサル御考デアリマスカ、是ハ突發的ナコトデアラカラ已ムヲ得ナイト云フコトニナリマスレバ、非常ニ會社ガ利益ヲ得ルヤウナコトニナリマス

ソレカラモウ一ツハ、樺太ノ木材ノ市價ヲ左右スルモノハ原料ノ立木代金デハナイ、木材デ一番重イ負擔ヲシテ居ルノハ船舶ノ運賃デアアル、或ル時代ニハ二百五十圓カラ二百七十圓位マデ行ッタ運賃ガ、甚シク安イ時ニハ百石ハ十五圓位ニ下ッテ居ル、昨今ハ百圓内外デ契約ガ出來ルト私ハ思ヒマスガ、サウスルト假ニ島外移出ヲスルモノトシテ、八十五圓ノモノニ百圓内外ノ運賃ヲ掛ケ、其他ニ伐採、運搬、積込料ヲ加算シマス、當業者ハ非常ニ損害ヲシマセウ、百石七十五圓ノ保護稅ガ直チニ影響スルトモ私ハ認メマセヌガ、假ニ直チニ影響スルモノトナリマス、其間ニ變ナモノガ出來ルデアラウ、ソレデアリマスカラ其場合ニハ相當考慮サレナケレバナラヌコト、思フ、若シサウナレバ本年ニ於ケル樺太ノ森林收入ハ相當増加シナケレバナラヌ、此關稅ヲ御直シニナレバ國家ノ收入ハ増加スルガ、若シ直サナケレバ此七十五圓ノ關稅ハ國家ノ利益ニハナラナイデ、當業者ノミヲ保護スルヤウニナルト私ハ考ヘル

序デアリマスカラモウ一ツ伺ヒマスカ、一體樺太ノ木材ハ濫伐ト云フヨリハ濫出ヲスル、當業者ノ需要供給關係以上ニ島外へ移出ヲスル爲ニ市價ガ安定ヲシナイノデ困ッテ居ル、内地ノ森林業者モ是ガ爲ニ迷惑シテ居ル、ソレデ樺太ノ森林ノ伐材數ヲ減シタナラバ内地ノ市價ガ上ルカト云ヘバ、是モ見當違ヒノ議論デアルト思フ、寧ロ亂高下ガアルノガ樺太ノ木材デアアル、是ハ船舶運賃ニ依ルモノデアアル、此亂高下デ下ッタ時ニ内地デハ壓迫ヲ蒙ルノデアリマス、故ニ樺太ノ木材ノ移出量ノ限定ニ依ッテ内地木材ノ市價ヲ引上ゲルコトハ出來ナイガ、樺太木材ガ内地ノ一定ノ需要ヲ充ス數量ハ七百五十萬石ヲ適當ナリト御認ニナッテ居ルカ、製紙會社ガ民間カラ買入レルモノ、其他ノモノヲ併セテサウナルト御認ニナルノデアアルカ、今日マデハ一千萬石以上島外ニ出テ居ルコトハ明カデアアル、甚シイ時ニハ千五百萬石位出タコトガアル、其爲ニ非常ニ市價ガ亂高下ヲスルノデアアルガ、何等カソレニ對シテ御考ガアレバ此點ヲ伺ヒタイ

○縣政府委員 樺太材ノ單價ノ件ニ付テノ御話デアリマシタガ、是ハ昨日來申上ゲマシタ通り、現在ノ樺太材ノ單價ハ安イトハ考ヘテ居ラヌノデアリマス、隨テ之ヲ取扱フ業者ハ今日ノ市價ニ於テハ隨分骨ノ折レルコトデアラウト考ヘテ居リマスガ、一面ニ於テハ森林政策ニ依リ、一面ニハ集約的ノ取扱又ハ勞銀其他物價ノ値下リニ依ッテ、此難局ヲ切抜ケヨウト云フコトヲ申上ゲタ次第デアリマス

沿海州材ガ此度ノ關稅ガ設定サレルコトニナリマスレバ、樺太材ニ良好ナル影響ヲ受ケマスコトハ勿論デアラウト考ヘマス、隨ヒマシテ今御話ノ中ニ將來樺太材ノ單價ヲ引上ゲナケレバ當業者ノミ利益ヲ受クルコトニナルノデハナイカト云フヤウナ御意見モアリマシタガ、誠ニ御尤ト認メルノデアリマス、一面ニ於ク今日ノ單價ハ先程申サウ

ナ事情デアリマスカラ、是ヲモ考慮ノ中ニ加ヘマシテ、將來ノ推移ニ依ッテ決定ヲ致シタイト云フコトヲ大體ニ於テ考ヘテ居ルノデアリマス、只今太田サンノ御話ノ中ニモアリマシタ通り、樺太材ノ市場價ヲ見ルト、原木ノ價格ハ約三割位ニシカ相當シナイノデアリマス、運賃其外ノモノニ依ッテ支配サレル點ガ非常ニ多イノデアリマシテ、御言葉ノヤウニ關稅改正案ガ提出サレルコトダケデモ相當好影響ガアルヤウニ思ッテ居リマス、併シ一面ニ於テハ樺太材ノ値上リト云フコトハ、運賃ガ價格ノ上ニ影響シテ居ル點モアルト思ヒマス、樺太材ノ運賃ハ昭和四年ト五年ト比較シテ見テモ非常ナル差デア

ル、例ヘバ昭和四年ニ於テ百石ニ付テノ運賃ガ六月頃デ百三十五圓、五月ガ百五十圓モ要シタノガ、昭和五年ニナリマスト七十五圓カラ六十圓ト云フヤウニ運賃ガ下落ヲ來シテ居リマス、隨テ運賃ノ高イ安イト云フコトモ市場價ニ非常ナル影響ガアルノデアリマシテ、只今御話ノコトハ十分將來ノ參考ニ致シタイト思ヒマスガ、大體ニ於キマシテ現在ノ單價ヲ將來引上ゲルコトニ付テハ、モウ少シ沿海州材ノ實情モ見、又樺太材ノ市場價モ見タ上デ相當ニ善處致シタイト考ヘテ居ル次第デアリマス

ソレカラ樺太材ノ移出ガ非常ニ濫出トナッテ居ルト云フヤウナ御話モ、一面ニ於テ甚ダ遺憾ナガラ事實デアルト申上ゲナケレバナラヌト思ヒマス、御話ノ如ク大正十四五年頃カラ九百萬石又ハ一千萬石以上モ出テ居リマシテ、此中ニハ或ハ面白クナイヤウナ事柄モ含マレテ居ルカト考ヘマシテ、現ニ之ガ取締ヲ極力厲行致シテ居ルヤウナ次第デアリマス

只今御尋ノ數量ノ點ニ付キマシテハ、曩ニ六七百萬石ト申シマシタノハ、樺太廳ト致シマシテ島外ニ移出スルコトヲ許ス最高限度ヲ此點位ニ定メタイト云フ意味合デアリマス

○太田信治郎君 左様致シマスト、現在ノ拂下代金ヲ以テシテハ、當業者ハ引合ハナイ、併シ關稅改正ノ結果、相當ニ好影響ヲ以テ引上ゲラレルコトハ自然ノ理デアアル、然ラバ其推移ヲ見テ、更ニ樺太廳ノ拂下價格モ亦自然影響ヲ受ケルコトデアアル、若シ然ラズンバ、個人ノミガ利益ヲ得ルヤウナ傾ニナシ、斯ウ云フ風ニ私共ハ考ヘテ居ルノデアリマスガ、又樺太長官ノ御答辯モ、稍、サウ云フ風ニ解釋ヲ致シテ宜シイノデアリマセウ、ソレカラモウ一ツ伺ヒタイノハ、今ノ船舶ノ運賃ノ關係ニ依ッテ、市價ガ左右セラレルコトガ重大ナ關係ヲ有ッテ居ルノデアリマス、此

樺太廳ノ木材ニ關シテハ、直ニ此關稅ノ引上ノミニ依ッテ、内地ノ林業ニ影響ヲ及ボス程ノ結果ガ來ルトハ御認メニナラナイノデアリマスガ、此結果トシテ百石七十五圓ト云フコトニナリマスレバ、現在ノ三百三十圓カラ三百五十圓シテ居タ樺太材ガ、此案ガ提出セラレルト云フコトヲ聞イタバケデモウ四百圓ニナッタ、是ガ更ニ通過ヲ致シマシタ曉ニ於キマシテハ、四百二三十圓ニナリマセウ、ナリマセウガ、ソレハ一時的ノコトデアリマシテ、需要供給ノ關係デドウナルカ分リマセヌガ、兎ニ角左様ナコトニナリマシテ、樺太ノ市價ガ騰ルコトニ依ッテ、内地ノ林業ノ保護ニモ相成ル、斯様ニ御認メニ相成リマスガ、如何デアリマスガ

○縣政府委員 沿海州材ガ最近出テ參リマシタ數字ヲ見マスト、昭和五年ニ於テ、私共ノ調デハ百七萬二千石位出タヤウニ考ヘテ居リマス、ソレデ昭和六年ニ於キマシテハ、沿海州並ニ北樺太ノ材マデモ加ヘテ、二百五十萬石位ハ搬出スルデアラウト云フヤウナコトヲ聽イテ居ルノデアリマス、ソレデ沿海州材ガ樺太材並ニ内地材ニ影響致シマス理由ニ付テ考ヘテ見マスト、「ソ

ダイエツト」政府ガ斯ル經濟組織ヲ立テテ居リマス爲ニ、採算ヲ無視シテ、例ヘバ樺太材ニ對シテ樺太材ガ引下ゲル

ナラバ、其下ゲタ數ニ對シテ常ニ五分乃至一割ヲ引下ゲルト云フヤウナコトヲ、宣傳ヲ致シテ居ルト云フコトヲ私共ハ聽クノデアリマス、サウ云フ點、即チ一種ノ「ダンピング」、數量ハ僅カデアリマスケレドモ、市價ヲ賣崩ス點ニ於テ、相當ナ影響ヲ爲シテ居ルモノト考ヘマシテ、私共ト致シマシテモ、沿海州材ノサウ云フヤウナコトニ對スル取締ガ、從來無稅デアッタモノヲ有稅ニスルコトガ必要デアルト云フヤウナ考ヘテ有ッテ居ルノデアリマス、隨ヒマシテ樺太材ニ對シテモ、好影響ヲ及ボスコト、ハ考ヘテ居リマスガ、只今御尋ノ、將來値上ヲスルト云フコトニ付テハ、只今太田サンガ色々根據理由ヲ御示シニナッタ御話ヲ、認メルカドウカ

ト云フヤウナ御尋デアリマスガ、私ト致シマシテハ、將來樺太材ノ中央ニ於ケル聲價ヲ見マシテ、其狀況ニ依ッテ適當ニ善處致シタイ、斯ウ云フコトヲ考ヘテ居ル次第デアリマス、ソレカラ第二ノ點デアリマスガ、第二ノ點ニ付キマシテハ、此度ノ關稅改正案ガ通過ヲ致シマスレバ、自然樺太材ニ對スル所ノ聲價ガ——需用ガ幾分高マルコトニナラウト思フノデアリマス、太田サンノ御話ノ如クニ、是ハ或ハ一時的ノ現象デアッテ、サウ云フヤウナコトガ永續ヲ致スカドウカト云フヤウナコトニ付

キマシテハ、是ハヤハリ樺太材ニ對スル所ノ需要供給ノ關係ニ餘程支配サレルコトデアラウト思フノデアリマス、ソレデ沿海州材ガ、少量デハアリマスケレドモ「ダンピング」ノ方法ヲ以テ、先程申シマスヤウニ樺太材ヨリ常ニ一割乃至五分ノ安價ヲ以テ供給スルト云フ點ガ市價ヲ賣崩ス原因トナツテ居ル、是ガ亦内地材ニモ影響ヲ及ボスコトデアラウト考ヘテ居リマス、隨ヒマシテ樺太材ガ此度ノ關稅ノ設定ニ依ツテ、内地材ニ影響スルト云フノハ、若シサウ云フコトガ永續シテ其取締ガ十分ニ行ハレズシテ、供給過多ニ陥リマスレバ内地材ヲ壓迫スルコトニナリ、是ガ十分ナ取締ガ出來マスナラバ内地材モ好影響ヲ受ケルコト、考ヘテ居リマス

○太田信治郎君 樺太長官ニ對シマスル質問ハ、私ハ此程度ニ止メマス、尙ホ委員外トシテノ質問ヲ御許シテ願ヘレバ、農林省、大藏省ノ關係ニ付テ、二三簡單ニ御伺致シタイト思ヒマス

○永田委員長 無論許シマス、山林局長ガ來テ居リマス——私カラ一寸一言シテ置キマス、各委員カラ樺太材ニ對スル質問ガ澤山出テ居リマスノハ、長官モ御承知ノ通り、今回ノ關稅引上ニ依ツテ、只今太田君ノ最後ニ言ハレタヤウニ内地ノ林業、或ハ木材價格ニ相當ナ好影響ヲ來スデアラウト云フコトヲ豫

想シテ居リマスガ、ソレヲ又樺太カラ無暗ト伐出シテ來ラレ、バ打壞ハシテシマウ、斯ウ云フ點ヲ心配シテノ結果デアラウト思フノデアリマス、此點ハ樺太長官トシテハ、十分ニ委員會ノ空氣ヲ御覽下サイマシテ、今後ノ樺太材ニ對スル御處置ハ、此關稅ノ引上ニ依ツテ、委員會ノ期待シテ居ルコトヲ裏切ラナイヤウニ御努力ヲ願ヒタイト思ヒマス、長官ニ對スル質問ハ此程度デ有リマスマイカラ、ドウゾ御自由ニ——太田君

○太田信治郎君 今回ノ關稅改正ノ上ニ、内地ノ林業ニ相當ノ影響ヲ與ヘルト云フコトガ含マレテ居ルト云フコトハ、政府ノ御説明デ諒解ヲ致シマシタケレドモ、一體内地ノ林業家ニ對スル施設ニ對シテハ、甚ダ私共ハ遺憾ナ點ガアルト思フ、何故カト申シマス、例ヘバ關稅改正ノ問題ニ付テモ、先日板谷君カラ關稅樹ノ問題ガ出マシタガ、之ニ對シテマダ農林省トシテ確立シタル御意見ガナイヤウニ思ヒマス、一體品物ノ價額ヲ、關稅ノ障礙ヲ以テ引上ゲテ、物價ヲ高クシテ、ソレニ依ツテ損失ヲ償ハシメルヤウニスルト云フコトハ、私ハ現在ノ内閣ノ政策ニ反スルモノデアルト思ヒマス、寧ろ國際貸借ノ關係カラ行キマシテ、内地ノ物價ヲ引下ゲテ、貸借ガ改善サレ、内地ノ物價

ヲ引下ゲマシテ、而モ算盤ガ採レルト云フ程度ニ取返ヘサレルコトガ必要デアルト思ヒマス、殊ニ林業ガ數年間殆ド沈滞ト申シマスヨリハ、殆ド枯渴シテ居ルヤウナ狀態デアリマス、是ガ爲ニ地方ノ景氣ハ阻止セラレテ、農村ノ困難ヲシテ益々困難ナラシメルト云フ立場ニ居ル、之ヲ救済スル意味カラ言フテモ、幸ヒ木材關稅ノ引上ニ關シテハ、十分ニ御考慮ニナラナケレバナラヌコトガラウト思ヒマス、第一ニ伺ヒタイノハ、是ハ大藏省關係デアリマセウガ、斯ウ云フ關稅ノ率ヲ御決メニナル時ニハ、農林省ガ主ナル關係ニナツテ居リマス、大藏省ヨリ寧ろ農林省ガ主ナル關係ニナツテ居リマス、例ヘバ先年私ガ申シマシタガ、米松ニ於ケル丸太ノ割材、即チ「己ノ五」ニ屬シテ居ルモノハ、是ハ無稅デアル、之ヲドウ云フ譯デ無稅ニシタノカト云フ質問ヲ申上ゲマシタガ、遂ニ要領ヲ得ナカッタ、是ハ長尺物デアツテ、多クハ杭木若シクハ電柱ニナルヤウナモノデアリマス、サウ云フモノガ將來無稅ニナルト、又内地ノ電柱ノ木材及ビ杭木ト丸太ト云フモノハ、大變影響ヲ及ボスヤウニナリハシナイカ、今ハ格別影響ガナクテモ、斯ウ云フモノニ相當ノ課稅ヲ此際ナスツテ置クコトガ必要デナイカト思ヒマス、農林當局ハ、是等ニ付テ御意見ガアリマ

スカ、ドウモ稅番ノ上カラ申シマシテモ、大變公平ナル課稅デアル、權衡ヲ得セシメルト云フコトガ説明書ニアリマスガ、私ハ不權衡ノモノガ澤山アルト思ヒマス、ソレハ又大藏省ニ御伺ヲ致シマスガ、大體農林省ノ關係カラ申シマスルト、サウ云フ點ニ御氣付キニナラナケレバナラヌト思ヒマス、濶葉樹デモ、先日來御希望ガアリマシタガ、是ニ對シテハ何等ノ御意見ガナイ、是モ農林省トシテハ御不親切ナヤリ方デナイカト思ヒマス、モウ一ツハ關稅ニ依ツテ内地ノ時價ヲ引上ゲル——輸入品ノ時價ヲ引上ゲテ、内地ノ木材業者ヲ保護スルト云フコトハ一面ノ理由ガアリマセウガ、併シ内地ニ於ケル生産費ヲ引下ゲテ、林業ノ發達ヲ期スルト云フコトモ併セテ御考ニナラナケレバナラヌ、殊ニ第一ニ鐵道ノ運賃ヲ引下ゲルト云フコトガ必要デアル、其鐵道ノ運賃ハドウカト云フト、私ハ外ノモノモ調ベテアリマスガ、今日ハ木材ニ付テダケ申上ゲマスガ、木材運賃ガ大正七年ニ一度改正サレ、ソレカラ大正十年ニ改正セラレ、更ニ昭和五年ニ級別ノ改正ニナツタケレドモ、昭和三年若クハ昭和四年ノ運賃ヲ比較致シマス、木材ノ中ノ所謂素材、劣等品ニ屬シテ居ル級別ニ言ヘバ昔ノ一級品デアリマス、此木材ノ中ノ所謂桧掛丸材ニ對シ

テハ實ニ昭和七年ニ於テ二割引下ヲ致シテ居リマス、昭和十年ニ二割八分引下ヲシテ居ル、ソレカラ昭和五年ニ級別デ引下グラレテ居リマスケレドモ、ドウ勘定シテ見テモ四割八分ノ引上ゲガ行ハレテ居ル、サウスルト木材ノ相場ハドウカト云フト杉ノ角材ノ如キモノ、若クハ普通一般ニ需用ノ多イ製品、角材ニシテモ、サウ云フモノガ昭和三年ノ相場ニ近クナツテ來タ、サウスルト杉材ノ如キハ、先ヅ四圓内外ト云フヤウナ所マデ落込シテ來タ、ソレニ拘ラズ木材ノ運賃ガ四割八分モ引上グラレテ居ル、是ガ爲ニ地方ノ山林業家ガ木材ヲ伐テ出スコトガ出來ナイ、伐ラナイ、是ハ鐵道運賃ニ於テ不公平ナコトガアル、農林當局ハ同ジ閣内、一ツ政府ニ御出デニナツテ、一方ニハ産業ノ内地林業ノ保護ヲシナガラ、鐵道省ハ斯ノ如キ高率ノ運賃ヲ取ツテ居ル、其結果鐵道ノ收入ガ殖エタカト云フト、逆比例ニ鐵道ノ木材ニ對スル運賃ハ減ツテ居ル、昭和四年ノ噸數カラ見ルト、約四割内外ニ減ツテ居ル、デアリマスカラシテ、是ハ農林當局ガ斯ウ云フ點ニ付テ鐵道ト御交渉ニナツテ、十分ニ一ツ引下ヲ爲サルト云フコトガ私ハ必要デアラウト思フ、殊ニマダ面白イ話ガ一ツアル、私ハ何時デモ申スノデアリマスカ、亞米利加カラ横濱ニ持ツテ來ル運賃ニ

比シテ、ツイ其處ノ白河カラ東京ニ持ツテ來ル運賃ノ方ガ高イ、コンナコトニナツテ居リマス、殊ニ越後ノ村上カラ東京ニ持ツテ來ル運賃ト、亞米利加カラ東京ニ持ツテ來ル運賃ト、汽車賃ヲ加算シテ、ソレデマダ亞米利加カラ東京ニ持ツテ來ルヨリ高イ、是ハ船ト汽車ノ關係ガアリマスケレドモ、其相違ノ原因ハ何カト云フト、汽車賃ニ關スル割増關係ヲ持ツテ居ル、長イモノハ十割増、更ニ三噸以上ノモノハ又十割増、非常ナ高率デ、禁止税ニ近イモノヲ取ツテ居ル、是ガ爲ニ折角伸ビントスルトコロノモノヲ、持ツテ來ルコトガ出來ナイ、例ヘバ電柱ヲ越後カラ持ツテ來ルト云フコトニナルト、亞米利加カラ持ツテ來ルトコロノ米松ノ丸太材ト連モ太刀打ハ出來ナイ、杭木モ越後ノ村上カラ積ンデ東京ニ持ツテ參リマスコト、ソレカラ杭木ヲ亞米利加カラ持ツテ來ルトノ半々、ソレデハ到底内地ノ林業ガ發達シナイ、而モ關稅ノ方面カラ云フト、今ノ沿海州材ハ、關稅ハ課シテ居ルガ、丸太材ノ方ハ無稅デアアル、是ハ大藏當局ニ聽イテモ分ラナイ、幾ラ答辯シテモ要領ヲ得ナイ、何故カト云フト、何處ニドウ云フ木ガ立ツテ、幾ラスルノカ、一體東京マデ幾ラ掛ツテ來ルノカ分ラナイ、ソレヲ言葉巧ミニ、辯舌鮮ヤカニ答辯ナサル一ツノ技術ヲ持ツテ居ルガ、實

際ノ問題ニ觸レナイ、私ハ其技術ヲ聽クノデハナイ、實際問題トシテ、斯ルコトハ林業家ヲ非常ニ困ラセル、ソレカラモウ一ツハ是モ五十六議會ノ關稅改正ノ時ニ私が議論シタノデスガ、「レツドシダー」「ヘムロック」斯ウ云フ「ネヅコ」屬「ツガ」屬ニ屬スル挽割材ノ關稅ガ、丸太ノ關稅カラ見ルト非常ニ低イ、モット此挽割材ノ關稅ヲ高クスル必要ガアル、斯ウ云フ事ヲ申シタノデスガ、是モ今日行ハレテ居ラス、其結果ドウカト云フト、今日丸太ノ輸入ハ減少シタケレドモ、挽材ノ輸入ハ減少シナイ、サウスルト今内地ノ林業家ガ、丁度頃合トシテ各方面ニ植エテ居ル物ハ、柱ナドニスルヤウナ四時半カラ四時角ト云フヤウナモノニ適當スルノデアアル、斯ウ云フ挽材ガ、寧ろ今度ハ入ツテ來テ、丸材ガ入ツテ來ナイ、尤モ此外國材ノ入ラナクナツタノハ、關稅改正ノ結果バカリデハナイ、内地ノ不況ガ相當與テ力ガアリマスケレドモ、サウ云フ事モアルノデアリマス、ソレカラ今度ハ税金關係カラ見マスト、是ハ大藏省ノ方ニ御伺致スノデスガ、是モ農林省カラ大藏省ニ御交渉ニナラナケレバナラヌ、今内地ノ林業家ガ所得稅關係ニ於テ非常ニ惱マサレテ居ル、其所得稅ハドウカト云ヘバ、伐採ヲシタ時ニ所得稅ヲ課セラレル、要スルニ林業家ガ山

ノ樹木ヲ賣ツタ時ニ課セラレル、其賣ツタ時ノ價格ト云フモノニ課スルノデアリマスケレドモ、永イ間丹精ヲシテ植林ノ成長スル迄ノ期間ト云フモノハ、少クトモ三十年乃至四十年ノ期間ヲ經ナケレバナラヌ、其間ノ蓄積シタル所ノ勞力ト云フモノヲ無視シテ、賣上ノ價格ニノミ依ツテ課稅ヲセラレルト云フコトハ、是ハ林業家ノ非常ナ困難ナ立場ニ在ル、是等ノ改正モ、屢々議會ニ出テ居ルヤウデスケレドモ、遂ニ行ハレテ居ラス、サウスルト是モ森林業者ヲ保護スルト云フ上カラ見レバ、私共非常ナ一ツノ問題デアアル、更ニ闊葉樹林ニ關シテハ、稅番ニ舉ゲテ保護關稅ヲ課スルノモ必要デセウガ、ソレヨリ以上最モ必要ナモノハ、闊葉樹ノ自然林ニ金融ノ途ガナイト云フ事デアアル、是ハ農林省ニ金融ヲ求メル必要ハアリマセケレドモ、是ハ森林所有家ガ非常ニ困ル問題デアアル、是等ニ對シテドウ云フ譯デ金融ノ途ガナイカト云フト、勸業銀行モ農工銀行モ闊葉樹林ニハ貸ス途ガナイト云フ、是ハ地方ノ林業家ヲ助ケルノミナラズ、農林省トシテハ相當諒解ヲ以テヤツテ貰ヒタイ、是ハ決シテ分ラナイ譯ハナイ、銀行家ニ言ハセルト分ラナイト言フ、自然林ハ調査ガ出來ナイカラ、植林ノミニ金ヲ貸スト言フ、併シサウ云フコト

ハ私ハ大變間違ダと思フ、若シ自然林ノ調査ガ分ラナケレバ、農林省ハ山ヲ拂下グルコトハ出來ナイ、詰リ基準調査ニ依ルナリ、毎木調査ニ依ルナリ、闊葉樹林ト雖モ、相當石數ヲ御調査ニ現ニナツテ居ル、サウシテ賣買ヲ行ハレテ居ル、其理由カラ言ヘバ、農林省ガ主トシテ御心配下サツテ、闊葉樹ニ對シテ金融ノ便ヲ開ク方法ヲ御講ジニナルト云フ事ガ、地方ノ産業ヲ振興スル上ニ於テ私ハ必要デハナイカと思フ

丸太材ノ長材ヲ無稅ニシテ居ラレル大藏省ガ分ラナイト云フヨリ、之ヲ默ツテ居ラレル農林省ガ私ハ分ラナイ、農林省ノ方カラ突込シテ説明ヲナサラナケレバナラス、是ハ農林省ト全ク政策ガ矛盾スルヤウニ考ヘル、斯ウ云フ點ニ付テ一ツ御伺ヒシタイ

○平熊政府委員 御質問ノ順序ニ從ツテ御答ヲシタイト思ヒマスガ、今回ノ關稅ノ改正ニ付キマシテハ、其理由ニ於キマシテ、大藏大臣竝ニ農林大臣カラ昨日述ベラレマシタ通り、「己ノ四」ニ於ケル今日ノ關稅ノ狀態ハ、今日ニ於キマシテハ、其理由ナキニ拘ラズ、無稅若クハ輕稅ニナツテ居ルガ爲ニ、壓迫ヲ領土内ノ當業者ハ受ケテ居ル、其壓迫ヲ除イテ、稅ノ均衡ヲ得セシメタリ、斯ウ云フ趣旨ニ出テ居ルノデアリマスカラ左様御承知ヲ願ヒマス、第二ノ「己ノ五」ノ丸太ガ無稅ニナツテ居ルノハ、甚ダカシイ、斯ウ云フ御質問デアリマスガ、是ハ此前ノ改正ノ當時ニ於キマシテモ、當時ノ當局カラ相當説明シタコトデアラウト思ヒマスガ、今日カラ私ガ見マシテモ、「己ノ五」ノ丸太ナルモノハ、所謂十米ヲ超エテ、末口ガ三十糎ヲ超エザルモノ、是ハ内地ニ於テハ生産ガ出來ナイ、斯ウ云フ長丸太ハ亞米利加カラヤッテ來テ、其儘其用途ニ供スルノデアリマスカラ、他

ノ如キモノヲ故ラ無稅品ニシテ置イテ、一方デハ鐵道運賃ノ引下ヲ行ハナイデ、内地ノ林產物ノ搬出ヲ阻止シテ居ル、是ハ山林局ガ營林署デ松材ナリ何ナリ賣ルニシテモ、長イ物ハ鐵道運賃ノ爲ニ算盤ガ取レナイ、短イ木ノ算盤デ賣ラナケレバナラス、是ハ國家ノ爲ニ大變損害ダと思フ、ソレノミナラズ民間ニ於ケル林業家モ非常ナ損害デアアル、デアアルカはモ少クトモ外國カラノ輸入品ヲ防止シ、内地ノ林業家ヲ保護シ、而モ市價ヲ引上ゲナイデ賣レル、市價ヲ引上ゲテ需要家ヲ迷惑サセナイ、サウシテ荷物が澤山出テ、鐵道運賃モ餘計收入ガアルヤウニナル、實ニ一石二鳥ト云フカ、一舉兩得ト云フカ、非常ナ得ガアル譯デアアル、之ヲ理解ナサラナイト云フ事ハ、要スルニ

ニ使ヒヤウガナイ、サウシテ内地ニ於テ斯ウ云フ長物ハ生産ガ出來ナイ、ソレ故ニ内地ニ於テ、競争品ガナイ、隨テ之ヲ無稅ニシタモノデアルト私ハ信ジテ居ルノデアリマス、ソレカラ闊葉樹ノ問題デアリマス、是ハ御説ノ如ク必要ナコトデアアル、隨ツテ私共ノ方デハ、隨分考究シタノデアリマス、併ナガラ今回ノ關稅ノ改正ニ、此闊葉樹ノ問題ヲ持出サナカッタ理由ハ、輸入ノ數量ニ於テモ、成程三年カラ四年ニハ殖エテ居リマスケレドモ、四年カラ五年ニハ減ツテ居ルノデアリマス、一割近クモ減ツテ居ル、其上ニ南洋材ニ關係シテ居ル内地材ノ價格ノ下落ヲ見マス、其率ガ概シテ下ツテ居ラス、南洋關係材ノ下リ方ト、同ジク闊葉樹ノ中デ南洋材ニ關係ノ比較的ニ薄イモノト、此二ツノ値下リヲ比較シテ見マス、ドチラモ大抵一割内外デアリマス、若シ南洋材ノ壓迫ヲ受ケテ居ルナラバ、南洋關係ノ闊葉樹ガモット下ラナケレバナラス、サウ云フ現象ヲ現ハシテ居ナイノデアリマス

云フヤウニ見タモノデアリマスカラ、今回ハ先ヅ改正ノ中ニ入レナイ、併ナガラ今後ノ推移如何ニ依リマシテハ、ヤハリ是ハ相當考究スベキモノデアアル、暫ク其趨勢ヲ見タイト云フ考ヘヲ持ツタノデアリマス

ソレカラ鐵道運賃ノ御話デアリマスガ、是ハ私悉ク同感デアリマス、洵ニ御尤デアルト私共思フノデアリマス、又實際ノ問題モ、太田サンノ仰シヤル通りノ現象ヲ現ハシテ居ルト思ヒマス、吾々ト致シマシテハ、洵ニ遺憾ニ思ヒマス、實ハ決シテ忘ツテ居ルノデナク、鐵道當局トモ隨分交渉ヲ重ネ、尙ホ鐵道當局ニ於テモ、今日ニ於テモ相當考慮シテ吳レテ居ルト私ハ信ジテ居ラス、當局トシテハ中々等閑ニ附シテ居ナイ、ソレカラ杉ト檜ノ割材丸太等ノ稅ノ率ガ權衡ヲ得テ居ナイ、是ハ成程輸入原價ニ對照シテ見マスルト云フト、稅率ガ同ジデアリマスカラ、御説ノ通り權衡ヲ得テ居ナイト私ハ思ヒマス、思ヒマスケレドモ、現在ノ輸入狀況ヲ見マスルト云フト、輸入量ノ減リ方ガ殆ド同ジ位ニ減ツテ居ル、若シ實際權衡ヲ得ナイデ、輸入原價ノ高イニ拘ラズ、輸入原價ノ低イモノト同ジ稅率ヲ課ケテ居ルガ爲ニ、輸入原價ノ高イモノガ非常ニ保護ヲ受ケテ居ル、其理由ヲ以テスレバ、其モノハモット餘計ニ

ニ使ヒヤウガナイ、サウシテ内地ニ於テ斯ウ云フ長物ハ生産ガ出來ナイ、ソレ故ニ内地ニ於テ、競争品ガナイ、隨テ之ヲ無稅ニシタモノデアルト私ハ信ジテ居ルノデアリマス、ソレカラ闊葉樹ノ問題デアリマス、是ハ御説ノ如ク必要ナコトデアアル、隨ツテ私共ノ方デハ、隨分考究シタノデアリマス、併ナガラ今回ノ關稅ノ改正ニ、此闊葉樹ノ問題ヲ持出サナカッタ理由ハ、輸入ノ數量ニ於テモ、成程三年カラ四年ニハ殖エテ居リマスケレドモ、四年カラ五年ニハ減ツテ居ルノデアリマス、一割近クモ減ツテ居ル、其上ニ南洋材ニ關係シテ居ル内地材ノ價格ノ下落ヲ見マス、其率ガ概シテ下ツテ居ラス、南洋關係材ノ下リ方ト、同ジク闊葉樹ノ中デ南洋材ニ關係ノ比較的ニ薄イモノト、此二ツノ値下リヲ比較シテ見マス、ドチラモ大抵一割内外デアリマス、若シ南洋材ノ壓迫ヲ受ケテ居ルナラバ、南洋關係ノ闊葉樹ガモット下ラナケレバナラス、サウ云フ現象ヲ現ハシテ居ナイノデアリマス

ソレカラモウ一ツ見マス、南洋材其モノガ下ツテ居リマス、南洋材其モノガ我國ニ於テ下ツテ居ル程、南洋關係ノ内地ノ闊葉樹ノ下リ方ハソレ程下ツテ居ナイ、即チ他ノ語デ申スト、南洋材其モノノ下落ニ引摺ラレテ來テ居ラナイト

云フヤウニ見タモノデアリマスカラ、今回ハ先ヅ改正ノ中ニ入レナイ、併ナガラ今後ノ推移如何ニ依リマシテハ、ヤハリ是ハ相當考究スベキモノデアアル、暫ク其趨勢ヲ見タイト云フ考ヘヲ持ツタノデアリマス

ソレカラ鐵道運賃ノ御話デアリマスガ、是ハ私悉ク同感デアリマス、洵ニ御尤デアルト私共思フノデアリマス、又實際ノ問題モ、太田サンノ仰シヤル通りノ現象ヲ現ハシテ居ルト思ヒマス、吾々ト致シマシテハ、洵ニ遺憾ニ思ヒマス、實ハ決シテ忘ツテ居ルノデナク、鐵道當局トモ隨分交渉ヲ重ネ、尙ホ鐵道當局ニ於テモ、今日ニ於テモ相當考慮シテ吳レテ居ルト私ハ信ジテ居ラス、當局トシテハ中々等閑ニ附シテ居ナイ、ソレカラ杉ト檜ノ割材丸太等ノ稅ノ率ガ權衡ヲ得テ居ナイ、是ハ成程輸入原價ニ對照シテ見マスルト云フト、稅率ガ同ジデアリマスカラ、御説ノ通り權衡ヲ得テ居ナイト私ハ思ヒマス、思ヒマスケレドモ、現在ノ輸入狀況ヲ見マスルト云フト、輸入量ノ減リ方ガ殆ド同ジ位ニ減ツテ居ル、若シ實際權衡ヲ得ナイデ、輸入原價ノ高イニ拘ラズ、輸入原價ノ低イモノト同ジ稅率ヲ課ケテ居ルガ爲ニ、輸入原價ノ高イモノガ非常ニ保護ヲ受ケテ居ル、其理由ヲ以テスレバ、其モノハモット餘計ニ

入ラナケレバナラヌ、或ハ輸入減ノ程
度ガ少クナラナケレバナラヌ、著シク
少クナラナケレバナラヌ管デアル、然
ルニ丸太ト割材ノ關係ニ於キマシテ、
輸入減ノ率ガ殆ド同ジデアル、殊ニ割
材以外ノ、モット小サイ製品ニ付キマシ
テハ、其減リ方ガ非常ニ多イノデアリ
マス、逆マニ非常ニ輸入減ノ率ガ多イ
ノデアリマスカラ、理論上形式上カラ
申シマスルト、確ニ稅率ヲ同ジウシテ
居ルト云フコトハ、權衡ヲ得テ居リマ
セヌケレドモ、實際ノ今日ノ輸入狀況
ノ實情カラ申シマスルト云フト、殆ド
權衡ヲ得テ居ルヤウニ私ハ考ヘル、ソ
レカラ濶葉樹ノ自然林ニ對スル金融ノ
途ガナイカラ、洵ニ林業家ハ困ッテ居
ル、何トカ其途ヲ打開シテヤラナケレ
バナラヌデハナイカト云フ御説モ、
洵ニ私ハ御同感デアリマス、洵ニ御尤
ノ御説ト思ヒマス、ソレニ付キマシテ、
實ハ此議會ニ立木法ナルモノノ改正ヲ
試ミマシテ、現在立木法ナルモノガ、
人工植栽林ニ限ッテ居ルモノヲ天然林
ニマデ擴張シテ、土地ト離レテ獨立シ
タ資格ヲ立木ニ持タセルヤウニシテ、
ソレニ依ッテ立木其モノガ金融ノ目的
物ニナリ、銀行業モソレニ依ッテ獨立シ
タ登記ヲサレタモノトシテ抵當ニ取ル
コトガ出來ルノデアリマスカラシテ、
今日ヨリハ餘程安心シテ金融ヲ與ヘル

コトガ出來ル、サウ云フ意味ニ依ッテ改
正法案ヲ出シマシテ、幸ニシテ衆議院
ノ御協賛ヲ經マシテ、只今貴族院ノ本
會議ニ廻ッテ居リマス、是ガ出來上リマ
シタナラバ、當業者ノ爲ニモ、又太田
サンノ御説ノ爲ニモ、大變ニ幸福ヲ齎
ラスコトト私ハ喜ンデ居ル次第デアリ
マス

○勝政府委員 所得稅ノ關係デ、山林
業者ニ對シテ所得稅法上救済ガ足リナ
イト云フヤウナ御尋ガアリマシタガ、
山林業者ト雖モ、所得ガアレバ其所得
ニ對シテ稅ヲ課ケルト云フコトハ餘儀
ナイコトデアリマス、餘儀ナイコトデ
アリマスルガ、唯山林業者ニハ特殊ナ
事情ノアルノハ、山林ノ所得ト云フモ
ノハ、毎年繰返サレテ均一ニ入ッテ來
ナイト云フコトガアリマス、又三年ニ
一遍スポット山ヲ伐レバ、五萬トカ八萬
トカノ大金ガ入ル、十年ニ一遍伐レバ
其時ニハウント金ガ入ルガ、不段ニハ
金ガ入ラナイノデアアル、然ルニ日本ノ
所得稅ハ、累進率デ取ッテ居リマスカ
ラ、一遍ニ大キナ金ガ入ルト云フト、
非常ニ高イ稅ニナリマス、譬ヘテ言ヘ
バ此處ニ二千圓ノ所得ガアルトスレ
バ、其稅金ト云フモノハ三十圓六十錢
デアアルガ、其五倍ノ一萬圓ノ所得ニ
ナルト、五百四十圓六十錢取ラレル、
二千圓ノ五倍ダカラ百圓ソコノデア

ルベキモノガ、累進率ノ爲ニ五百四十
圓六十錢取ラレル、山林業者ガ五年目
毎ニ五百四十圓六十錢取ラレルト云フ
ヤウナコトニナルコトハ不公平デア
カラ、此賦課ヲ考慮シテ吳レト云フコ
トハ永年ノ問題デアアル、ソレデ大藏省
トシテハ長ラク研究ノ結果、其主張ハ
尤ダト云フノデ、大正十五年ニ法律ヲ
改正シテ、山林ノ所得ガアッタ場合ニ
ハ、其所得金額ヲ五分シテ、其五分ノ
一ニシタ金額ニ所得稅率ヲ適用シテ出
タ稅金ヲ五倍シテ、其人ノ山林所得ノ
稅ヲ決メルト云フコトニナッテ居ル、今
ノ例デ申セバ、一萬圓ノ山林所得ガア
レバ、其稅金ハ五百四十圓六十錢ニナ
ルケレドモ、ソレヲ五分シテ二千圓ノ
所得ニシテ、二千圓ニ對スル稅即チ三
十圓ヲ五倍シテ、百五十圓ノ稅ヲ取ル、
當リ前デアレバ五百四十圓取ル所ヲ、
山林ノ方ハ百五十圓ニオ負ケスルト云
フコトハ、非常ニ勉強シテ居ル次第デ
アリマス、左様御承知ヲ願ヒマス

○永田委員長 ソレデハ一寸休憩致シ
マス、午後六時カラ再開致シマス
午後四時二十分休憩

○永田委員長 午後六時七分開議
休憩前ニ引續キ開會致
シマス——今井君

○永田委員長 御答致シマス、木材
關稅ノ引上ニ依リ關稅收入ノ増加致シ
マスモノハ八十六萬七千六百四十六
圓、人造絹絲關稅引下ニ依ル減收ハ三
十一萬九千七百五圓デゴザイマスカ
ラ、差引增收ハ五十四萬七千九百四十
一圓デゴザイマス

○青木政府委員 從來ノ例ヲ見マス、木
材關稅引上等ノ場合ニハ、ソレ等ノ費
用ハ多ク森林ノ改良トカ云フ方面ニ使
用サレテ居ッタノデアリマスガ、今回
ノハ是ガ外ノ方面ニ大部分使ハレテシ
マフト云フヤウニ聞イテ居リマスガ、
ドウナッテ居リマスカ

○青木政府委員 申上ゲルマデモゴザ
イマセヌガ、關稅收入ハ一括シテ政府
ノ歲入ニナルノデゴザイマスカラ、從
來モ木材カラ出ル關稅ハ何ニ使フ、人
造絹絲ノ分ハ何ニ使フト云フヤウナコ
トガゴザイマセヌ

○今井委員 無論歲入トシテ一括シテ
ヤルコトハ分ッテ居リマスガ、サウ云
フ場合ニハ大抵農林省ト大藏省ノ間ニ
約束ガアルヤウニ思フ

○青木政府委員 御答致シマスガ、私
ノ記憶スル限りニ於キマシテハ、サウ
云フ約束ハ致シテ居ラヌト思ヒマス、

○今井委員 當局ハ此改正ニ依ッテ木

材ノ關稅收入ト、人造絹絲ノ輸入稅引
下ノ結果ドノ位ノ增收、減收ニナルカ
其數字ヲ伺ヒタイ

○青木政府委員 御答致シマス、木材
關稅ノ引上ニ依リ關稅收入ノ増加致シ
マスモノハ八十六萬七千六百四十六
圓、人造絹絲關稅引下ニ依ル減收ハ三
十一萬九千七百五圓デゴザイマスカ
ラ、差引增收ハ五十四萬七千九百四十
一圓デゴザイマス

○今井委員 從來ノ例ヲ見マス、木
材關稅引上等ノ場合ニハ、ソレ等ノ費
用ハ多ク森林ノ改良トカ云フ方面ニ使
用サレテ居ッタノデアリマスガ、今回
ノハ是ガ外ノ方面ニ大部分使ハレテシ
マフト云フヤウニ聞イテ居リマスガ、
ドウナッテ居リマスカ

若シ御必要デアリマスレバ能ク調査ヲ致シマス

○今井委員

別ニ調査シテ報告ヲ受ケ

ナクテモ宜シウゴザイマスガ、私ハ此場合農林大臣ニ御同致シタイ、今日日本ノ國民ハ非常ナ經濟的不況ニ直面致シマシテ、殊ニ農村ハ全ク不況ノドン底ニ陥ッテ居ルノデアリマス、此困難ヲシテ居ル農村ニ對シテ、途ガアッタナラバ幾ラデモ政府ハ之ヲ救済シテヤリタイ、或ハ其苦ミカラ免レシメテヤリタイト云フ御心持ハ無論アラレルダラウト思フ、差當リ此木材ノヤウナモノモ、山村ニ於キマシテハ値下リガシテ今日非常ニ困ッテ居ル、之ヲ救フニハ關稅政策ニ依ッテ救ッテヤルト云フコトモ一ツノ方法デアリマセウガ、今度之ヲ提案サレマシタ理由ハ、サウ云フ意味モ無論アリマセウケレドモ、農林省ガ之ニ同意サレタ主ナ原因ハ何處ニアルカト言ヘバ、救護法ノ資金ヲ造ル、其目的カラ割出サレタノデアアツテ、農村ヲ救フ、或ハ山村ヲ救ッテヤラウト云フ意思カラ出タノデハナカラウ、現ニ一方ニ於キマシテ此人造絹絲ノ關稅ノ引下ヲヤラウト云フコトモ、是ハ何處カ福井縣ノ溫泉邊リデ約束ガ出來上ツテ、是ガ出來タト云フコトヲ私共ハ聞イテ居リマス、サウシテ是モ殆ド產業ト云フ上カラ考ヘテヤラレタ仕事デナクシ

テ、サウ云フヤウナ動機ニ於テ不純ナルコトガ、ナカッタカモ知レマセヌガ、アッタト云フヤウナコトヲ言フ者モアル、或ハ又何ノ爲ニ之ヲヤッタカト言ヘバ、一方デ木材ノ關稅ヲ引上ゲルト外國ノ御機嫌ガ惡クナルカラ、サウスルト「バルブ」ノ原料ヲ輸入スル上ニ於テ、是モ日本デハ大シタ害ガアリマセヌカラ、輸入ガ少クナツテ來テ居ルカラ之下ゲテヤッタナラバ、外國人ノ感情ガ幾ラカ軟クナルダラウト云フヤウナ心持カラ之ヲ下ゲラレタノデハナカラウカ、サウスルト農林省ノ御考ハ、農村ガ非常ニ困難シテ居ルカラ、途ガアッタナラ之ヲ救ッテヤラウト云フ御感ジヲ持タレテ居ルノデナカラウカ、私共ハ斯ウ云フ疑サヘ生ジテ來ルノデアリマス、ソレハナゼサウ云フコトヲ言フカト云ヘバ、昨日モ農林大臣ニ御尋致シマシタ澁粉ノヤウナモノ——今日地方ノ者ハ非常ニ困難ヲ致シテ居ル、米ハ御承知ノヤウナ、云フ値下リニナツテ殆ド生産費モ償フコトガ出來ナイヤウナ狀況ニナリ、蠶ヲ作ツテ見レバ、漸ク苦勞シテ作ツタ繭ガ一貫目七十錢、八十錢ト云フヤウナ値段デ叩カレル、農產物ヲ作ツテ見レバ、「トマト」ヲ青物市場ニ持ッテ行ケバ石油箱一杯ガタツタ五錢ダト云フヤウナコトニナツテ居ル、モット酷イノハ澁粉

ノヤウナモノ、非常ナ値下リデ、甘諸ヲ作ツテモ引合ハナイ、甘諸ヲ作ツテ居ル人ハ、土地ガ惡クテ他ノ物ヲ作ツテ出來ナイ、仕方ガナイカラ甘諸ヲ作ツテ居ル、其甘諸ノ値段ガ下ツテドウニモ仕樣ガナイ、他ニ名案ガアレバ兎ニ角、今差當リノ問題ハ是ノ脅威ヲ受ケル玉蜀黍或ハ高粱ト云フモノニ對シテ税金ヲ課ケテ、幾ラカ値段ノ維持ヲシテソレヲ救ッテヤラウ、是ガ私ハ親切ナヤリ方デアラウト思フ、併シ政府ハサウ云フモノニハ一寸モ考慮サレナイデ、今度ノ改正案ヲ出サレテ居ル、サウ云フモノニ對シテハ農林省ハドウ云フ見方ヲサレテ居ルノデアリマセウカ、是等ハ氣ノ毒ナモノデアアル、救ッテヤリタイト云フ御考ヲ御持チニナラナイノデアリマセウカ、一寸御尋致シマス

○町田國務大臣

只今ノ御尋ハ昨日大

體御答シタコトデ御諒解ガ願ハレルダラウト思ッテ居リマシタガ、此度ノ木材關稅ノ改正ハ能ク關稅ノ引上ト云フ言葉ガ使ハレテ居リマスガ、成程率ヲ上ゲル方カラ申シマスレバ引上ニナルノデアリマス、併シ昨日モ申シタ通り、或ル特別ナ當時ノ事情ニ依リマシテ、一般木材關稅ニ比較シテ沿海州カラ輸入セラレル木材ニ對シテ、特ニ低率若クハ無稅ト致シタ原因ガ消滅致シマシタガ故ニ、之ヲ他ノ輸入木材ト同ジ率ニマデ之ヲ均等ニ引上ゲルト云フ意味ハ、茲ニ關稅ヲ改正シテ保護政策ヲ更ニ用キルト云フ意味合デナイ、特別ナ原因ニ依ッテヤッタノダト御諒解ヲ願ヒタイノデアリマス、農村ノ今日ノ困難ノコトハ御同感デアリマス、是ガ爲ニ農林省ト致シマシテハ應急的ナ施設トシテ出來ルダケノ努力ヲヤツテ居リマスコトハ、今井君ニ於テハ既ニ御承知ノコトト思ヒマス、更ニ今後モ——從來農林省ガ執ッテ居リマスル、或ハ生産費ヲ安クシテ販賣配給ノ改善ヲ致ス等、有ユル方面ニ向ッテ努力致シテ居リマス、唯何故ニ此際或ハ高粱或ハ玉蜀黍等ニ向ッテ稅率ヲ高メル提案ヲ致サナイカト云フ御尋ニ對シテハ、相當考慮致シテ居リマス、併シ此前ノ改正ニ於キマシテモ、一面ハ生産者、一面ハ消費者ノ兩方面カラ見マシテ現行稅率ガ出來テ居ルノヲ、一兩年ノ不況ニ對シテ何カ應急的施設ニ依ッテ緩和スルトヲ得マスレバ、ソレニ依ッテヤリタイト云フ考ヲ持ッテ居リマシテ、若シ關稅ヲ改正シテ更ニ増率ヲ課ケルト云フコトニナリマス、單リ高粱若クハ玉蜀黍、或ハ煉乳等ニ限ツタ譯ニハ麥リマセヌ、各方面ニ向ッテ十分調査シテ對策ヲ考ヘルコトデアリマスカラ、多少ノ茲ニ時日ガナケレバイカヌノデアリマス、ソレカラ只今救護法實施ノ爲ニヤツタ

ノデヤナイカ、何カ動機ガ面白クナイ
ト云フヤウナ御尋ガアリマシタ、左様
ニ新聞アタリニモ傳ッテ居ッタ部分モ
アッタヤウニ私モ承知シテ居リマス、併
シ明カニ申シテ置キマスガ、社會的政
策ノ必要ナルモノトシテ、政府ガ救護
法ノ實施ヲ急イダコトモ事實デアリマ
ス、農林省關係ニ於キマシテハ競馬法
ヲ改正シテ、新ニ得ベキ收入ノ一部分
ヲ社會施設ノ方ニ用ユルト云フコトニ
付テハ、競馬法ノ改正ハ農林省ノ馬事
進行ノ爲メ、若クハ年々皆サンノ要望
セラレテ居リマシタ牧野法制定ノ爲ニ
必要ナコトト考ヘテ居リマシタガ、之
ヲ取急イデヤッタ動機ハ、救護法ノ財源
ヲ競馬ノ新ナル收入ニ依ッテ一部ヲ救
護法ニ與ヘルト云フコトモ、之ヲ促ス
動機トナツタコトハ事實デアリマス、併
シ此木材ノ關稅ヲ沿海州ノ關稅ヲ一般
稅率ト均一ニスルト云フ意味ノ私ノ方
ノ立テ方ハ、農村今日ノ不況、就中林
業者ニ於テ最モ困難ノ地位ニアルト云
フコトヲ常ニ考ヘマシテ、或ハ低利資
金或ハ負債整理等ヲ考ヘテ居リマシタ
ガ、此際沿海州ノ木材ニ對シテ、亞米
利加其他カラ入ルト同ジ待遇ニ致スコ
トハ、數年打續イテ居リマス木材價格
ノ異常ナル低落、之ニ依ッテ林業者モ甚
シキ困難ニ陷ッテ居ルト云フコトヲ、幾
分タリトモ緩和シ得ラレルト云フコト

ニ重キヲ置イタノデアリマシテ、農林
省トシテハ此財源ヲ救護法ニト云フコ
トハ、私トシテハ考ヘテ居リマセヌ、
大藏省ハ之ニ依ッテ得マシタ財源ニ依ッ
テ或ハ其方面ニ用ユルカモ知レマセヌ
ガ、眞ニ私ハ救護法ノ財源ヲ得ルガ爲
ニ、沿海州ノ木材ノ關稅ヲ、一般稅率
ト一樣ニセヨト云フコトハ、嘗テ大藏
省カラモ協議ヲ受ケタコトモナイト云
フコトヲ、私ハ明カニ言明シテ、ソレ
ニ對シテハ全部ノ責任ヲ負ッテ茲ニ御
答致シマス

○**今井委員** 現在デモ此澱粉、小麥ニ
對シテハ一圓五十錢、或ハ小麥粉ニ對
シテハ一圓九十錢、或ハ「コンスタ
チ」ニ對シテハ二圓三十錢、「タビオ
カ」ニ對シテハ「セイゴ」ニ對シテモ、
一圓八十錢ノ輸入稅ヲ課シテ居ル、是
ハ言フマデモナク内地ノ製粉業、或ハ
農產業、是等ノモノヲ保護スル爲ニ、
此課稅ハ課ケラレテ居ルノデアラウガ
サウスレバソレト同ジ作用ヲ爲ス所ノ
高粱ハ無稅「コンスタチ」ノ原料デ
アル玉蜀黍、是ガ僅カニ百斤ニ付テ三
十錢ノ稅、此ニツテ何ガ故ニ此安イ稅ニ
シテ置カナケレバナラナイデセウカ、
ソレヲ御伺致シタイ

○**町田國務大臣** 高粱ノコトハ昨年ト
思ヒマス、關稅審議會ト申スノガ常置
シテアリマス、關稅委員會以外ニ、總

理大臣ノ統率ノ下ニ内閣ニ出來テ居リ
マス、其際ニ各方面ニ互ッテ研究致シ
マシタガ、高粱ハ之ヲ無稅ニシタガ爲
ニ、内地ノ產業ヲ脅カサルコトハナ
イト審議會ガ考ヘ、同時ニ之ヲ無稅ニ
スルコトニ依ッテ飼料等ニ向ッテ相當有
效ナル結果ヲ及ボスト云フ點カラ、當
時餘程研究シマシタガ、此高粱ヲ無稅
ニスルト云フコトハ内地ノ產業ニハ惡
影響ヲ及ボス程ノコトハナクシテ、一
面ニ於テハ飼料其他ノ方面ニ於テ相當
效果ガアルデアラウト云フコトカラ致
シタノデアリマス、當時ノ審議會ニ於
テハ玉蜀黍ノ問題ハ生ジナクッタノデ
アリマス、併シ今後ハ相當考ヘナケレ
バナラナイト思ヒマスガ、申スマデモ
ナク消費者ノ立場ト、生産者ノ立場ヲ
バ兩方面カラ、利害ノ衝突シテ居ル問
題ガ關稅政策ニハ多イノデアリマスカ
ラ、昨今ノ狀態竝ニ滿洲邊リカラ入リ
マス模様ニ依ッテハ、何等カ對策ヲ講ズ
ル必要ガ或ハアラウトシテ、折角考究
中デアリマス

○**今井委員** 昨年審議會ニ掛ケラレタ
時ニ、是ハ日本ノ國ニ高粱ノヤウナモ
ノガ入ッテ來テモ、日本ノ產業ヲ壓迫ス
ル憂ガナイト云フ見解ノ下ニ、此稅ヲ
撤廢サレタト云フコトハ、其當時ノ事
情トシテハサウデアッタカ知レナイガ、
今日ハ新ニ之ヲ原料トシテ作ラレル精

分デアアル、日本ノ產業ヲ脅ス事實ガ新
ニ生レテ來タ、サウスレバ之ニ對シテ
テハ相當ナ保護ヲ加ヘナケレバナラ
ヌ、昨日モ農林大臣ノ御話デアリマシ
タガ、外國人ノ事業ダカラト云ッテ、之
ニ課稅スルヤウナコトハ考ヘナケレバ
ナラヌト言ハレタ、私共ハサウ遠慮ス
ル必要ハナイト思フ、外國人ノ事業デ
アルカラト云ッテ、無理ニ高イ稅金、不
必要ナ稅金ヲ課ケル必要ハナカラウト
思ヒマスガ、外國人デアルカラト云ッ
テ、其事業ニ對シテ稅金ヲ課ケナイデ
置ク、即チ消極的ニ一種ノ保護ヲシテ
置ク必要ハナイコトデアラウト思フ、
亞米利加ニ於テモ現ニ先般改正セラレ
タ關稅ヲ見マスルト、玉蜀黍ニ對シテ
外國カラ入ッテ來ルモノニ付テハ百斤
ニ付テ一圓十九錢ノ稅ヲ課ケテ居ル、
日本ガ玉蜀黍ニ對シテ一圓十九錢ノ稅
ヲ課ケレバ、亞米利加ト同ジデアアル、
亞米利加人ガ感情ヲ惡クスルコトモナ
イ、殊ニ高粱ハ支那ノ滿洲カラ入ッテ
來ルモノデアリマス、之ニ對シテ稅金
ヲ課ケタカラトテ、支那人ガ特ニ外國
人ノ爲ニヤッタト云フヤウナ感ジヲ持
タナイダラウト思フ、サウ致シマスレ
バ此際、是等ニ依ッテ非常ナ打撃ヲ受ケ
ルモノガアルトスレバ、是等ノ物モ他
ノ物トノ鈎合上、相當ナ稅金ヲ課ケル
ト云フコトハ、無論當然デアラウト思

○町田國務大臣 今井君ニ一ツ希望ヲ申述ベテ置キマスガ、私ノ昨日ノ玉蜀黍ニ對スル問題、朝鮮ニ於テ外國人ガ大規模ノ下ニ經營シテ居ルト云フ問題デアリマスガ、私ハ外國人ガ今斯様ナコトヲヤツテ居ルカラ、之ニ對シテ茲ニ課稅スルノハ面白クナイト云フコトガ、此問題ノ主要ナル點デナカッタノデアリマス、主要ナル點ハटनाデアリマシタカ、外國人ガ大規模ニヤリマスト、是ガ爲ニ内地ノ同ジ經營シテ居ル事業ガ脅カサレルカラ、ソコデ滿洲カラ入ッテ來ルモノニ向ッテ内地ノ事業ヲ保護スル意味ニ於テ、相當ノ課稅ヲ致シタイト云フ御議論デアリマシタカラ、ソレハ私共ノ承知スル所ハ當年ノ九月ニ於テ建築其他ガ完成スル、或ル方面カラ聞キマスト相當ナ大キナ計畫デアルカラ多少遅ルルダラウ、是ガ完成シテ製品ヲ市場ニ賣出スノハ數箇月遅レルデアラウト云フ報道モアリマス、必ズシモソレニ重キヲ置ク譯デハアリマセヌガ、其經營ガ完備致シマシテ、製品ガ世ノ中ニ出テ來タ時ニ、果シテ内地ノ同ジ業務ヲ脅スカ否カト云フ現實ナル事實ガ茲ニ現ハレタ時ニハ、政府トシテ是ガ爲ニ内地ノ産業ヲ脅サレル事ノ程度ガ多イト思ヘバ、此儘ニ放任シテ置ク譯ニイカヌ、併シ現實ナル

事實ガ現ハレヌ——今日ニ於テ多分斯ウナルデアラウト云フ推測ノ下ニ課稅スルト云フコトハ、餘リ穩當デハアルマイ、加フルニ外國人ガヤツテ居ル際ニマダ其事業ヲ開始セヌ前ニ之ヲ壓迫シ、若クハ阻止スルガ如キ態度ハ、國際信義ノ上カラ見テモ多少考慮シナケレバナルマイ、外國人ガヤツテ居ルカラ遠慮シテ課稅ヌト云フコトガ私ノ御答ノ主ナル趣旨デハナイト云フコトダケハ、御諒解願ヒタイト思ヒマス

○今井委員 此問題ヲ考ヘル時ニ、サウ云フヤウナ外國ノ工場ガ日本ノ國ニ起ルカラト云フコトヲ考ヘタクナイト思フ、唯他ノモノニ較ベテ、他ノモノニハ皆相當ノ稅金ヲ課ケテ内地ノ産業ヲ保護シテ居ルノニ、同ジ作用ヲ爲ス此二ツノモノダケニ稅金ヲ課ケテ居ラナイ、釣合上カラ是ハ引上ゲナケレバナラナイ、引上ゲル必要ガアラウト思フ、是ハ農林省ニ於テ其必要ヲ御認ニナリマスカナリマセヌカ否ヤ

同ジ意味ダラウト思フ、段々根本カラ色々ナ要求ガアルカラ改正シロト云フコトニナレバ、政府モ御困リニナルカモ知レヌガ、落チテ居テ、現實ニ打撃ヲ受ケルコトガ明カナツタナラバ、此際私ハ寧ロ政府ハ之ニ同意セラレタ方ガ宜イノデハナイカト考ヘル、ソレデ私共ガ此質問ヲ爲シマスル理由ハ、私共別個ニ議員ノ案ト致シマシテ、此二ツノモノハ稅金ヲ増シテ貴ヒタイト云フ法律案ヲ出シテ居リマス

○今井委員 何遍御尋シテモ同ジ結論ニナリマスガ、其亞米利加ノ會社ガ今年内ニ出來ルカ、出來ヌカト云フコトハ是ハ別ト致シマシテ、今ノ農村デハ非常ニ困ッテ居ル、之ニ關稅デモ課ケテ、ソレダケ保護シタト云フコトニナレバ、農村ノ悲運ト云フモノハ、或ル程度マデ除カレル、サウスルト其人氣ダケデモ、農產物ノ價格ガ或ル程度マデ騰ッテ來ルダラウト思フ、ソレダカラ其會社ガ今年出來ル、出來ヌト云フコトヲ考ヘナイデ、是ハ落チテ居タモノデアアル、私ハ沿海州ノ木材ヲ上ゲルト云フ理由ト同ジコトダト思フ、アレモ一ツ落チテ居ッタ、忘レラレテ居ッタ、是モ忘レラレテ居ッタ、所ガ今ニナレバ必要ガ出來テ來タト云フコトニナレバ

○今井委員 一寸私共ノ見テ居ル所ヲ申上ゲマス、農林大臣ノ御答ニナルヤウニ高粱ト、玉蜀黍ニ關稅ヲ課ケヤウト云フコトハ、平壤ニ出來マス亞米利加ノ工場デ、大資本デ大規模デヤルカラ、ソレカラ出來テ來ル「コンスタールチ」ガ日本ノ所謂甘藷カラ出來ル澱粉ニ影響スルカラ非常ニ困ル、ソレデ以テ今度高粱ニ稅ヲ課ケヤウ、斯ウ云フ問題デアリマス、若シ亞米利加ノ大規模ノ工場ガ出來ヌト致シマスレバ、現在ハドウデアリマスカト言ヒマス

○町田國務大臣 昨今ノ内地ノ狀態ヲ見マシテハ、相當之ニ考慮シテ、何等カ緩和策ヲ樹テルコトノ必要アリトシテ、折角調査中デアリマス、唯木材關稅ノ沿海州カラ參リマス無稅若クハ低率ノ木材ヲ一般他ノ國カラ入ルモノト同率ニ引直スト云フ意味ト違ッタ意

ト同率ニ引直スト云フ意味ト違ッタ意

カラ、平壤ニ亞米利加ノ工場ガ出來ヌトスレバ、高粱其物ハ、ヤハリ無稅ノ方ガ、ソレマデハ宜イノデス、ソレカラ玉蜀黍モ南洋カラ多ク今入リマスガ、是モ大部分ハ高粱ト同ジャウナ意味ニ使ハレテ居リマス、ソレデアリマスカラ、ヤハリ亞米利加ノ大規模ノ工場ガ出來ヌマデハ無稅ノ方ガ利益デアアル、「コンスターチ」ノ方ノハ御承知ノ如ク關稅ヲ課ケテ、成タケ入レナイ、サウシテ甘藷ノ澱粉ヲ大ニ獎勵シヨウト云フコトハ、是ハ當然デアアル、平壤ニ於テ亞米利加ノ大規模ノ工場ガ出來レバ、日本ノ澱粉ガ壓迫サレルト云フコトデアリマス、是ハ農林大臣モ御答ニナリマシタ如ク、最初ノ豫定デハ九月デアリマス、是ハ朝鮮總督府ノ者ノ報告ニ依リマス、多少延ビル、斯ウ申シテ居リマスカラ、二箇月延ビタトスレバ、十一月カ十二月ニナル、斯ウマア考ヘテ居リマスガ、其品物ガドウナルカト言ヘバ、ドノ位ノ値段デ賣ルダラウカト云フコトモ今豫想ガ付キマセヌ、ソレカラ過去ノ歴史カラ言フト、亞米利加ノ資本ガ入ッテ來テ、朝鮮デ玉蜀黍ノ耕作ヲ盛ニスルト云フコトハ非常ニ結構ナコトデス、相當ニ此事柄ニ付テハ便宜ヲ與ヘタ、是ト言ッテ具體的ニ申上グルコトモナイノデスガ、ヤルナラバ至極宜カラウト言ッテ、是マデオ

前等ガヤルト日本ノ澱粉業ガ非常ニ困ルカラ、關稅ヲ課ケルコトガアルゾ、斯ウ言ッテ警戒等ハ與ヘテ居ラヌノデス、ソレデスカラヤハリ農林大臣ノ言フ如ク、今年ノ暮、即チ昭和七年度ノ議會ニ問ニ合フ頃ニ決シテモ差支ナイノデナイカ、其時ニ只今言フ如ク、内地ノ澱粉業ヲ脅カスヤウデアレバ、只今今井君ノ言ハレル如ク、高粱デモ、玉蜀黍デモ稅ヲ課ケナケレバイケマセヌ、ソレハ確カナコトデアリマス、唯今度ノ議會ニソレヲヤルカヤラヌカ、今農林大臣ガ言ハレル如ク、可ナリ徹底的ニ種々ノコトヲ研究シナケレバナラヌコトガ來ルノデスカラ、其意味ニ於テ吾々ハ農林省ト交渉シテ居ル譯デアリマス、私ガ差出口ヲ致シヤウデアリマスガ、補足致シテ置キマス

○今井委員 今大藏大臣ノ説明ニナリマシタヤウニ、高粱ガ今鶏ノ餌ニ使ハレテ居ル、之ニ今稅ヲ課ケレバ、鶏ノ餌ガ高クナルト云フコトハ、是ハ同ジク農村ニ向ッテハ重大ナ問題デアリマス、併シ今日デモ碎米或ハ小麥粉ノヤウナモノニ對シテ、鶏ノ餌ニスル飼料ト致シマシテハ無稅ニナッテ居ル、ソレハ此高粱ニ對シマシテモ、飼料ニ對シテハヤハリ無稅トスレバ、他ノモノヲ取扱ッテ居ルト同ジ形ニ致シマスレバ、私ハ其憂ハナカラウト思フ、私共ソレ

ハ考ヘマス、若シサウ云フコトデアルナラバ、私共考ヘナケレバナラヌ、ケレドモ是ハ他ノ小麥粉ニ致シマシテモ碎米ニ致シマシテモ、別ナモノデアリマス、別個ノ取扱ヲ受ケテ居リマスカラ、是ハ打撃ヲ受ケテ居ラナイ、唯斯ウ云フヤウナ製粉ニ使ハレルト云フヤウナモノニ對シテノミ適用サレルノデアリマス、其區別ガ付カナイト云フコトハ、碎米其他ハ今日區別ガ付イテ居ルノデアリマスカラ、ソレト同ジャウニ取扱フト云フコトニスレバ、サウ云フ憂ハナカラウト思フ

○青木政府委員 今ノ飼料小麥ノコトゴザイマスガ、成程今井サンノ仰セニナリマスヤウニ、飼料小麥ヲ無稅ニ取扱ッテ居リマスガ、其飼料小麥ニ付キマシテハ、實ハ私共隨分惱ンデ居ルコトガゴザイマス、詰リ是ガ飼料ニナルカ、或ハ小麥粉ノ原料ニナルカト云フ所デ非常ニ惱ンデ居リマシテ、嘗テハ飼料小麥ナリト稱シテ輸入ヲ致シマシタモノヲ、小麥粉ノ原料ニ使ヒマシテ、關稅ノ脫稅ヲシタト云フヤウナコトガゴザイマスカラ、ソレデ飼料小麥モ同ジ小麥デアリマスケレドモ、用途ニ依ッテ無稅ニスル、無稅ニシナイト云フコトニ付キマシテハ、取扱上隨分困難ヲ感ジ、色々紛糾シタ問題モ起ッテ居リマスノデ、大藏大臣ノ仰セニナリマシタ

ヤウニ、寧ロ此「コンスターチ」ノ關係ニ於テ、之ヲドウシテモ無稅ニシナケレバナラヌト云フコトデアリマスレバ、私共關係當局ト致シマシテハ、サウ云フ風ニ用途ニ依ッテ區別致シマセヌデ、モウ已ムヲ得マセヌカラ、用途ニ依ッテ區別シマセヌト云フト、關稅定率ヲ盛ル方ノ私共事務當局トシテハ、寔ニ問題ガ少クシテヤリ易イコトダト存ジテ居リマスカラ、一應御參考マデ申シテ置キマス

○今井委員 私共此問題ハ役人ノ都合ノ爲メニヤッテ貫ハウトハ考ヘマセヌ、役人ノ取扱ガ惡イカラト云ッテ、若シサウ云フヤウナコトニナッテ、鶏ノ餌マデ稅金ガ課ルト云フコトデハ私共ハ非常ニ不滿デアアル、サウ云フコトヲ頼マウトハ考ヘテ居リマセヌ、而モ此問題ハ農林省ノ主管事項ダカラ、農林省デ斯ウ云フコトヲヤラナケレバナラヌ、大藏省ハ唯役人ノ都合ガ惡イカラト云フコトハ御止メニナッタラ宜カラウト思フ、執行權ヲ持ッテ稅金ノ取扱ヲ爲サレタラ宜イノデアアル

○青木政府委員 私申シ様ガ惡カッタと思フノデスガ、脫稅問題ガ起ルト云フコトハ宜クナイト云フコトヲ申上ゲタノデアリマス

○高橋委員 今ノ脫稅問題ニ付テ起ル問題ハ、始終脫稅々々ト云ウテ稅金ノ

二四

多額ノ國庫補助ヲヤツテ、サウシテ此農民ヲ救ヒツツアルト云フ實況ニアル、第二ノ沖繩縣ハ千葉縣ニナルダラウト思フ、今日吾々ノ恐レテ居ルノハ千葉縣ニ於テハ芋蔓ヲ貯藏シテ乾燥シテ、之ニ依ツテ豚ヲ飼ヒ、牛ヲ飼フト云フ方針ヲ定メテヤツテ居ルガ、其千葉縣デハ芋蔓其他デ牛ヲ飼ツタ結果ハ、牛ハ非常ニ良クナツタケレドモ、今度ハ乳ノ處分ニ困ツテ居ル、千葉縣ニ於テドノ位ノ生産過剩ヲ來シテ居ルカト云フコトヲ考ヘル時ニ於テ、此農民ノ窮迫ノ狀態ト云フモノモ能ク御考ニナラナケレバナラヌ、唯甘藷ガ取レタカラ外ノ物ヲ作ツタラ宜イダラウト云ツテモ、外ノモノヲ作レル土地ニハ甘藷ハ作レヌ、斯ウ云フコトニ相成ツテ居ルノデアリマス、北海道ハ馬鈴薯ガイケナカッタラ豆ナラ宜イカト云フト、豆ハ作レナイ狀態ニアル、第一大豆ノ關稅ハ七十錢カ六十錢ニ當ツテ居ル、百斤當リ一石ガ豆ハ大キイカラ、小麥ヤ米ト違ツテ二百二十斤一石ニナツテ居ル、サウスルト一石當リ一圓五十錢ソコラノ税金デハ、到底滿洲大豆ニ押サレテ北海道ノ大豆ハ立行カナイ、ソレナラバト云ツテ二ツノ害蟲ガアルト云フコトハ農林大臣ハ御聞及ビデセウ、當然三分ノ二ハアノ害蟲ニヤラレテシマフ、豆ノ象蟲、豆ノ蕊喰蟲ト云フ此二ツノ蟲ハ、是ハ何レ北米合

衆國アタリカラ來タモノデアラウガ、滿洲ニモ少シハ見エルト云フ報告モアル、斯ウ云フヤウナ恐ロシイ害蟲ガアル、豆モ作レナイデ肥料ハ掛ルケレドモ小額ニ過ギナイカラ、小豆ニ向フト云フヤウナモノデアアル、ソレデアリマスカラ、サウ云フヤウナ方面ニハ漸次馬鈴薯ヲ獎勵シテ、馬鈴薯ニ變ヘテ行カウト云フヤウナコトハヤッテ見テモ中々旨ク行カナイ、馬鈴薯ハ今度生産過剰ニナルカラ豆ヲ植エルト云フ、サウ云フコトナノデアアル、一時青豌豆ヲ植エタコトガアルガ、青豌豆ヲ植エテモ同ジヤウナ蟲害ニ罹ッテ、又相場ノ激落ノ爲ニ非常ニ困ッテ居ルト云フ、斯ウ云フ場合デアアル、之ヲ救フノ途ハ何ニアルカト云フコトヲ考ヘナケレバナラヌ、サウスルト之ニ助成金ヲ與ヘテ保護シテ行カト云フ問題ナノデス、助成金モ與ヘナイシ、關稅デ保護モシナイデドウシテ立テル、アナタ方ハ關稅ハ是デ以テ保護政策ヲ取ラナイ然ラバ助成金ヲ與ヘナケレバナラナイ、乳製品ハ山ヲナシテ困ルカラト云ウテ、香港ニ持ッテ行ッテ、南洋ニ持ッテ行ッテ賣シテ外國品ト競争スル、其代リ一箱ニ付テ二圓ヅ、補助ヲ出スト云フノデ之ヲ補助シテ居ル、北海道ノ拓殖費中カラ之ヲ割イテ北海道デモヤル、斯ウ云フヤウナコトヲヤッテ、助成政策ヲヤッテ積極的ニ進ムノモ一ツノ方法デス、ダカラ吾々ハ之ヲ何處迄モ續ケレバ宜イガ、今日ノヤウニ外國ニ進出シタナゾト云フコトヲ、昨日アタリ農林大臣ガ言ハレタト云フコトヲ、同僚カラ質問ノ中ニ挾ンデ一寸聽イタノデアリマスガ、斯ウ云フヤウナモノガ何時マデ續クカ、根氣宜ク十萬圓デモ、二十萬圓デモ、諸外國ノヤッタ如キ助長政策ヲヤッテ、何處マデモ敵ヲ倒スマデ進出ヲ援ケルト云フヤウナ、固イ決心デヤルナラ成功シマセウガ、今年限リダ、今度限リダト云ウテ助成金ヲ出サレタラ何モナラナイ、現ニ昨日モ僅ノ時間デアリマスノデ、駈足のニ申シマシタカラ、或ハ御記憶ガナイカ知レマセヌガ、日本内地ノ製乳業界ト云フモノガ苦心シテ居ル、明治製菓ガ二年前カラ獨力デ、多大ノ犠牲ヲ拂ッテ香港ニ進出ヲ致シテ、今日内地ハ十二圓四打一箱標準トシテ居ルガ、一箱十一圓ニ安ク賣ッテ居ル、外國品ハ十四五圓デ賣ッテ居ルト思ヒマスガ、其十二三圓デ賣ッテ居ル、政府ノ補助金ノアルモノハ、ドウ云フコトヲシテ居ルカト云フト、六圓ト五錢ニ賣ッテ居ル、此位香港デ叩イタト云フコトヲ吾々ハ聽イテ居ル、サウスルト二圓ノ補助ガアルカラ、手取り八圓ニナル、併シ折角進ム

ダ所ノ明治製菓ハ、是ガ爲ニ非常ナル打撃ヲ蒙ルト云フコトニナル、一方デハ北海道ノ製乳組合ハ北海道ノ補助ヲ得テ、又同方面ニ進出スル、今ノ中ハ萬字巴トナッテ、競争ト云フコトデナク進ンデ居ルカラ宜イガ、モウ少シ利害ガ衝突スルト、仲間同志爭フト云フコトニナルト、此海外進出ト云フモノモ、ドウナルカ分ラナイト云フコトニ相成ルノデアリマス、ソレカラ海外ニ日本ノ鶏卵ガ進出シタト云ウテ大變喜バレタケレドモ、是モ二回ダケデ、大荷物トシテ馬尼刺ニ一回、南洋ニ一回、併シ銀ノ相場ノ暴落ノ爲ニ支那ノ卵ガ安クナリ、寒サト共ニ支那ノ卵ノ輸送モ相當完全ニナッタ今日ニ於テハ、非常ニ支那ハ有利ニナリマシタカラ、忽チ日本ノ卵ハ海外ノ市場カラ擊退サレルト云フ有様デ、今日名古屋ノ鶏卵ニ從事シテ居ル養鶏業者ハ、悲鳴ヲ上ゲテ居ルト云フ一端ハ、昨日申上ゲタ通りデアリマス、デアリマスカラ積極的ニ之ヲ助成スルカ、ソレデナケレバ海外ノ乳製品ヲ關稅障壁ヲ高ク掲ゲテ之ヲ保護シテヤルカ、ドッチカノ途ニ行カナケレバナラヌ、ドッチモヤラナイト云フナラバ見殺シラスルト云フコトニナル、折角獎勵シテハ倒ス、又餘燼ガ醒メルト、又獎勵シテ、又間ニ合ハナイト言ッテ倒ス、是ガ今日マデノ狀態、殊

ニ澱粉工業デアルトカ、或ハ畜産ト云フヤウナモノハ、同ジ運命ヲ辿リツ、アルノデアアル、今日澱粉ヲ上グラレナイト云フノハ、澱粉ニ依ッテ原料高ニナッテ困ルト云フ織物業者、斯ウ云フ連中ガ猛烈ニ運動ヲシテ居ルカラ、是等ノ工業家ハ團體モ有力デアリ、一々掴ヘテモ大キナ人々デアルカラ、零細ナル細カイ澱粉業者ナドハ、ドウデモ宜カラト云フヤウナコトデ、ツイ此大キナ頭ダケノ云フコトヲ聽イテ、澱粉ノ關稅ノ値上ニ反對ヲサレル、私モ昨日聲ヲ高ク叫ンダ「カゼイン」ナント云フモノハ、飛行機工業ニハ非常ニ必要ナモノ、軍事上ノ必要ナル是等ノモノハ、極力保護シナケレバナラヌト云フヤウナ、一方カラ斯ウ云フ聲ガ揚ガルト云フト、一方カラ肥料工業者ハ、斯シナモノ、税金ヲ上グラレテハ工業ハ潰レテシマフト云フト、農林大臣ハ顛上ルノデナイカト私共ハ考ヘル、ソレデハ農民ノ代表デヤナクナッテシマフ、商工大臣カ大藏大臣カ分ラヌ、實際云フトアナタハ大藏大臣ニナッタ方ガ宜カッタカモ知レナイ、ソレハ別問題トシテ、アナタハ現ニ農林大臣トシテ座ッテ居ラレル、又アナタト同ジヤウナ能力ノアル所ノ立派ナ大藏大臣ガ嚴トシテ居ラレル以上ハ、其必要ガナイカモ知レナイガ、共ニ私ハ悲シム、商工政策ニ

ハ非常ニ熱心デアルケレドモ、農業政
策ニ付テハ一向冷淡デアアル、大キナ頭
ハ活カシテヤラナケレバナラヌケレド
モ、小サイ頭ハ潰レテモ差支ナイ、蚤
ヤ虱ト間違ッテ居ルト云フヤウナ馬鹿
ナコトハ何事デアアル、吾々我慢強イカ
ラ、農民ハ黙ッテ居ルカラ宜シイ、工業
家ハ直グワイ、騷グカラ恐シイト考
ヘタラ、大キナ間違デアラウト思フノ
デアアル、ソレデ私共ハ今ノ澱粉工業等
ニ付テモ、斯ウ云フコトハ頭ニ入レテ
置イテ、サウシテ能ク御考ヲ願ハナケ
レバナラヌト思フノデアリマス、モウ
今ノ此儘ニ置イタラ、馬鈴薯ノ栽培家
モ、薩摩芋、甘藷ノ栽培家モ潰レテシ
マヒマセウ、斯ウ云フコトヲ考ヘル、
益々畑ハ荒廢シテ、他ノ作物ナドハ作リ
得ナイ、一方ニハ之ヲ有利ニ轉回スル
爲ニ、養鶏ト、養豚ト、ソレカラ乳牛ト
云フモノヲ入レテ、千葉縣ノ農家ヲ救
ハントシタモノモ、其畜産物ノ不景氣
カラ、或ハ外國品ノ壓迫カラ、到底立
チ行カクナツテ居ルト云フヤウナ今
日デス、ソレデ今ヤ千葉縣ノ澱粉業ト
云フモノモ、今井君ガ熱心ニ言ハレタ
通りニ、モウ潰レ掛ケテ居ル、悉ク倒
産ノ憂目ヲ見ルノデハナイカト云フヤ
ウナ有様ニナツテ居ルト云フノハ、明カ
ナノデアリマス、ソレデ之ヲ救フ工夫
ハドウダ、救フ工夫ハドウスルカト云

ハ問題ヲ細カク致シマセウ、千葉縣ノ
先ヅ澱粉業者、千葉縣ノ甘藷栽培家、
甘藷ヲ栽培シテ居ル農家ノ窮境ヲ如何
ニシテ御救ヒニナルカト云フコトヲ、
農林大臣竝ニ大藏大臣カラ此事ヲ承リ
マセウ

○町田國務大臣 昨日來各委員カラ農
村ノ今日ノ困憊ノ狀態、竝ニ澱粉、馬
鈴薯等ノ、北海道、千葉ノ實情ヲ、大抵
農林省ニモ材料ガアリマスガ、詳シク
御意見ヲ承ッテ、私共ハ目下是ガ對策、
竝ニ將來此關稅ヲ此儘ニシテ置クカ、
何カ相當ナ一種ノ保護稅ト申シテ宜シ
イカ、ソレヲ考慮シナケレバナラヌ必
要ニ付キマシテ、目下調査中デアリマ
ス、唯私ガ吳レ、モ申スノハ、今ノ
關稅率ハ數年前ニ出來テ居ルノデアリ
マス、其當時ハ是ガ適當ダトシテ現在
行ッテ居ルノデアリマス、爾來經濟上
ノ事情モ多少變化シマシタラウ、殊ニ
農村ノ現狀ニ於テハ、何トカ是ヲ緩和
スルコトニ對シテ對策ヲ講ジテ居リマ
ス、此對策ニ依ッテ果シテ窮狀ヲ緩和
スルコトガ出來ナイト見マスレバ、更
ニ關稅政策モ考ヘナケレバナリマスマ
イ、決シテ之ヲ等閑視シテ居ルコトデ
ヤナイ、目下銳意其調査ヲ致シテ居ル
ト云フコトニ御了解ヲ願ヒタイ

○永田委員長 此際御報告申ス事ガア
リマス、委員西脇晉君ガ辭任サレマシ
テ、櫛部荒熊君ガ後任ニナリマシタ、
議長カラ通知ガアリマシタ、隨テ西脇
君ガ理事デアリマシタ爲ニ、理事ガ關
員ニナリマシタノデ、選舉致シタイト
思ヒマスガ、委員長ニ御一任願ヘマセ
スカ

○井上國務大臣 只今農林大臣ノ言ハ
レタ通りニ私モ考ヘテ居リマス

○高橋委員 今農林大臣カラ審議中ダ
トカ、數年前ニドウトカ言ハレテ居ル、
審議中ナドト云フ間ニ、農村ハ段々疲
弊シテ行クノデアアル、審議中ダカラト
云ッテ、農村ノ窮境モ其間默ッテ休ンデ
居ルト云フ譯ニハ行カナイ、借金取ハ
農林大臣ノ審議中デモ構ハズ行クノデ
アル、審議中ト云フケレドモ、モウ二
年間モ審議シタリ考ヘタリシテ居ラレ
テ過ギタ、ソシナニ考ヘテバカリ居ラ
レテ實行シナケレバ、考ヘル必要モ何
モナイ、吾々ノ言フ事ガ分ッたら、直グ
實行スレバ宜イ、此場カラデモ實行シ
ナケレバナラヌ、既ニ澱粉工業ニ對シ
テ、澱粉ノ關稅ニ對シテハ澱粉工業
者——澱粉工業者ト云フト語弊ガアリ
マスガ、澱粉ヲ原料トシテ居ル織物ト

カ或ハ飴、其他色々ナ工業ガアリマセ
ウ、其工業者ノ壓迫ガ強イノデ、澱粉
ノ課稅ト云フモノヲ提案スルト云フ
コトハ、政府デ相當困難ヲシテ居ル、
木材ノ關稅デアリマシタカ、米ノ問題
ニナツタ時デアリマシタカ、小麥ノ關
稅ガ引上グラレタ時デアッタカ、或ハ牛
肉ナドモ引下ニナツタ時ノ御提案デア
タカ、是ハ民間カラヤカマシク言ッテ、
サウシテ議員カラ政府ニ迫ッテ、サウシ
テ「タビオカ」「マニオカ」「セイゴ」ニ對
スル關稅ノ引上ヲシテ貰ッテ、一方デハ
無稅デアッタ「カツサヴァルト」ニ對シ
テ六十錢カノ稅金ヲ課ケタノデアアル、
是モ政府ガ進ンデヤッタノデハナイ、吾
吾今日ノヤウナ工合ニ、委員會ニ於テ
委員ノ希望ニ依ッテ、政府ハ之ニ同意ヲ
サレタト云フ形ニナツテ居ルノデアリ
マス、イツデモ斯ウ云フ農家ノ最モ困
ルト云フヤウナモノニ對シテハ、政府
ハ關稅ヲ引上ゲルト云フコトニ付テ非
常ニ臆病ニ是マデナツテ居ル、工業家ノ
反對ト云フモノヲ非常ニ虞レテ今日マ
デ來テ居ルト云フ姿デアアル、北海道ノ
馬鈴薯ニ致シマシテモ、千葉縣其他ニ
於ケル甘藷ニ致シマシテモ、今日ハ栽
培家モ非常ニ困ッテ居ル、今日窮境ニ
陥ッテ居ル、食フヤ食ハズニ今日ハ居
ルノデアアル、北海道ノ如ク雪ニ閉ヂ籠
メラレテ、サウシテ借金取ニ責メラレ

テ食フ物モナイ、焚ク物モナイト言ッテ今日弱ッテ居ルデハアリマセヌカ、北海道ニ於ケル山林政策ノ不徹底カラ、今日ハ彼ノ廣イ所デ山ニ遠イ所ガ多イ、薪炭ハ内地ヨリモ高價デアルト云フヤウナ場所ガ少クナイ、今年ナドハ非常ナ疲弊困憊ヲ極メテ居ルト云フコトハ、農林大臣モ疾ニ御承知ノ事ダラウト思フ、ソレデアルカラ目下審議中デアル、來年ノ議會ニ提案ヲシヨウナン

ト云フ暢氣ナ事ヲ今日考ヘテ居ッテナラバ、モウ悉ク是等ノ者ハ乾上ッテシマハナケレバナラヌト云フヤウナ有様ニナッテ居ルダラウト思フ、サウ云フヤウナ問題ハ、考究中デアルトカ何トカ云フヤウナコトデナクシテ、問題ガ起ッテ居ルノデアルカラ、此機會ヲ利用シテ、此關稅ノ引上ヲ致スト云フヤウナ決心ヲナサラナケレバナラヌト思フ、サウスレバ大藏大臣ダッテ結構チヤナイカ、收入ガソレダケ増加シヨウト云フノデアル、或ハ幾分力減ルカモ知レナイガ、增收ト云フモノト差引スレバ大シタ事ハナイ、一方ニ於テハ、今日ハ又失業救済トカ何トカ言ッテ救ハナケレバナラヌモノガ、助カッテ行クト云フコトニナッテナラバ大藏大臣ハ双手ヲ舉ゲテ賛成ヲシナケレバナラヌ、大藏省ト云フモノハ、何モ工業家バカリ保護シナケレバナラヌト云フヤ

ウナ、ソシナ間違ッタコトハナイノデアルカラ、大ニアナタノ該博ナル知識ヲ利用シテ、海外邊リノ關稅、亞米利加邊リノ關稅ノコトヲ考ヘテ見、或ハ加奈陀邊リノ關稅政策ヲ考ヘテ見、南米邊リノ關稅政策ヲ考ヘテ見、濠洲邊リノ關稅政策ヲ相當考ヘテ見ナケレバナルマイ、消費者ノ爲ニ不利益ダナンテ、ソシナコトヲ言ッテ居ル場合デハナイト吾々ハ考ヘテ居ル、消費者モ多少我慢シナケレバナラヌ、儲カル所ハ多少儲ケノ少クナルコトモ我慢シナケレバナラヌ、サウシテ同ジ國民ノ多數ガ疲弊困憊其極ニ達シテ居ル、之ヲ救ハナケレバナラヌ、斯ウ云フコトヲ吾々ハ目標トシテ進ンデ戴キタイト思フ、ソレトモ農林大臣ハ、極少少數ノ工業家ガ助カッテ行ケバ、例ヘバ澱粉ノ問題ニシテモ、機屋ガ一機ニ付テ五錢カ十錢原料デ高クナルト云フト、機屋ガ潰レデモスルト考ヘラレルノデアルカ、或ハ南洋ノ澱粉ヲ使ッテ居ル土佐ヤ、或ハ廣島ヤ、岡山邊リノ澱粉給屋ガ旨ク儲カッテ行キサヘスレバ、内地ノ澱粉ガ賣レヤウガ賣レマイガ、又内地ノ甘藷栽培者ヤ、北海道方面ニ於ケル馬鈴薯ノ栽培者ガ倒レテモ差支ナイ、斯ウ云フヤウナコトヲ思ハレテ居ルノカ、是等ノ點ヲハッキリ伺ヒタイト思フ次第デアリマス

○町田國務大臣 只今ノ御尋ハ大層詳細ニ互ッテ御話デアリマスガ、私ハ大要ヲ申シマス、出來ルナラバ消費者ト生産者ノ利害ヲ出來ルダケ調和シタイト云フ考ヲ常ニ持ッテ居リマス、ソレカラ是ハ高橋君ノ御耳ニ入ルカ否ヤ知リマセヌガ、私ハ此處デ議論ハ致シタクナイガ、私ハ我國ノ關稅政策ハ、亞米利加邊リノ考ト違フ考ヲ持ッテ居リマス、併シ絕對的ニ關稅政策ヲ執ラヌトハ申シマセヌ、併ナガラ亞米利加ノ國情、高橋君ノ最モ能ク御承知ノ「ナチユラル・リゾース」ト申シマスガ、亞米利加ノ總テノ原料ニ富ンデ居ルアノ國ノ關係ト、日本ノ國情ハ違ヒマスカラ、亞米利加ノ關稅政策ヲ直チニ日本ニ用ヒルト云フ考ハ私トシテハアリマセヌ、併シ關稅政策ノ問題ハ、此席デ申スコトデアリマセヌカラ、今ノ問題ニ限ッテ申シマス、私ハ出來ルダケ生産費ヲ安クスル施設ヲ考ヘマス、同時ニ生産物ノ販賣ニ對シテ、配給等ニ依ッテ生産者ノ手ニ入ルベキ代價ヲ出來ルダケ多クスルト云フコトヲ考ヘマス、併シ昨今ノ狀態デハ、農家一般ノ疲弊、只今御話ノ馬鈴薯、甘藷、斯様ナ栽培ヲスル人ニ於テ、農產物ノ暴落ニ依ッテ餘程困難ナ地位ニアルト云フコトヲ考ヘマスルガ故ニ、私ハ臨時經濟的施設ニ依ッテ、出來ルダケ之ヲ緩和スルコトヲ考ヘテ居リマスガ、若シソレダケデ根

祇カラ脅サレルコトヲ緩和シ得ナイト云フ事實ガ明カナッタナラバ、御話ノ通り一種ノ獎勵法、若クハ關稅政策ニ依ラナケレバ行キマスマイ、私トシテハ相成ベクハ關稅政策ヲ避ケテ、獎勵ノ方法デ行クコトガ、消費者、生産者ノ利害ヲ出來ルダケ調和スルニ最モ良イ方法ト思ヒマス、併シ財政ノ關係上左様ナ財源ガナイトスレバ、已ムヲ得ズ關稅政策ニ依ルノ外アリマスマイ、其調査ハ眞ニ誠意ヲ以テ調査ヲ取急イデ居ルコトハ、大藏大臣トモ昨日打合ヲシテ、出來ルダケ調査ヲ進メヤウチヤナイカト云フ打合ヲシテ居リマスルカラ、此邊デ吾々ノ所謂誠意ヲ御諒承ヲ願ヒタイト思ヒマス

○高橋委員 今ノ亞米利加ノ關稅政策ト根柢カラ違フト云フコトヲ言ハレテ居リマスルケレドモ、或ハ多少ノ違ヒハアリマセウ、併ナガラ趣旨ニ於テ、亞米利加ハ「ナチユラル・リゾース」ガアル、天然資源ガ豊富デアルカラ之ヲドウスル、日本ハ不足ダカラト言ヒマスケレドモ、保護サヘスレバ日本デモ出來ル、日本ノ大豆ナドハ保護サヘスレバ何處デモ出來ル、今日内地ノ大豆ハ北海道ニ押サレ、唯他ノ物が穫レナイト云フヤウナ關東ノ平野ノ一部分ナドニ於テ、相當ニ栽培ヲシテ居ルモノガアル、間ニ合ハナイカラ、漸次是等

ノ栽培ノ面積ガ減ッテシマフノデアアル、小麥モ其通りデアアル、一時ハ小麥ダツテ隨分廣イ面積ニ栽培サレタ、六百萬町歩カラ七百五十萬町歩位マデ行ッタコトハアルデアリマセウ、今日ニ於テハ既ニ大正九年頃カラズツト減ジテ、漸ク五百萬町歩位ノモノデ、三百五十萬町歩マデ落チタト吾々ハ記憶シテ居ル、斯ウ云フヤウナコトデアリマスルカラシテ、出來ル所モ間ニ合ハナイカラ栽培ヲシナイト云フノデアアル、ダカラ之ヲ間ニ合フヤウニサヘシテ呉レバ、外國品ナドハ僅カノ輸入ヲスレバ宜シイ、小麥ノ如キハサウデス、併シ加奈陀產ノ小麥ヲ、特殊ノ「パン」ニハ、ソレヲ入レナケレバ膨レナイト云フヤウナモノハ別デアアルガ、ヤリ様ニ依ッテハ加奈陀產ト同ジヤウナ小麥ガ出來ルノデアリマス、ソレハ色々ナ方面ニ依ッテ多少ハ違ヒマセウ、違ヒマセウケレドモ、大體ニ於テハ相當ナモノガ出來ルニハ違ヒナイノデアリマス

ソレカラ「ナチュラル・リゾース」ガ少イト云フガ、相當ノ方法サヘ加ヘレバ、日本ノ現狀ニ於テ間ニ合フヤウナモノガ出來ルト、私ハ確信ヲ致シテ居リマス、殊ニ畜產品ノ如キニ至リマシテハ、相當保護サヘ加ヘレバ、自由ニ日本ノ需要ハ間ニ合ッテ、之ヲ海外ニ進出スルダケノ餘地ガ十分ニアルノデアリマス、ソレデ今私ノ論ジテ居ルヤウナ品種ニ付テハ、亞米利加ト「ナチュラル・リゾース」ニ於テ違ヒガアルカラ、同ジヤウナ理窟デ關稅政策ヲ取容レルコトハ出來ナイト云フ御議論ニ對シテハ、私ハ承服スルコトハ出來ナイノデアリマス、ソレハ御撤回ヲ求メナケレバナラヌノデアリマス、ソレデ今折角大藏大臣ト產業ノ獎勵方針ヲ協議中デアッテ、今ノ臨時產業救済ノ方法デ喰止メルコトガ出來ナカッタナラバ、關稅政策ニ變ルダラウト云フヤウナコトヲ考ヘラレテ居ルノデアリマスルガ、既ニアナタ方ハ昨年アタリ、或ハ一昨年ノ秋アタリニ關稅政策ヲ徹底的ニ改善ヲシテ、「スライジン・スケール」ヲ設ケヨウデヤナイカト云フコトヲサヘ御議論致サレタノデアリマス、「スライジン・スケール」ト云フノハ、御承知ノ通りニ、經濟事情ニ依ッテ或ル時ハ上ゲ、或ル時ハ下ゲルト云フダケノ權能ヲ、議會ガ内閣ニ向ッテ與ヘルコトデ、是ハ佛蘭西アタリデモヤッテ居ルシ、獨逸アタリデモヤッテ居ル、或ハ亞米利加デモ多少之ニ似寄ッタコトヲヤッテ居リマセウ、サウ云フヤウナ「スライジン・スケール」マデ設ケテ、關稅ヲ上下シヨウト云フコトサヘモ、二年前ニハ議ニ上ッテ居ッタデアリマセヌカ、ソレヲ今日斯ウ云フ窮境ニ陷ッテ居ル——窮境ト云ッタモノハ、今初メテ始マッタ譯デハナク、一昨年アタリ、金解禁ノ聲ヲ聞クヤ一齊ニ農作物ハ下落シタ、只今問題ニナツテ居ルノハ、其時カラ悉ク下落ノ趨勢ヲ辿リ、今日ハ徹底的ニ下ッタ所ヘ持ッテ來テ、海外ノ「オーダー・プロダクシヨン」デ以テ、「ダンピング」的ニ日本ニ競争ヲ致シテ居ルノデアリマスカラシテ、吾々ハ二様ノ壓迫ヲ感ジテ居ル、ソレデアアルカラ、之ヲ如何ニシテ防グカト云フコトハ、當然御考ニナラナケレバナラナイダラウト思フ、アナタ方ハ——農林大臣ハサウ云フコトヲ發表サレナカッタカモ知レナイ、大藏大臣ハサウ云フコトヲ發表サレナイト言ハレルカモ知レナイガ、アナタ方ノ有力ナル同僚ト言ヒマスルカ、民政黨ノ幹部諸君ニハ、度々斯ウ云フコトヲ新聞ニ、或ハ雜誌ニ載セラレタコトヲ、吾々ハ記憶致シテ居ルノデアリマス、其政策ニハ吾々ハ蔭ナガラ贊同ヲ表シテ居ッタノデアアル、ソレデスカラ今日俄然トシテ、今關稅政策ハ考慮中ダナドト云フヤウナコトデハナイ、二年前カラ既ニ左様ナ對策ハ御考ニナリツ、アッタ、唯如何ニ今日之ヲ實行セントスルカト云フダケニ止マルト私ハ考ヘテ居ルノデアリマス、ソレデ今はカラ御考ニナルト云フ其ノ御意見ハ御撤回ヲ願ッテ、私共ガ今マデ論ジマシタ所ノ此畜產品ニ對シテ、ドウ云フ工合ニスレバ、是ガ行ケルカト云フコトニナリマスレバ、一方ニ於テハ助成ノ必要モアリマセウ、獎勵金ノ下付ノ必要モアリマセウ、又ソレ等ノ施設ニ對シテ相當ナ保護ヲ加ヘ、指導ヲ加ヘテ行クト云フコトモ必要デアリマセウ、必要デアルニ拘ラズ、財政ノ計畫ノ爲ニ是等ハ半減サレ、或ハ廢止サレテ居ルト云フヤウナル憂目ニ遇ッテ居ルモノガ、大部分ヲ占メテ居ルノデアリマス、ソレデスカラ既ニ幾分ナリトモ、之ニ支持スル方ノ右ノ手ハ弛ンデ居ルノデアアルカラ、左ノ手デ以テ海外ノモノハ強ク抑ヘテ呉レナケレバ、ドウシテモ是ハ立行クコトハ出來マイト思フノデアリマス、ソレデスカラ「バター」——或ハ「チーズ」ノ「コンデンス・ミルク」ノ中デモ粉乳、煉乳ト、此二ツニ分ケテ吾々ハ考ヘナケレバナラヌノデアリマス、ソレカラ鶏卵モ此場合大ニ考慮シテ戴カナケレバナラヌ、鶏卵ハ一方デ銀安デ爲替相場ハ高クナッタ、高クナッタト云フノハ、我國ノ爲替相場ガ高クナッタコトデ、支那ノ爲替相場ガ安クナッタコトニナル、サウナルト飼料タル高粱ヤ其他ノモノガ安

ク日本ニ取入レラレテ、養雞家ガ幾分
樂ニナルト共ニ、其反對ニ支那ノ卵ガ
安ク日本ニ入ッテ來ルト云フヤウナコ
トデ、飼料ノ安クナッタダケ卵ノ値段デ
下デラレルカラ何ニモナラナイ、却ッテ
安イヤウナ狀況デアル、斯ウ云フ工合
ニ吾々ハ考ヘル、而モ此前ノ改正ノ時
分ニ吾々ノ反對ヲ押切ッテ、卵モ相當ニ
引下デラレタノデスガ、是ハ到頭反對
ノ聲ガ通ッテ其儘ニナッタヤウデス、原
案ニハヤハリ卵モ下デラレテ、百斤ニ
四圓位下デラレルコトト思ッタガ、是ハ
喰止マッタノデアリマス、今日カラ見ル
ト百斤六圓、一箇ニ付テ何厘トナッテ居
リマスルカラ、斯ウ云フモノハ相當ニ
上ゲテ戴キタイト吾々ハ考ヘル、其外
ニ「タビオカ」「マニオカ」「セイゴ」ハ申
上ゲタ通りデアッテ、是ハ度々板谷君、
或ハ今井君カラ申上ゲタ通りデアッテ
「カッサヴァアルト」モ其通りデアル、ソ
レカラ「カゼイン」ハ今日無稅ニナッテ
居ルノデアリマス、元ハ是ハ藥品ノ取
扱ヲ受ケテ居リマシテ、一割位ノ税金
ガ課カッテ居ッタラウト思フノデアリマ
スガ、是ハ相當ニ課稅ヲ致シマシテ「カ
ゼイン」ヲ保護シテ行カナケレバ、農乳
ト云フモノガ將來價值付ケラレルコト
ガ困難ニナル、此前一寸説明申上ゲタ
通り、此頃ハ「バタ」ハ我國ノ人々ノ口
ニ慣レテ、多少ノ「バタ」ノ臭ヲ氣ニシ

ナイヤウニナリ、寧ロ之ヲ好ムヤウニ
ナリマシタガ「バタ」ヲ採ッタアトノモ
ノヲ乳酸菌ヲ以テ醱酵サセテ、醱酵サ
セタアトノ滓乳ト稱ヘテ居ルガ、是ハ
飲料ニハ向カナイ、向カナイノデア
カラ、之ヲ捨テテシマフ、偶ニ豚ニ食
ハセル位ガ落デアアル、之ニ硫酸ナドノ
幾分カラ加ヘルト沈澱スル、其沈澱シ
タモノヲ水デ再三洗ッテ乾シ上ゲルト
「カゼイン」ガ出來ル、技術ノ巧拙ヤ、
天候ノ工合デ、色ガ付イタリ何カシマ
セウガ、ソナモノハドウデモ宜イ、
此用途ハ昔ノヤウニ透明ナ「ボタン」ナ
ドラ造ル時代トハ違フ、斯ウ云フ貴重
ナル品物ガ、何處ノ農家デモ出來ル、
材料ハ一方デ「バタ」ヲ造リ滓乳デ以テ
「カゼイン」ヲ造ッテ、二百萬圓ノ輸入ヲ
防グト云フコトハ容易ニ出來ル、サウ
云フコトヲ御考ヘニナラナイデ、サウ
シテ農村ノ救済ヲ圖ルトカ、畜産ノ改
善ヲ圖ッテ行カウト云ッテモ、到底目的ノ
達成セラレナイト云フコトハ、火ヲ賭
ルヨリモ明カデアリマス、是ダケノコ
トヲ申上ゲタラ、大藏大臣モ農林大臣
モ能ク御分リダラウト思フ、御分リニ
ナラナカッタナラバ、モウ少シク御説明
ヲシテモ差支ナイノデアリマス、サウ
云フヤウナコトデアリマスルシ、小麦
ノ如キモ、多木君其他カラシテ熱心ニ
話サレタコトデアリマセウ、此僅カ百

斤ニ一圓五十錢、ソナコトデハ到底
加奈陀ヤ濠洲ノ安イ小麦ガ日本ニ流入
シヤウト云フモノヲ、今日喰止メルコ
トガ出來マセヌ、是ガ爲ニ關東ノ平野
ハ、ドンナニ苦シミヲシテ居ルカト云
フコトハ、吾々ハ眼ノ前ニ見ラレル、
御承知ノ通り是ハ今五六寸伸ビテ居リ
マシテ、六月頃カラ段々刈入レルコト
ニナリマセウ、サウ云フ時分ニ是ガ賣
行ガ止ッテシマフトカ、昨年ノ半値デア
ルトカ、或ハ六掛ニシカ賣レナイト云フ
コトニナッタラ、農家ノ困憊ハ非常ナモ
ノデアラウト思フ、斯ウ云フコト、殊
ニ小麦ノ栽培ニ付テハ、相當濃厚ナ
肥料ガ要ルノデアリマス、サウ云フコ
トヲ考ヘルト、吾々ハ少クトモ之ニ補
助獎勵ヲ加ヘテ行カナケレバナラヌ、
其外ニモ牛肉ヲ、此前ハ三圓八十錢デ
アッタモノヲ、百斤ニ付二圓ニ下ゲタ、
羊ノ肉ハ六圓ヲ四圓五十錢ニ下ゲタ、
豚肉ヲ從價二割約六圓デアッタモノヲ、
之ヲ斤數ニシテ四圓ニ下ゲタ、是ガ爲
ニ内地ノ養豚ニ從事シテ居ル農家、又
緬羊ト云フヤウナ、肉ヲ食ベルコトヲ
獎勵シテ居ル畜産家ガ非常ナ打撃ヲ
被ッテ居ルノデアリマス、斯ウ云フヤウ
ナコトヲ考ヘル時ニ於テ、吾々ハ關稅
ノ引上ゲヲ聲高ク叫バナケレバナラヌ
ノデアリマス、斯ウ云フコトヲセズシ
テ、ドウシテ政府ハ畜産家ヲ活カシ、

穀菽ヲ主トシテ居ル所ノ農家ヲ活カ
シ、又馬鈴薯ヤ、甘藷ヲ作ッテ、ソレカ
ラ澱粉ヲ取入レテ、サウシテ之ニ唯一
ノ收入ヲ求メテ居ル人ノ救済ヲ如何ニ
スルカト云フコトニ付テ、成案ガ御有
リニナレバ、之ヲ承リタイト思フノデ
ス、一ツ一ツ伺ヘバ宜シイガ、時間ヲ
節約スル上ニ於テ、ズット一般ニ述ベマ
シタガ、若シ御分リニナラナケレバ、一
ツ一ツ詳シク申上ゲマス
○町田國務大臣 高橋君ノ畜産方面ニ
對スル御經驗竝ニ該博ナル御意見、農
家ノ今日ノ狀態ハ、關稅ニ依ラナケレ
バ、之ヲ緩和スルコトガ出來ナイダラ
ウト云フ熱誠ナル御意見ハ、能ク拜承
致シマシタ、獨リ高橋君ノミナラズ、
板谷君始メ各員カラノ御意見ハ、十分
私共ハ有益ナル材料トシテ、吾々ガ只
今取急イデ調査シテ居ルコトニ付キマ
シテ、重ク考慮ノ中ニ加ヘルト云フコ
トヲ以テ御答ト致シテ置キマス
○岡田委員 昨日來御話申上ゲタ通
リ、議員提出ノ關稅定率ノ改正案デア
リマス、高橋君カラ詳シク御説明ガアッ
タノデアリマスガ、アレニ對スル御意
見ハ、何時御發表ニナリマスカ、御發
表ノ時期ヲ伺ヒマス、私ノ申スノハ乳
製品、ソレカラ農產物「タビオカ」「マ
ニオカ」等デアリマス、ソレカラ木材
ノ方モ含メテデアリマス

材ハ、非常ナル壓迫ヲ受ケテ居ルノデア

リマス、一部ノ改正ヲ行フニ付テ、同種類ノモノデアルカラ、御考慮ヲ願ヒタイト云フ意味デ私ハ申上ゲテ居ル、決シテ關稅ノ大方針ニ基イテ、此際唯一ツヤニツノ御話ヲシテ居ルノデアリマセヌ、又更ニ乳製品ト云フコトニ付キマシテモ、昨日來色々論議シテ御分リノコトト思フノデアリマスルガ、アナタノ昨日來ノ御話デハ、乳製品ニ對シテハ、現在ノ農村ノ窮狀ヲ救フ、所謂畜産ニ關スル所ノ乳製品ナルモノガ非常ナ壓迫ヲ受ケテ居ルノデアルカラ、之ヲ救フト云フコトニ付テハ、是ハ私ノ早合點デアッタカモ存ジマセヌガ、想像致シマスルト、アナタノ御話ハ相當ノ確信ヲ以テ大藏大臣ニ御交渉下サルモノト信ジテ居ッタノデアリマス、勿論關稅ハ大藏省ノ所管デアリマスケレドモ、關稅ヲ課ケルト云フコトハ、國策ノ上カラ割出シテ行カナケレバナラスノデアアル、勿論信用ヲ目的トシテ課ケルノデハナイ、我國ノ産業ヲ保護スル上ニ於テ、如何ナル關稅ヲ課ケルガ適當デアルカト云フ、アナタノ主管トシテ、アナタノ御意見ヲ立ッテ、大藏大臣ニ是非同意シテ貰フヤウニ御配慮ヲ願ヒタイ、恐ラクハ昨日ノアナタノ御答辯ハ、相當ノ確信ヲ以テ大藏大臣ニ御交渉下サルモノト確ク信ジテ居ッタノデアリマス、昨日來ノ御話ニ

依リマス、何ダカ話ガ段々變ッテ來タヤウナ様子ガ見エルノデアリマスルガ、是ハ大藏大臣モ、現在ノ農林大臣ガ農村ノ窮狀ニ付テ非常ニ御心配ニナッテ居ル、第一米ガ生産費ヨリ安クナッテ、ソレニ對スル米穀法案ト云フモノガ出テ居ルノデアリマス、農村ハ決シテ米バカリガ生産物デハアリマセヌ、例ヘバ畜産ニ致シマシテモ、澱粉ニ致シマシテモ、是ハ私ガ重ネテ申上ゲル必要ハナイノデアリマス、私モ申上ゲ、高橋君カラモ色々御話ガアッタデアリマスルガ、此場合一方ニ於テハ沿海州ノ木材ガ無稅デアッタモノヲ上ダルト同時ニ、是ト同様ナ、非常ナ壓迫ヲ受ケテ居ル所ノ南洋材ニ對シテモ均霑セシメル方策ヲ立テ、又一面ニ於キマシテハ、農村ノ窮狀ヲ救フニ付キマシテ、米ニ對スル適當ナル政策ヲ行ッテ居ラレルノデアリマスカラ、此權衡ヲ保ツ爲ニ、所謂農村ノ生産物ト致シマシテノ畜產品、乳製品、竝ニ澱粉ニ對シマシテモ、相當ニ御考慮ヲ願ヒタイ、決シテ私共ハ無理ナ註文ヲシテ居ルノデハナイノデアリマスカラ、幸ニ明日午前十時マデニ色々御返事ヲ得マスルコトガ出來マスレバ、非常ニ満足ニ存ズルノデアリマスカラ、此點ハ昨日來ノ御答辯ニ依ルト、大藏大臣ノ勢力ト云ッテハ甚ダ失禮デアリマスル

ガ、大藏大臣ニ段々押サレ氣味ニナルヤウナコトノナイヤウニ、國策ノ上カラ相當ニ御考慮ヲ願ッテ、是非共大藏省ノ御同意ヲ願フヤウニ御配慮ヲ願ヒタイ、幸ニ私ガ今申上ゲマシタコトニ付テ御答辯ヲ願ハレマスナラバ洵ニ幸甚デアリマス

○町田國務大臣 岡田君ノ先刻ノ御尋ニ對シテ御答シタ通り、明朝十時マデニ御答申上ゲマス

○多木委員 今夜ハ何時マデオヤリニナル御考デアリマスルカ、私モ一番最初ニ質問ノ通告ヲシテ居ル譯デスガ、是ハ質問ヲ御許シニナル譯デスカ、ドナイニナリマス

○永田委員長 一寸御答致シマス、昨日デシタカ、アナタノ御質問ヲ委員長ハ促シタヤウニ記憶シテ居リマスガ……

○多木委員 ソレデハ今夜ハ何時マデヤルノデスカ、明日質問シテモ差支ナイモノカ、其點ヲ御伺致シマス

○永田委員長 何レ後程御報告致シマス

○岡田委員 私ハ農林大臣ノ御話ハ、明朝伺ヘバ宜シウゴザイマス、諄イヤウデアリマスガ、其處ニ大藏大臣モ居ラレマスガ、大藏大臣ハドウ考ヘラレテ居リマスカ、御發表ヲ願ヘレバ大變都合ガ宜シイ、願ヘナケレバソレデモ

宜シイ

○井上國務大臣 只今農林大臣カラ御返答申上ゲマシタヤウニ、明朝十時ニ御答致スコトニ致シマス

○岡田委員 是ハ農村ノ聲デアリマスカラ、大藏大臣モ是非慎重ニ熱心ニ御聽取下サイマシテ、此意思ヲ貫徹致シマスヤウニ、私御願ヲ致シテ置キマス

○多木委員 明日農林大臣ナリ、大藏大臣カラ、ドウ云フ御回答ガアルカ知レマセヌガ、此牛乳ノ問題モ大切デアル、澱粉ノ問題モ大切デアル、併ナガラ今日其金高カラ言ヘバ、又大勢カラ見レバ、何デモナイヤウニ感ジマス、ソレヨリハ小麥ナリ、或ハ菜種ノ方ガ、關稅問題カラ言ヘバ、重大ナ問題デアリマスカラ、之ニ付テ大ニ一ツ御考慮ヲ願ハナケレバナラナイ、殊ニ經濟上總テノ上ニ重大ナ關係ノアル米ガ豐年デ、多量收穫デアッタトハ言ヘ、アノ如キ價格ノ大暴落ヲ來タシタノハ、全ク農林省ノ爲ニ、農家ガ犠牲ニナッタノデアリマス、ソレデアルカラ農林省ハ餘程考ヘテ貰ハナケレバナラス、農林大臣ノ御考ハ、何時モ消費者ニ重キヲ置イテ、生産者ヲ忘レテ居ラレル、現ニ年産額七千萬石内外ノ米ニ對シテ、一億五千萬圓モ御損ヲナスッテ居ル、サウシテ米價ヲ下ゲタ爲ニ、農民ハ非常ニ壓迫サレテ居ルノデアアル、即チ今ヤ米

價ハ沿々トシテ、五圓七圓ト云フ安イ
値段ニナツテ了ッタ、其上マダ外米ヲ輸
入サレテ居ル、朝鮮カラ八百萬石モ取
ルコトハ如何ナル考デアルカ、私ニハ
分ラナイ、マダ古イ米ハ澤山殘ッテ居
ル、而モ農林大臣ハ、農産物ニ付テハ、
常ニ御心配ヲシテ下サルガ、内閣其モ
ノガ農林大臣ノ意見ヲ行ハヌヤウナ狀
態ガアルカモ分ラナイガ、之ニ付テ農
林大臣ニ遠慮ナシニ言ヘバ、米ノ調節
法ナドヲ廢シテ貫ヘバ、國庫モ一億五
千萬圓助カルシ、農業ノ壓迫ニモナラ
ヌ、寧ロ農林省モ廢シテ貫ヘバ、直ニ
二億圓近クモ金ガ助カル、サウスレバ
大藏大臣モ大分溜飲ガ下リ、國庫ノ窮
乏モ助カリ、現政府ノ生命モ幾ラカ延
長スルカノ如クニ考ヘル次第デアリマ
スカラ、ドウカ一部分デナク、全體ニ
付テ考ヘテ貫ヒタイ、今日ノ實狀ヲ御
覽ナサイ、農家ハ今ヤ米作ヨリモ鶏ヲ
飼フ目的ノ下ニ、田ヤ畑ニ松ノ木ヲ植
エタリシテ荒廢ニ任セテ居ル、而シテ
一方ハ外米ヲ無稅デ輸入スルコトハ、
全ク馬鹿ナ沙汰デアル、實ニ精神ヲ失
ウタ狀態デアリマス、總テ色々ナモノ
ハ關稅デ保護シナケレバ、百姓ハ立ッテ
行カヌ、百姓ガ立ッテ行カケレバ、國
家ノ經濟モ財政モ立タナイ、サウシテ
益、日本ノ國力ヲシテ萎靡セシムル外
ハナイ、此コトヲ御考ニトラヌカ、明

日ドウ云フ風ニ御答ニナルカ知ラヌガ、
是ハ何デモナイ、數字ヲ直セバ宜イ即
チ農林大臣ガ生産者ヲ保護セズシテ、
餘リニ消費者ニ好意ヲ表サレテ、農村
ハ皆消費者ノ犠牲ニナツテ居ル、ソレ
ガ爲ニ農村ハ今日瀕死ノ狀態ニアルト
云フコトヲ、深ク御考慮ノ中ニ入レテ
置カレンコトヲ希望シテ置キマス
○高橋委員 今多木君其他ノ同僚諸君
カラ、色々意見ノ御陳述、御質問ガア
リマシタ、至極同感デアリマス、殊ニ
米ノ如キモ、多木君カラ言ハレテ居リ
マスガ、輸入制限ヲヤリ、輸入禁止ヲ
ヤツテ見テモ、條約ノ表カラハ、支那米
モ含ンデ居ルト思ヒマスガ、北米合衆
國ノ産米、暹羅國ノ産米ナドハ、日本
ノ國內法デハ輸入禁止ノ除外例ニナッ
テ居ルト心得テ居リマス、ソレデア
カラ相當ニ關稅ヲ引上ゲナケレバ、是
等ノ米ノ流入ヲ防止スルコトハ出來ナ
イ、是ハ米穀法ノ改正ニ伴ッテ、最モ慎
重ニ考ヘナケレバナラヌ一項目デア
ルト思ヒマスカラ、之モ改メテ、私モ御考
ヲ願フコトヲ希望申上ゲテ置キマス、
ソレカラ大正十五年昭和二年兩年度ニ
於テ關稅ヲ改正ナサレタガ、其當時ノ
爲替相場ハ非常ニ變動シテ居リマス、
其變動ノ差ト云フモノヲ、今日考慮ニ
加ヘルト、値上ニナッタコトハ帳消ニ
ナツテシマウト私ハ思ヒマス、サウ云フ

コトモ此場合御考慮ニ入レテ戴キタイ
ト思ヒマス、此事ニ詳シイ所ノ大藏大
臣モ、青木政府委員モ、ニコノト控
エテ居ラレマスカラ、是ハ序ニ算盤ヲ
採ッテ戴ケバ直チニ分ル事デアリマス
カラ、是等ノ事モ十分考慮ニ入レテ下
スツテ御考ヘ願ヒタイ、コンナ事ヲ言ッ
テ居ル内ニ、農家ハ潰レテシマヒマス、
其潰レテシマッタモノヲ起スコトハ容
易デナイ、是ハ少シ注射ヲシテヤラナ
ケレバ生返ヘルコトハ出來ナイ、殊ニ
畜産ハ一度倒レルト、容易ニ起スコト
ハ出來ナイ、是マデ政府モ色々苦心シ
テ獎勵モサレタデアラウガ、國民、農
民ハ、ソレ以上非常ニ辛イ目ヲシテ居
ル、今日マデ進ムニハ、非常ニ犠牲ヲ拂
テ居ル、殊ニ乳牛ニ於ケル北海道、乳牛
ニ於ケル静岡縣、乳牛ニ於ケル千葉縣、
乳牛ニ於ケル東京府下、斯様ナル方面
ニ於テハ、ソレト血ノ出ルヤウナ苦
心ヲ致シテ、十二モアッタ精乳組合ノ約
半分ハ、今日ハ倒産シテシマヒ、或ハ
倒産ニ近イ形ヲ呈シテ居ル、殘ッタ六ツ
ノ精乳會社モ、氣息奄々タル有様デ、
軀テハ潰レヤウト云フ有様デア
ル、其
周圍ニアル農家ガ、ドンナ憂キ目ニ遭
ツテ居ルカト云フコトハ、御分リノ通リ
デアリマスカラ、或ハ農林大臣ノ思召
デ「ミルクブランド」ヲ方々ニ設ケテ、
農乳ヲ市乳化セントサレルコトニハ吾

々ハ喜ンデ居リマスガ、家鴨ノ卵ヲナ
シコナスト同ジデ、卵ヲ産ンダゲデ
孵化サセルコトヲシナイ、資金ノ供給ヲ
爲サズシテ、サウシテ從來乳牛業者ヲ農
家ノ畜産家ト對等ノ地位ニ置イテ、サウ
シテ競争ヲ激烈ニ致シテ、今日共倒レ
ニナラントスル狀況ニ置イテ居ル、其
上ニ外米ノ壓迫マデ之ニ加ヘルト云フ
コトハ、到底農家ノ堪エ得ルコトデナ
イ、ソコデ此畜産費ニ對シテ御考慮ヲ
願ッテ、此場合ドウシテモ吾々ノ意見ノ
達スルヤウニ願ヒタイ、是ハ政友會ニ
所屬スル吾々バカリデナク、民政黨ノ
諸君ニ於ケレマシテモ、此業ニ關係ノ
有無ヲ問ハズ、一度ソレ等ノコトニ著
眼サレタ方ハ、全部御賛成デアリマス
カラ、此意味ヲ十分御聽取リ下サレタ
イ、是ハ黨派ノ問題デナイ、超黨派的
ニ御考下サイマシテ、是非共吾々ノ目
的ヲ達成スルヤウニ御考慮ヲ煩シマシ
テ、明日午前十時ニハ、吾々ノ希望ノ
達成スルヤウニ、同僚ノ諸君カラ言ハ
レタヤウニ、色好イ返事ヲサレルコト
ヲ希望致シマス

○永田委員長 御諮リ致シマス、大體
本案ニ對シマス御質問モ、全部デア
リマスマイガ、濟ンダヤウニ思ッテ居
マス、隨ヒマシテ今晚ハ此程度ニ於テ
散會致シマシテ、明日ハ午前十時カラ
一時間バカリ残りマシタ質議ヲ繼續シ

○永田委員長 御諮リ致シマス、大體
本案ニ對シマス御質問モ、全部デア
リマスマイガ、濟ンダヤウニ思ッテ居
マス、隨ヒマシテ今晚ハ此程度ニ於テ
散會致シマシテ、明日ハ午前十時カラ
一時間バカリ残りマシタ質議ヲ繼續シ

○永田委員長 御諮リ致シマス、大體
本案ニ對シマス御質問モ、全部デア
リマスマイガ、濟ンダヤウニ思ッテ居
マス、隨ヒマシテ今晚ハ此程度ニ於テ
散會致シマシテ、明日ハ午前十時カラ
一時間バカリ残りマシタ質議ヲ繼續シ

○永田委員長 御諮リ致シマス、大體
本案ニ對シマス御質問モ、全部デア
リマスマイガ、濟ンダヤウニ思ッテ居
マス、隨ヒマシテ今晚ハ此程度ニ於テ
散會致シマシテ、明日ハ午前十時カラ
一時間バカリ残りマシタ質議ヲ繼續シ

○永田委員長 御諮リ致シマス、大體
本案ニ對シマス御質問モ、全部デア
リマスマイガ、濟ンダヤウニ思ッテ居
マス、隨ヒマシテ今晚ハ此程度ニ於テ
散會致シマシテ、明日ハ午前十時カラ
一時間バカリ残りマシタ質議ヲ繼續シ

○永田委員長 御諮リ致シマス、大體
本案ニ對シマス御質問モ、全部デア
リマスマイガ、濟ンダヤウニ思ッテ居
マス、隨ヒマシテ今晚ハ此程度ニ於テ
散會致シマシテ、明日ハ午前十時カラ
一時間バカリ残りマシタ質議ヲ繼續シ

○永田委員長 御諮リ致シマス、大體
本案ニ對シマス御質問モ、全部デア
リマスマイガ、濟ンダヤウニ思ッテ居
マス、隨ヒマシテ今晚ハ此程度ニ於テ
散會致シマシテ、明日ハ午前十時カラ
一時間バカリ残りマシタ質議ヲ繼續シ

○永田委員長 御諮リ致シマス、大體
本案ニ對シマス御質問モ、全部デア
リマスマイガ、濟ンダヤウニ思ッテ居
マス、隨ヒマシテ今晚ハ此程度ニ於テ
散會致シマシテ、明日ハ午前十時カラ
一時間バカリ残りマシタ質議ヲ繼續シ

午後七時五十三分散會

マシテ、サウシテ答辯ニ入りマシテ、
採決ヲ致シタイト思ヒマス、ドウカ各
派ノ諸君モ此意味ニ於キマシテ、ソレ
ソレ黨議モ決セラレマシテ、明日御出
席アランコトヲ御願致ス次第デアリマ
ス

○岡田委員 今ノ委員長ノ御希望ハ、
委員長トシテハ御尤ニ存ジマスガ、私
共ハ殊ニ人絹等ニ付キマシテモ、殆ド
マダ質問ガ戸口ヘ入ッタ位ノ話デ、後ハ
マダ要領ヲ得テ居リマセヌ、今日はデ
オ止シニナルコトハ固ヨリ已ムヲ得ヌ
コトデアリマスガ、明日十時ニ始メテ、
一時間デ打切ルト云フヤウナ御宣言デ
ハ、私共承知出來マセヌ、併シソレハ
御希望トシテ伺ッテ置キマス、只其時ノ
場合ニ依リマシテ、委員ノ都合デ以テ
質問ヲ繼續スルト云フコトノ出來ルヤ
ウニ、アナタノ御考ヲ希望致シマス、
ソレモ其時ノ場合デアリマス、尙ホ明
日ハ必ズ一ツ政府ノ御答辯ヲ明瞭ニ伺
ヒタイト思ヒマス、其希望ヲ述ベテ置
キマス

○永田委員長 承知シマシタ

○岡田委員 只今委員長ノ御宣言デス
ガ、答辯ノ次第ニ依リマシテハ、ソレ
ニ聯關シテ質問ガアリマスカラ、ソレ
ヲ御含ミヲ願ヒタイ

○永田委員長 今日ハ此程度デ散會致
シマス

昭和六年三月十八日印刷

昭和六年三月十九日發行

衆議院事務局

印刷者 常磐印刷株式會社